工　事　名	令和6年度(明許繰越)穂高西小学校トイレ改修工事(Ⅱ期)　**金抜設計書**
施　工　箇　所	安曇野市　穂高西小学校

設　計　概　要	施　工　方　法	請　負
穂高西小学校トイレ改修工事一式 校舎トイレ施設の全面改修工事(Ⅱ期) ・北校舎西側トイレ(1～3階):内装・設備機器及び設備配管共全面改修 ・南校舎西側トイレ(1～2階):同上 ・南校舎特別支援教室内トイレ:同上 ・南校舎多目的トイレ:設備機器改修 ・改修工事に伴う電気工事等	施　工　期　間	契約日～令和8年2月27日
	担当課	学校教育課　学校庶務担当
	工事担当課	財産管理課　施設経営担当
	契約保証方法	金銭的保証
	・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。	

位置図

1:5,000

0 90 180 360 m

工　事　設　計　用　紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
	令和6年度(明許繰越)穂高西小学校トイレ改修工事(Ⅱ期)						
Ⅰ	建築主体工事		1.0	式			
Ⅱ	電気設備工事		1.0	式			
Ⅲ	機械設備工事		1.0	式			
	直接工事費計						
Ⅴ	共通仮設費		1.0	式			
Ⅵ	現場管理費		1.0	式			
Ⅶ	一般管理費		1.0	式			
	諸経費計						
	工事価格						
Ⅷ	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						

総括表　no 1

工　事　設　計　用　紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
V	共通仮設費						
	率仮設		1.0	式			
	積上げ仮設						
	交通誘導員B		20.0	人			
	室内空気環境測定	パッシブ法　5室工事前後	10.0	ヶ所			
		VOC+ｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ類					
	ｱﾝｶｰ引き抜き試験	天井下地補強部分	5.0	ヶ所			
	工事用砕石敷	t150　5m*80m相当	100.0	㎡			
		搬出入路、事務所周りなど					
	仮設トイレ	児童クラブ用　水洗用	1.0	式			別紙明細①
		繋ぎこみ別途設備					
	仮設配管	排水	1.0	式			別紙明細②
	仮設配管	給水	1.0	式			別紙明細③
	小計						
	計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
V	共通仮設費						
	積上げ仮設	別紙明細①					
	仮設トイレ						
	仮設トイレ	児童クラブ用　GX-AS＋型	2.0	台			
	本水洗トイレ様式	180日設定					
	基本料金		2.0	台			
	運搬･搬入･設置費	2台分	1.0	回			
	撤去･搬出･運搬費	2台分	1.0	回			
	撤去時清掃		1.0	式			
	ルーバーフェンス	180日設定	10.0	㎡			
	全上固定金物		8.0	組			
	運搬･搬入･設置費		1.0	回			
	撤去･搬出･運搬費		1.0	回			
	小計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
V	共通仮設費						
	積上げ仮設	別紙明細②					
	仮設トイレ・校舎仮設排水工事						
	浄化槽用マンホール蓋	RRP500Φ	1.0	個			
	上記削孔費	120Φ	1.0	箇所			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100　屋外架空	5.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100　屋外架空	16.0	m			
	上記配管撤去費		1.0	式			
	ステンレス流し台	2000×500×600H	3.0	基			
	流し台排水トラップ	50A	3.0	個			
	外壁コア抜き・穴埋め補修	Φ75	3.0	箇所			
	外部足場	枠組本足場	40.0	㎡			
		手摺先行方式					
	小計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
V	共通仮設費						
	積上げ仮設	別紙明細③					
	仮設トイレ・校舎仮設給水工事						
	水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管	1種　軟質　Φ20	35.0	m			
	水道用内面ライニング鋼管	VB32A　屋外架空	15.0	m			
	上記配管撤去費		1.0	式			
	単水栓	横水栓　T200SUN13C	9.0	個			
	外壁コア抜き・穴埋め補修	Φ50	3.0	箇所			
	小計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
I	建築主体工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	金属工事		1.0	式			
3	左官工事		1.0	式			
4	金属製建具工事等		1.0	式			
5	ｶﾞﾗｽ工事		1.0	式			
6	内装工事		1.0	式			
7	雑工事		1.0	式			
8	解体工事		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
1	直接仮設工事						
	水盛り･遣り方		169.0	㎡			
	仕上墨出し		169.0	㎡			
	躯体墨出し		169.0	㎡			
	躯体養生		169.0	㎡			
	仕上養生		169.0	㎡			
	清掃･片付け		169.0	㎡			
	引渡し前清掃		169.0	㎡			
	次頁へ続く						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
1	直接仮設工事	つづき					
	外部足場	昇降設備、安全手摺、ﾒｯｼｭｼｰﾄ共　6ヶ月	51.0	㎡			
		ｸｻﾋﾞ式緊結足場／5.4×0.9×9.4m					
	外部足場	昇降設備、安全手摺、ﾒｯｼｭｼｰﾄ共　4.5ヶ月	40.0	㎡			
		ｸｻﾋﾞ式緊結足場／5.4×0.9×7.4m					
	安全手摺	掛払い運搬費含む	7.0	m			
	存置6ヶ月						
	安全手摺	掛払い運搬費含む	7.0	m			
	存置4.5ヶ月						
	ネット養生	メッシュシート	51.0	㎡			
	H10m未満　存置6ヶ月						
	ネット養生	メッシュシート	40.0	㎡			
	H10m未満　存置4.5ヶ月						
	内部足場	脚立足場　掛払い運搬費含む	169.0	㎡			
		4か月程度					
	搬入路床養生	1フロア50m×2m×5か所	500.0	㎡			
	解体時　飛散防止　解体養生	シート養生など	169.0	㎡			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
2	金属工事						
	SUS天板	t＝0.8加工	76.0	㎡			
	SUS天板 W120	SUS304 t＝1.0 HL	55.0	m			
	コーキング処理	ライニングトップ	115.0	m			
	LGS下地組 天井 19型	既存吊りボルト再利用	169.0	㎡			
	LGS下地組 天井	最上階 天井下地補強	64.0	㎡			
	LGS下地組 内壁 W100		103.0	㎡			
	LGS下地組 内壁 W100	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	69.0	㎡			
	天井点検口 開口補強	450□	10.0	箇所			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
3	左官工事						
	床 ﾓﾙﾀﾙ　t=50 2回	下地処理共 リキッド仕上	169.0	㎡			
	巾木 斫り跡補修	巻上ﾀｲﾙ斫り部分	82.0	m			
	壁 下地調整 薄塗補修	塗厚3～10㎜程度	257.0	㎡			
	床 カッター入れ		72.0	m			
	巾木 カッター入れ		82.0	m			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
4	金属製建具工事等						
	鋼製建具						
	AW-01 便所 引き違い窓	カバー工法 壁見切縁共	4.0	ヶ所			
		1570×1300 網戸付					
	AW-02 便所 引き違い窓	カバー工法 壁見切縁共	7.0	ヶ所			
		1620×1300 網戸付					
	AD-01 便所 片開き框ドア	カバー工法 壁見切縁共	10.0	ヶ所			
		800×2000					
	既存建具撤去費		1.0	式			
	撤去材場内集積費		1.0	式			
	新規建具及び額縁取付費		1.0	式			
	シーリング工事	建具用	1.0	式			
	運搬費	建具用	1.0	式			
	実測調査管理費	建具用	1.0	式			
	改修諸経費	建具用	1.0	式			
	法定福利費	建具用	1.0	式			
	次頁へ続く						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
4	金属製建具工事等						
	鋼製建具						
	LSD－01 片開きﾄﾞｱ	W770×H1900 枠見込200 焼付塗装鋼板	9.0	ヶ所			
		付属金物一式					
	SD－01 片開きﾄﾞｱ	W535×H1000 枠見込90 焼付塗装鋼板	2.0	ヶ所			
	SD－02 片開きﾄﾞｱ	W600×H1000 枠見込90 焼付塗装鋼板	3.0	ヶ所			
	HD－01 片引きﾄﾞｱ	W900×H2000 枠見込220 焼付塗装鋼板	1.0	ヶ所			
		外付け枠　窓付き					
	HD－02 片引きﾄﾞｱ	W620×H2000 枠見込170 焼付塗装鋼板	1.0	ヶ所			
		外付け枠　窓付き					
	施工費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	次頁へ続く						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
4	金属製建具工事等						
	鋼製建具						
	PT-1　スチール間仕切	W816×H1941×D70	1.0	ヶ所			
	PT-2　スチール間仕切	W1065×H2540×D70	1.0	ヶ所			
	施工費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	次頁へ続く						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
4	金属製建具工事等						
	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ						
	TB-01		2.0	ヶ所			
		5830×2000×40					
	TB-02		2.0	ヶ所			
		3390×2000×40					
	TB-03		2.0	ヶ所			
		5380×2540×40					
	TB-04		2.0	ヶ所			
		3380×2000×40					
	TB-05		2.0	ヶ所			
		500×2000×40					
	TB-06		2.0	ヶ所			
		6189×2000×40					
	TB-07		2.0	ヶ所			
		3570×2000×40					
	TB-08		2.0	ヶ所			
		5740×2540×40					
	TB-09		2.0	ヶ所			
		3560×2000×40					
	TB-10		2.0	ヶ所			
		500×2000×40					
	TB-1(みんなのトイレ)		1.0	ヶ所			
		8495×H2000･2540×D40					
	TB－2(みんなのトイレ)		1.0	ヶ所			
		6635×H2000×D40					
	次頁へ続く						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
4	金属製建具工事等	つづき					
	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ						
	取付費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
5	ｶﾞﾗｽ工事						
	型板ガラス 4ミリ	4000㎡以下	30.0	㎡			
	型板ガラス 4ミリ	100×600	9.0	枚			
	型板ガラス 4ミリ	150×150	2.0	枚			
	アクリル板(乳半)　10ミリ	816×1941	1.0	枚			
	アクリル板(乳半) 10ミリ	1065×2540	1.0	枚			
	シリコン	ｼﾘｺﾝ 6×6	280	m			
	アルミパネルシール		72	m			
	運搬諸経費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
6	内装工事						
	内装						
	天井 ケイカル板	t=6.0 材工	176.0	㎡			
	天井 塗装	EP-G ゼロVOC仕様 A種程度	176.0	㎡			
	天井 廻り縁	塩ビ 目ｽｶｼ	156.0	m			
	壁 不燃化粧板	t=3.0 ジョイナー工法 ｱｲｶｾﾗｰﾙ同等	499.0	㎡			
	壁 耐水石膏ボード	t=9.5	225.0	㎡			
	天井壁 塗装	EP-G ゼロVOC仕様 A種程度	29.0	㎡			
		身障者WC					
	床 長尺塩ビシート	t=2.5 FSマーブル程度	176.0	㎡			
	巾木 長尺塩ビシート 巻上	t=2.5 FSマーブル程度	143.0	m			
	H200						
	床 汚垂れ石	ブラック ネオパリエ同等	17.0	㎡			
	天井 グラスウール	t=100 24K	65.0	㎡			
	ベビーベッド	LAMP KV-TL200 相当	1.0	ヶ所			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
7	雑工事						
	開口部補修 既設換気扇	□300→Φ150 開口部塞ぎ	10.0	ヶ所			
	床 カッター入れ	300×600×40カ所	72.0	m			
	床開口補修　コンクリ	Fc21 0.3×0.6×40×0.15	1.0	式			
		ポンプ代、手間込 40か所ほか 1.1m3					
	床開口補修　D10	2.0m/箇所 80m	0.10	t			
	床開口補修 ｹﾐｶﾙｱﾝｶｰD10	8か所/箇所	320.0	箇所			
	床開口補修 型枠	0.5㎡/箇所	20.0	㎡			
	トイレ 床マット	出入口 900×600程度	11.0	ヶ所			
	トイレ サイン ピクト	200×200×6 材工 SUS	11.0	ヶ所			
	天井点検口	450×450　SUS	11.0	ヶ所			
	床点検口	600×600 アルミ	2.0	ヶ所			
	掃除用具入	掃除用ロッカー	5.0	ヶ所			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
8	解体工事						
8-1	解体費		1.0	式			
8-2	発生材積込		1.0	式			
8-3	発生材運搬		1.0	式			
8-4	発生材処分		1.0	式			
8-5	除却工事(アスベスト)		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
8	解体工事						
8-1	解体費						
	内装仕上撤去等	間仕切り撤去とも	169.0	㎡			
	内装仕上撤去等	天井	169.0	㎡			
	床コンクリート解体	特殊教室及び廊下	7.5	㎡			
		カッター入れ 5.2m共					
	受水槽解体		3.5	m3			
	8-1計						
8-2	発生材積込						
	発生材積込	木くず	3.0	t			
	発生材積込	廃プラ	3.0	t			
	発生材積込	ｶﾞﾗｽ･陶器くず	10.0	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	8.0	t			
	発生材積込	金属くず	3.0	t			
	発生材積込	コンクリ･がれき類	11.0	t			
	8-2計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
8	解体工事						
8-3	発生材運搬						
	発生材運搬	木くず	3.0	t			
	発生材運搬	廃プラ	3.0	t			
	発生材運搬	ｶﾞﾗｽ･陶器くず	10.0	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	8.0	t			
	発生材運搬	金属くず	3.0	t			
	発生材運搬	コンクリ･がれき類	11.0	t			
	8-3計						

工 事 設 計 用 紙

	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
8	解体工事						
8-4	発生材処分						
	発生材処分	木くず	3.0	t			
	発生材処分	廃プラ	3.0	t			
	発生材処分	ｶﾞﾗｽ･陶器くず	10.0	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	8.0	t			
	発生材処分	金属くず	3.0	t			
	発生材処分	コンクリ･がれき類	11.0	t			
	8-4計						
8-5	除却工事(アスベスト)						
	天井材撤去	養生含む	169.0	㎡			
	特定廃棄物　積込	ﾚﾍﾞﾙ3　非飛散性	1.8	㎥			
	特定廃棄物　運搬	100km以下	1.0	回			
	特定廃棄物　処分	ﾚﾍﾞﾙ3　非飛散性	1.8	㎥			
	8-5計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅱ	電気設備工事						
1	照明設備 改修工事		1.0	式			
2	撤去廃棄		1.0	式			
	項目 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
1	照明設備 改修工事						
	照明器具	iD ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ A 5200lm	33.0	台			
	熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ	a	9.0	台			
	熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ	b	10.0	台			
	熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ	c	2.0	台			
	ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	電源 接続	12.0	台			
	トイレ呼び出し警報	EA5501	1.0	台			
	押し釦ｽｲｯﾁ	WS65771	1.0	台			
	電 線	EM-EEF1.6-2C	106.0	m			
		EM-EEF1.6-3C	105.0	m			
		EM-EEF1.6-4C	44.0	m			
		EM-EEF2.0-3C	155.0	m			
		EM-AE 1.2-2C	7.0	m			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
1	熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ	つづき					
	一種金属製線ぴ	MM1 A型	12.0	m			
		MM1 A型 ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ 一個用浅型	3.0	ヶ			
		MM1 A型 ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	4.0	ヶ			
	埋込コンセント	2P15A×1 接地極接地端子付き	35.0	組			
	位置BOX	102×102×44 塗代付	35.0	個			
	細目 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
2	撤去廃棄						
	逆富士型 40W1灯用	器具撤去	22.0	台			
	ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	電源切り離し	12.0	台			
	蛍光管	40W 廃棄	22.0	本			
	逆富士型 40W1灯用	器具廃棄 3.4kg	75.0	kg			
		※ほかの器具等廃棄などは建築に含む					
	細目 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
A	A棟 機械設備工事		1.0	式			
B	B棟 機械設備工事		1.0	式			
C	A棟 身障者トイレ機械設備工事		1.0	式			
D	A棟 特殊教室トイレ機械設備工事		1.0	式			
E	下水配管改修工事		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
A	A棟 機械設備工事						
	A1 更新		1.0	式			
	A2 撤去		1.0	式			
	A 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
A1	A棟　機械設備工事(更新)						
A1-1	衛生器具設備		1.0	式			
A1-2	給水設備		1.0	式			
A1-3	排水設備		1.0	式			
A1-4	暖房設備		1.0	式			
A1-5	換気設備		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A1	A棟 機械設備工事						
A1-1	衛生器具設備						
	洋風大便器	掃除口付 CFS498BMC	14.0	台			
		ｳｵｰﾑﾚｯﾄ TCF116					
		他付属品一式					
		紙巻器 YH702					
	L形手摺	T112CL10	4.0	組			
	小便器	低ﾘｯﾌﾟ形 超節水ﾀｲﾌﾟ	10.0	組			
		自動ﾌﾗｯｼｭ弁一体型 UFS910JS					
	小便器用手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ	2.0	組			
		T112CU2					
	洗面ｶｳﾝﾀｰ長さ	L＝1700　　H＝600	4.0	組			
	洗面器	ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ式洗面器 L530					
		台付立水栓 TLC11AR					
		水石鹸入 TLK05202J					
		Pﾄﾗｯﾌﾟ TLDP2107J　×2					
	洗面器ｶｳﾝﾀｰ	ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ 奥行550L					
		前方ｴﾌﾟﾛﾝ ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ(ｹﾝﾄﾞﾝ式)					
		底板 側面巾木					
	化粧鏡	450x600 YM4560A	8.0	枚			
	掃除用流し	SK22A　横水栓 T23AEQ20C	4.0	組			
		ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓 TN114 他付属品一式					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A1-2	給水設備						
	水道用内外面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD80A　　埋設	3.0	m			
	管埋設費	ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ	1.0	式			
	既設開口部防水処理	地中梁貫通部	1.0	式			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB80A　　便所	1.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB65A　　便所	7.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB40A　　便所	7.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB32A　　便所	10.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB25A　　便所	7.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB20A　　便所	76.0	m			
	仕切弁　JIS10K　ﾅｲﾛﾝｺｰﾃｲﾝｸﾞ	GV80A(ﾌﾗﾝｼﾞﾀｲﾌﾟ)	1.0	個			
	全上BOX	VC-11BOX	1.0	箇所			
	中間階水抜栓	40Ax500H	2.0	個			
	中間階水抜栓	32Ax500H	2.0	個			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A1-2	給水設備	つづき					
	吸気弁　水用	15A	4.0	個			
	断熱工事	断熱･防露･防食･塗装	1.0	式			
	ｺｱｰ抜･補修工事	ｺｱｰ抜･補修	1.0	式			
	管接続工事	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)･接続					
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	スラブｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A1-3	排水設備	通気・中間階水抜ドレン配管含む					
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100　便所	62.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP80　便所	37.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65　便所	27.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50　便所	49.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40　便所	36.0	m			
	床上掃除口(ｼｰﾄ用)	COA100	6.0	個			
	床上掃除口(ｼｰﾄ用)	COA80	7.0	個			
	満水継手	100A	1.0	個			
	満水継手	80A	1.0	個			
	断熱工事	断熱・防露・防食・塗装	1.0				
	ｺｱｰ抜・補修工事	ｺｱｰ抜・補修	1.0				
	管接続工事	樹脂管	1.0				
		管切断(取外)・接続					
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	スラブｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0				
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A1-4	暖房設備						
	PH-1	暖房能力　1720Kcal/h	4.0	台			
	電気パネルﾋｰﾀｰ	1φ200V2.0Kw					
	壁取付形	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ　ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ					
		ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙｶﾊﾞｰ　DP-A200P　付属品一式					
	細目計						
A1-5	換気設備						
	PF-1　換気扇	ﾀﾞｸﾄ径150φ　換気風量330CMH	4.0	台			
	パイプファン	ｻﾆﾀﾘｰ用					
		ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ・壁ｽﾘｰﾌﾞ					
		ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ:ｽﾃﾝﾚｽ製(防虫網付)150φ					
	ｺｱｰ抜・防水	外壁150φ　100-150L	1.0	式			
		ｺｱｰ抜・補修					
	内部足場	脚立並列	3.0	㎡			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
A2	A棟 機械設備工事(撤去)						
A2-1	衛生器具設備		1.0	式			
A2-2	給水設備		1.0	式			
A2-3	排水設備		1.0	式			
A2-4	暖房設備		1.0	式			
A2-5	換気設備		1.0	式			
A2-6	産業廃棄物処理		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2	A棟 機械設備工事(撤去)						
A2-1	衛生器具設備						
	和風大便器	ﾌﾗｯｼｭ弁 金物一式	16.0	組			
	小便器	ﾌﾗｯｼｭ弁 金物一式	10.0	組			
	掃除用流し	水栓 排水金物 付属品一式	4.0	組			
	洗面器	水栓 排水金物 付属品一式	8.0	組			
	化粧鏡		8.0	枚			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2-2	給水設備						
	鋼管	80A　埋設	3.0	m			
	鋼管	80A　便所	2.0	m			
	鋼管	65A　便所	5.0	m			
	鋼管	50A　便所	7.0	m			
	鋼管	40A　便所	4.0	m			
	鋼管	32A　便所	8.0	m			
	鋼管	25A　便所	30.0	m			
	鋼管	20A　便所	40.0	m			
	仕切弁	80A	1.0	個			
	全上BOX		1.0	箇所			
	中間階水抜栓	50Ax500H	2.0	個			
	中間階水抜栓	32Ax500H	2.0	個			
	吸気弁　水用	15A	4.0	個			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2-2	給水設備						
	管切断(取外)	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)・接続					
	※衛生器具・配管・金物撤去時斫り工事含む						
	※配管撤去は断熱材撤去工事含む						
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2-3	排水設備	通気・中間階水抜ドレン配管含む					
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100A　便所	41.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP80A　便所	33.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65A　便所	32.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50A　便所	29.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40A　便所	16.0	m			
	排水鉛管	100φ　便所	16.0	m			
	排水鉛管	65φ　便所	4.0	m			
	排水鉛管	50φ　便所	10.0	m			
	排水鉛管	40φ　便所	8.0	m			
	床上掃除口	COB100	7.0	個			
	床上掃除口	COB80	7.0	個			
	床上排水金物	T5B-50	4.0	個			
	管切断(取外)	樹脂管	1.0	式			
		管切断(取外)・接続					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2-4	暖房設備						
	PH-1 電気ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	暖房能力 1720Kcal/h	4.0	台			
	壁取付形	1φ200V2.0Kw					
	細目計						
A2-5	換気設備						
	F－1 換気扇	300φ 換気風量 1002CMH	2.0	台			
	壁取付形	格子ﾀｲﾌﾟ 電気式					
		取付枠･ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ 残置					
	開口部SUS板取付	t1.0	1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2-6	産業廃棄物処理						
	収集･積込	金属管類	0.6	t			
	収集･積込	塩ビ管	0.3	t			
	収集･積込	陶器類(金物共)	0.8	t			
	収集･積込	混合物(機器)	0.1	t			
	収集･積込	断熱材	0.1	t			
	収集･積込	金属類	0.1	t			
	運搬費	金属管類	0.6	t			
	運搬費	塩ビ管	0.3	t			
	運搬費	陶器類(金物共)	0.8	t			
	運搬費	混合物(機器)	0.1	t			
	運搬費	断熱材	0.1	t			
	運搬費	金属類	0.1	t			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
A2-6	産業廃棄物処理						
	処分費	金属管類	0.6	t			
	処分費	塩ビ管	0.3	t			
	処分費	陶器類(金物共)	0.8	t			
	処分費	混合物(機器)	0.1	t			
	処分費	断熱材	0.1	t			
	処分費	金属類	0.1	t			
	法定福利費		1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
B1	B棟 機械設備工事(更新)		1.0	式			
B2	B棟 機械設備工事(撤去)		1.0	式			
	B 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
B1	B棟 機械設備工事(更新)						
B1-1	衛生器具設備		1.0	式			
B1-2	給水設備		1.0	式			
B1-3	排水設備		1.0	式			
B1-4	暖房設備		1.0	式			
B1-5	換気設備		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B1	B棟 機械設備工事						
B1-1	衛生器具設備						
	洋風大便器	掃除口付 CFS498BMC	19.0	台			
		ｳｵｼｭﾚｯﾄ TCF5534AU 貯湯					
		ﾘﾓｺﾝ 他付属品一式					
		紙巻器 YH702					
	L形手摺	T112CL10	9.0	組			
	小便器	低ﾘｯﾌﾟ形 超節水ﾀｲﾌﾟ	12.0	組			
		自動ﾌﾗｯｼｭ弁一体型 UFS910JS					
	小便器用手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ	3.0	組			
		T112CU2					
	洗面ｶｳﾝﾀｰ長さ	L＝1800　　H＝600	5.0	組			
	洗面器	ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ式洗面器 L530					
		台付立水栓 TLC11AR					
		水石鹸入 TLK05202J					
		Pﾄﾗｯﾌﾟ TLDP2107J　×2					
	洗面器ｶｳﾝﾀｰ	ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ 奥行550L					
		前方ｴﾌﾟﾛﾝ ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ(ｹﾝﾄﾞﾝ式)					
		底板 側面巾木					
	化粧鏡	450x600 YM4560A	10.0	枚			
	掃除用流し	SK22A　横水栓 T23AEQ20C	5.0	組			
		ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓 TN114 他付属品一式					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B1-2	給水設備						
	水道用内外面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD80A　　埋設	3.0	m			
	水道用内外面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VD65A　　埋設	3.0	m			
	管埋設費	ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ	1.0	式			
	既設開口部防水処理	地中梁貫通部	1.0	式			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB80A　　便所	1.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB65A　　便所	16.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB50A　　便所	6.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB40A　　便所	11.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB32A　　便所	15.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB25A　　便所	10.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB20A　　便所	92.0	m			
	仕切弁　JIS10K　ﾅｲﾛﾝｺｰﾃｲﾝｸﾞ	GV80A(ﾌﾗﾝｼﾞﾀｲﾌﾟ)	1.0	個			
	仕切弁　JIS10K　ﾅｲﾛﾝｺｰﾃｲﾝｸﾞ	GV65A(ﾌﾗﾝｼﾞﾀｲﾌﾟ)	1.0	個			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B1-2	給水設備	つづき					
	全上BOX	VC-11BOX	2.0	箇所			
	中間階水抜栓	50Ax500H	2.0	個			
	中間階水抜栓	40Ax500H	3.0	個			
	中間階水抜栓	32Ax500H	3.0	個			
	吸気弁　水用	15A	6.0	個			
	断熱工事	断熱･防露･防食･塗装	1.0	式			
	ｺｱｰ抜･補修工事	ｺｱｰ抜･補修	1.0	式			
	管接続工事	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)･接続					
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	スラブｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B1-3	排水設備	通気・中間階水抜ドレン配管含む					
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100　便所	30.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP80　便所	21.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65　便所	7.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50　便所	27.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40　便所	13.0	m			
	耐火二層管	TVU100A 便所	74.0	m			
	耐火二層管	TVU80A 便所	18.0	m			
	耐火二層管	TVU65A 便所	34.0	m			
	耐火二層管	TVU50A 便所	36.0	m			
	耐火二層管	TVU40A 便所	27.0	m			
	床上掃除口(シート用)	COA100	10.0	個			
	床上掃除口(シート用)	COA80	8.0	個			
	床上掃除口(シート用)	COA65	1.0	個			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B1-3	排水設備	つづき					
	床上掃除口(ｼｰﾄ用)	COA50	1.0	個			
	満水継手	100A	4.0	個			
	断熱工事	断熱･防露･防食･塗装	1.0	式			
	ｺｱｰ抜･補修工事	ｺｱｰ抜･補修	1.0	式			
	管接続工事	樹脂管	1.0	式			
		管切断(取外)･接続					
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	スラブｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B1-4	暖房設備						
	PH-1	暖房能力 1720Kcal/h	6.0	台			
	電気パネルﾋｰﾀｰ	1φ200V2.0Kw					
	壁取付形	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ					
		ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙｶﾊﾞｰ DP-A200P 付属品一式					
	細目計						
B1-5	換気設備						
	PF-1　換気扇	ﾀﾞｸﾄ径150φ 換気風量330CMH	6.0	台			
	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	ｻﾆﾀﾘｰ用					
		ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ・壁ｽﾘｰﾌﾞ					
		ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ:ｽﾃﾝﾚｽ製(防虫網付)150φ					
	ｺｱｰ抜・防水	外壁150φ 100-150L	1.0	式			
		ｺｱｰ抜・補修					
	内部足場	脚立並列	5.0	㎡			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
B2	B棟 機械設備工事(撤去)						
B2-1	衛生器具設備		1.0	式			
B2-2	給水設備		1.0	式			
B2-3	排水設備		1.0	式			
B2-4	暖房設備		1.0	式			
B2-5	換気設備		1.0	式			
B2-6	産業廃棄物処理		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2	B棟 機械設備工事(撤去)						
B2-1	衛生器具設備						
	和風大便器	ﾌﾗｯｼｭ弁 金物一式	24.0	組			
	小便器	ﾌﾗｯｼｭ弁 金物一式	15.0	組			
	掃除用流し	水栓 排水金物 付属品一式	6.0	組			
	洗面器	水栓 排水金物 付属品一式	12.0	組			
	化粧鏡		12.0	枚			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-2	給水設備						
	鋼管	80A　埋設	2.0	m			
	鋼管	65A　埋設	2.0	m			
	鋼管	80A　便所	2.0	m			
	鋼管	65A　便所	6.0	m			
	鋼管	50A　便所	15.0	m			
	鋼管	40A　便所	8.0	m			
	鋼管	32A　便所	12.0	m			
	鋼管	25A　便所	35.0	m			
	鋼管	20A　便所	70.0	m			
	仕切弁	80A	1.0	個			
	仕切弁	65A	1.0	個			
	全上BOX		2.0	箇所			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-2	給水設備						
	中間階水抜栓	60Ax500H	2.0	個			
	中間階水抜栓	50Ax500H	3.0	個			
	中間階水抜栓	32Ax500H	3.0	個			
	吸気弁　水用	15A	6.0	個			
	管切断(取外)	管切断(取外)・接続	1.0	式			
	※衛生器具・配管・金物撤去時斫り工事含む						
	※配管撤去は断熱材撤去工事含む						
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-3	排水設備	通気･中間階水抜ドレン配管含む					
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP100A　便所	50.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP80A　便所	40.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP65A　便所	13.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP50A　便所	63.0	m			
	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	VP40A　便所	8.0	m			
	排水鉛管	100φ　便所	24.0	m			
	排水鉛管	65φ　便所	6.0	m			
	排水鉛管	50φ　便所	15.0	m			
	排水鉛管	40φ　便所	12.0	m			
	床上掃除口	COB100	11.0	個			
	床上掃除口	COB80	8.0	個			
	床上掃除口	COB65	2.0	個			
	床上掃除口	COB50	2.0	個			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-3	排水設備	つづき					
	床上排水金物	T5B-50	6.0	個			
	管切断(取外)	管切断(取外)・接続	1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-4	暖房設備						
	PH-1 電気ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	暖房能力 1720Kcal/h	6.0	台			
	壁取付形	1φ200V2.0Kw					
	細目計						
B2-5	換気設備						
	F－1 換気扇	300φ 換気風量 1002CMH	3.0	台			
	壁取付形	格子ﾀｲﾌﾟ 電気式					
		取付枠･ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ 残置					
	開口部SUS板取付	t1.0	1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-6	産業廃棄物処理						
	収集･積込	金属管類	1.0	t			
	収集･積込	塩ビ管	0.4	t			
	収集･積込	陶器類(金物共)	1.2	t			
	収集･積込	混合物(機器)	0.1	t			
	収集･積込	断熱材	0.1	t			
	収集･積込	金属類	0.4	t			
	運搬費	金属管類	1.0	t			
	運搬費	塩ビ管	0.4	t			
	運搬費	陶器類(金物共)	1.2	t			
	運搬費	混合物(機器)	0.1	t			
	運搬費	断熱材	0.1	t			
	運搬費	金属類	0.4	t			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
B2-6	産業廃棄物処理						
	処分費	金属管類	1.0	t			
	処分費	塩ビ管	0.4	t			
	処分費	陶器類(金物共)	1.2	t			
	処分費	混合物(機器)	0.1	t			
	処分費	断熱材	0.1	t			
	処分費	金属類	0.4	t			
	法定福利費		1.0	式			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
C	A棟 身障者トイレ機械設備工事						
C1	A棟 身障者トイレ機械設備工事(更新)		1.0	式			
C2	A棟 身障者トイレ機械設備工事(撤去)		1.0	式			
	C 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
C1	A棟　身障者トイレ機械設備工事(更新)						
C1-1	衛生器具設備		1.0	式			
C1-2	暖房設備		1.0	式			
C1-3	換気設備		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
C1-1	衛生器具設備						
	車椅子対応便器	CS20AB 密結ﾀﾝｸ SH30BA	1.0	組			
		洗浄便座 TCF5840PN					
		ﾘﾓｺﾝ 付属品一式					
		紙巻器 YH702					
	可動手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ T112HK7R	1.0	組			
	固定手摺	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ T112CL11	1.0	組			
	多目的洗面器	LSA125CC	1.0	組			
		自動水栓					
		自動水石鹸供給ｾｯﾄ					
		壁給水 P形排水金物					
	洗面器用手摺	T112CP26 x2	1.0	組			
	傾斜鏡	LM531E	1.0	組			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
C1-2	暖房設備						
	PH-3 電気パネルﾋｰﾀｰ　壁取付形	暖房能力 430Kcal/h	1.0	台			
		1φ200V0.5Kw					
		ｻｰﾓｽﾀｯﾄ ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ					
		ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙｶﾊﾞｰ					
		DP-A50P 付属品一式					
	細目計						
C1-3	換気設備						
	PF-1 換気扇　ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	150φ	1.0	台			
		角形格子ﾀｲﾌﾟ　電気式					
		取付枠･ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ既設利用					
		V-12PD8 付属品一式					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
C2	A棟　身障者トイレ機械設備工事(撤去)						
C2-1	衛生器具設備		1.0	式			
C2-2	暖房設備		1.0	式			
C2-3	換気設備		1.0	式			
C2-4	産業廃棄物		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
C2-1	衛生器具設備	撤去					
	車椅子対応便器	ﾀﾝｸ･洗浄便座･金具一式	1.0	台			
	可動手摺	金物一式	1.0	ヶ所			
	固定手摺	金物一式	1.0	ヶ所			
	多目的洗面器	自動水栓･給排水金物一式	1.0	ヶ所			
	洗面器用手摺	金物一式	1.0	ヶ所			
	傾斜鏡	金物一式	1.0	ヶ所			
	細目計						
C2-2	暖房設備						
	電気パネルﾋｰﾀｰ	暖房能力　430Kcal/h	1.0	台			
	壁取付形	1φ200V0.5Kw					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
C2-3	換気設備						
	換気扇　ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	150φ　電気式	1.0	台			
		取付枠･ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ既設利用					
	細目計						
C2-4	産業廃棄物処理						
	収集･積込	陶器類(金物共)	0.04	t			
	収集･積込	混合物(機器)	0.01	t			
	運搬費	陶器類(金物共)	0.04	t			
	運搬費	混合物(機器)	0.01	t			
	処分費	陶器類(金物共)	0.04	t			
	処分費	混合物(機器)	0.01	t			
	法定福利費		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
D	A棟 特殊教室トイレ機械設備工事						
D1	A棟 特殊教室トイレ機械設備工事(更新)		1.0	式			
D2	A棟 特殊教室トイレ機械設備工事(撤去)		1.0	式			
	D 計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
D1	A棟 特殊教室トイレ機械設備工事(更新)						
D1-1	衛生器具設備		1.0	式			
D1-2	給水設備工事		1.0	式			
D1-3	給湯設備工事		1.0	式			
D1-4	ガス設備工事		1.0	式			
D1-5	排水設備工事		1.0	式			
D1-6	暖房設備工事		1.0	式			
D1-7	換気設備工事		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D1-1	衛生器具設備						
	ｺﾝﾊﾟｸﾄﾊﾞﾘｱﾌﾘｰTP	UADAZ02LIB2AN一式同等	1.0	組			
		参考品番:UADAZ02LIBANN2WA					
		TCF5841AUP＃NW1					
	壁掛ﾊｲﾊﾞｯｸ洗面器	LSA125CC一式同等	1.0	組			
		参考品番:LSA125CC＃NW1					
	ｵｽﾄﾒｲﾄ対応ﾏﾙﾁﾏｼﾝPK	参考品番:XPSA71C71WN	1.0	組			
	ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ洗面所	参考品番:MLHCH0970HPA131Y	1.0	組			
		TLE33SM4A T7W42R					
		M9P50A MFHC＃NW1					
		M92S＃NW2W					
	洗濯パン	参考品番:PWP740N2W	1.0	組			
		縦引排水ﾄﾗｯﾌﾟPJ002同等					
	洗濯機用壁付2ﾊﾝﾄﾞﾙ混合	参考品番:TWAS20A1ZA	1.0	組			
	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽﾙｰﾑ	参考品番:UB00001	1.0	組			
		JSV0808ULW4AK					
		IKK85 SSGFK					
		ACA01 SBA31					
		ZPUBK214＃NW1					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D1-2	給水設備工事						
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB32A 便所	2.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB25A 便所	5.0	m			
	水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	VB20A 便所	15.0	m			
	吸気弁 水用	15A	2.0	個			
	断熱工事	断熱･防露･防食･塗装	1.0	式			
	ｺｱ抜き･補修工	ｺｱ抜き･補修	1.0	式			
	管接続工事	管切断(取外)･接続	1.0	式			
	ｽﾘｰﾌﾞ工事		1.0	式			
	仕切弁 JIS10K		1.0	個			
	SUS･FJ		1.0	個			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D1-3	給湯設備工事						
	耐熱塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	HTLP20A 便所	13.0	m			
	吸気弁 湯用	15A	1.0	個			
	断熱工事	断熱･防露･防食･塗装	1.0	式			
	ｺｱ抜き･補修	ｺｱ抜き･補修	1.0	式			
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	ｽﾗﾌﾞ　ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	式			
	ガス給湯器 20号 材工	強制給排気	1.0	箇所			
		給排気筒(直管･曲部)　給排気トップ					
	仕切弁 JIS10K	20A	1.0	個			
	SUS･FJ	20A×300L	1.0	個			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D1-4	ガス設備工事						
	外面ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ被覆鋼管	PLP20A 便所	2.0	m			
	ｺｱ抜き・補修	ｺｱ抜き・補修	1.0	式			
	管接続工事	管切断(取外)・接続	1.0	式			
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	ｽﾗﾌﾞ　ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	式			
	ガスコック	20A	1.0	個			
	SUS･FJ	20A×300L	1.0	個			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D1-5	排水設備工事	通気含む					
	硬質塩ビ管	VP100　便所	9.0	m			
	硬質塩ビ管	VP80　便所	3.0	m			
	硬質塩ビ管	VP50　便所	12.0	m			
	硬質塩ビ管	VP40　便所	4.0	m			
	断熱工事	断熱･防露･防食･塗装	1.0	式			
	ｺｱ抜き･補修	ｺｱ抜き･補修	1.0	式			
	管接続工事	管切断(取外)･接続	1.0	式			
	ｽﾘｰﾌﾞ工事	ｽﾗﾌﾞ　ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	式			
	床上掃除口	COA100	1.0	個			
	床上掃除口	COA80	1.0	個			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D1-6	暖房設備工事						
CH-1	防滴型遠赤外線ﾋｰﾀｰ	暖房能力　1290Kcal /h	1.0	台			
	天井取付型	1Φ200V1.5kw					
		室温調節用ｻｰﾓ					
		断熱材加工費					
		温度ﾋｭｰｽﾞ　ﾋｰﾀｰｺﾝﾄﾛｰﾙｻｰﾓｽﾀｯﾄﾞ					
	細目計						
D1-7	換気設備工事						
FE-6	2部屋用天井埋込形換気扇	解放換気風量　260m3/h	1.0	台			
	ｻﾆﾀﾘｰ用・低騒音	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ　吊り金物					
		ﾀﾞｸﾄｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ既存利用					
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	150Φ	2.0	m			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	100Φ	2.0	m			
	断熱工事	隠蔽150Φ　100Φ	1.0	式			
		断熱・防露・防食・塗装					
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
Ⅲ	機械設備工事						
D2	A棟 特別教室トイレ機械設備工事(撤去)						
D2-1	衛生器具設備		1.0	式			
D2-2	給水設備		1.0	式			
D2-3	給湯設備		1.0	式			
D2-4	ガス設備		1.0	式			
D2-5	排水設備		1.0	式			
D2-6	換気設備		1.0	式			
D2-7	産業廃棄物処理		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D2-1	衛生器具設備	撤去					
	洋風大便器	便器･ﾀﾝｸ･紙巻器	1.0	組			
	固定手摺	I型	1.0	組			
	和風大便器	便器･FV･紙巻器	1.0	組			
	固定手摺	I型	1.0	組			
	小便器	便器･FV	1.0	組			
	洗面器	水栓	1.0	組			
	化粧鏡		1.0	枚			
	ｼｬﾜｰｾｯﾄ		1.0	組			
	固定手摺	I型	1.0	組			
	細目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D2-2	給水設備						
	鋼管	32A 便所	1.0	m			
	鋼管	25A 便所	2.0	m			
	鋼管	20A 便所	12.0	m			
	仕切弁	20A	1.0	個			
	管切断(取外)	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)・接続					
	項目計						
D2-3	給湯設備工事						
	鋼管	20A 便所	7.0	m			
	仕切弁	20A	1.0	個			
	管切断(取外)	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)・接続					
	ガス湯沸器 13号	強制給排気 給排気筒(直管・曲部)	1.0	台			
		給排気筒ﾄｯﾌﾟ					
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
C2-4	ガス設備						
	鋼管	20A 便所	3.0	m			
	ガスコック	20A	1.0	個			
	管切断(取外)	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)・接続					
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D2-5	排水設備工事	通気共					
	硬質塩ビ管	VP100A　便所	6.0	m			
	硬質塩ビ管	VP80A　便所	3.0	m			
	硬質塩ビ管	VP50A 便所	12.0	m			
	硬質塩ビ管	VP40A 便所	1.0	m			
	排水鉛管	100Φ 便所	1.0	m			
	排水鉛管	50Φ 便所	1.0	m			
	排水鉛管	40Φ 便所	1.0	m			
	床上掃除口	COB 100	1.0	個			
	床上掃除口	COB 80	1.0	個			
	床上排水金物	T5B－50	1.0	個			
	管切断(取外)	鋼管	1.0	式			
		管切断(取外)･接続					
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D2-6	換気設備工事						
FE-6	天井埋込形換気扇	150Φ　換気扇周りﾀﾞｸﾄ撤去	1.0	台			
		ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ残置					
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D2-7	産業廃棄物処理						
	収集･積込	金属管類	0.01	t			
	収集･積込	塩ビ管	0.01	t			
	収集･積込	陶器類(金物共)	0.04	t			
	収集･積込	混合物(機器)	0.01	t			
	収集･積込	断熱材	0.01	t			
	運搬	金属管類	0.01	t			
	運搬	塩ビ管	0.01	t			
	運搬	陶器類(金物共)	0.04	t			
	運搬	混合物(機器)	0.01	t			
	運搬	断熱材	0.01	t			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
D2-7	産業廃棄物処理						
	処分費	金属管類	0.01	t			
	処分費	塩ビ管	0.01	t			
	処分費	陶器類(金物共)	0.04	t			
	処分費	混合物(機器)	0.01	t			
	処分費	断熱材	0.01	t			
	法定福利費		1.0	式			
	項目計						

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
E	下水配管改修工事	主管部分					
	舗装切断工	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版15㎝以下	50.00	m			
	舗装版取り壊し積込	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m(平積0.3m3)	2.00	m3			
	As運搬工(4t積級･2t積級)	2t級ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m(平積0.3m3)	2.00	m3			
	処分費As切削廃材	中信(2)中間処理場	2.40	t			
	管路掘削(バックホー掘削積込)	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m(平積0.3m3)	12.00	m3			
	機械投入埋戻工	砂(粒径5-0荒目洗い細骨材)	3.0	m3			
	機械投入埋戻工	再生砕石RC40	3.5	m3			
	発生土運搬(4t積級･2t積級)	2t級ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m(平積0.3m3)	12.0	m3			
	発生土処分費		12.0	m3			
	下層路盤	1層施工　200㎜	15.0	m2			
	上層路盤	粒度調整砕石M25-0　1層施工120㎜	15.0	m2			
	舗装工(人力施工)	再生密粒度As(13F)舗装圧5㎝	15.0	m2			

工 事 設 計 用 紙

番号	名　称	規　格	数 量	単位	単 価	金 額	摘　要
E	下水配管改修工事						
	既設排水管撤去	VP125　埋設	25.0	m			
	既設ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	斫り工事共	4.0	箇所			
	小口径塩ビ桝(防護蓋)	90Y　125-125-200　VU･VP変換ｿｹｯﾄ	1.0	箇所			
	小口径塩ビ桝	起点ﾄﾗｯﾌﾟ 100-200　VU･VP 変換ｿｹｯﾄ	1.0	箇所			
	小口径塩ビ桝(防護蓋)	45L　125-125-200　VU･VP変換ｿｹｯﾄ	1.0	箇所			
	小口径塩ビ桝(防護蓋)	45L　125-125-200　VU･VP変換ｿｹｯﾄ	1.0	箇所			
	小口径塩ビ桝(防護蓋)	90L　125-125-200　VU･VP変換ｿｹｯﾄ	1.0	箇所			
	硬質塩ビ管	VP200	25.0	m			
	管埋設費		1.0	式			
	項目計						

現　場　説　明　書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

１．件名（工事名称）

令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）

２．工事場所：　安曇野市　穂高西小学校

３．工事概要：

校舎トイレ施設の全面改修工事（Ⅱ期）

・北校舎西側トイレ（1～３階）：内装・設備機器及び設備配管共全面改修
・南校舎西側トイレ（1～２階）：同上
・南校舎特別支援教室内トイレ：同上
・南校舎多目的トイレ：設備機器改修

４．　工期等

(1) 契約工期　　契約日　　～　　令和８年２月 27 日

(2) その他

※学校、児童クラブ側と十分工程打合せをして施工時期を計画すること。

※南校舎トイレは夏休み中に概ね竣工させること。(優先順位：①特別支援教室内トイレ、②１～２階児童トイレ、③多目的トイレ)

※夏休み予定　参考 7/20～8/21（昨年度）

※夏休み前の休日にて解体処理工事を完了させたい。(学校行事及び放課後児童クラブがあり大きな音が出ると運営上支障がでるため。夏休み以降の工事も運営上支障がきたさぬよう学校、児童クラブと要相談すること)

５．一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。」）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

６．本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所･面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 児童・教員及び施設の利用者の安全に対して、十分配慮すること。

(3) 施設に係る支障事項は、事前に施設管理者へ報告を行い、作業内容等十分な配慮を行うこと。

(4) 契約後に提示する行事及び下記（5）に記載した事項を確認・協議して工程を計画すること。また、可能な限り工事期間の短縮をすること。

(5) 改修工事については、夏休み期間を含め施設を運営しながらの施工となるため、施工期間及び作業時間の調整を行い施工すること。また、学校行事（準備片付も含む）の予定があるため、打合せの上、騒音等に配慮し学校運営に支障がないよう努めること。

(6) 本工事は、「週休２日工事実施要領」発注者指定型週休２日工事の対象である。
なお、週休２日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。
（工事発注時は４週８休（通期）を想定した設計単価で積算している）

(7) 現場引き渡しにあたり、現場引き渡し検査の前に化学物質の濃度測定を行い、結果を報告すること。

(8) 児童・保護者及び職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

(9) 校内で他工事があった場合は適宜調整すること。

(10) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(11) 感染症対策は十分に講じること。

~~７．本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

８．安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第４条の規定

により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

９．工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10．その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはＡ４版とする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

１．保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

２．各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1)公共事業労務費調査等

(2)資材調査、建設副産物実態調査等

３．工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

４．被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

５．工事実績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事実績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

６．施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・１日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

７．主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）

② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

８．産業廃棄物等の取扱い

(1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。

(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

９．再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10．安全対策関係

(1)工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。

(2)安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

(3)足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11．環境対策関係

(1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。

(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。

(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。

(4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12．過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。

②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。

③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輌及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないこと。

⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

~~⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。~~

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13．セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~

~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~

~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認する。~~

14．アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

① アスベスト材料の種別

② アスベスト形状、飛散可能性の有無

③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

(3) 今回アスベストの事前調査は実施済みだが、撤去にあたり未実施部材が発見された場合、事前調査を行い、報告書を監督員に提出すること。

15. 建設業退職金制度について

(1)工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2)工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3)請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後１ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1)工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2)工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3)下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ｉ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平

成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）

・工事打合わせ記録簿（当月分）

・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはＡ４版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和 24 年法律第 100 号第 20 条の２第２項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和７年２月 12 日適用版

令和６年度（明許繰越）
穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）

令和７年４月

令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）

図面リスト

	図面番号	図面名	SCALE A１	SCALE A３
建築主体工事（意匠図）	Ａ － 00	表紙	Non	Non
	Ａ － 01	図面リスト	Non	Non
	Ａ － 02	工事区分表	Non	Non
	Ａ － 03	特記仕様書(1)	Non	Non
	Ａ － 04	特記仕様書(2)	Non	Non
	Ａ － 05	特記仕様書(3)	Non	Non
	Ａ － 06	特記仕様書(4)	Non	Non
	Ａ － 07	解体工事特記仕様書	Non	Non
	Ａ － 08	工事概要・求積図・仕上表	1/100	1/200
	Ａ － 09	案内図・全体配置図	Non	Non
	Ａ － 10	全体平面図・仮設計画図　１階	1/200	1/400
	Ａ － 11	全体平面図・仮設計画図　２、３階	1/200	1/400
	Ａ － 12	平面詳細図１	1/50	1/100
	Ａ － 13	平面詳細図２	1/50	1/100
	Ａ － 14	立面図１	1/100	1/200
	Ａ － 15	立面図２	1/100	1/200
	Ａ － 16	断面詳細図	1/50、60	1/100、120
	Ａ － 17	天井伏図１	1/50	1/100
	Ａ － 18	天井伏図２	1/50	1/100
	Ａ － 19	展開図１	1/50	1/100
	Ａ － 20	展開図２	1/50	1/100
	Ａ － 21	1階身障者トイレ平面図・展開図	1/50	1/100
	Ａ － 22	建具家具キープラン	Non	Non
	Ａ － 23	みんなのトイレ　断面詳細図	1/15、25	1/30、50
	Ａ － 24	特殊教室トイレ　天井伏せ図、展開図	1/50	1/100
	Ａ － 25	みんなのトイレ　天井伏せ図、展開図	1/50	1/100

	図面番号	図面名	SCALE A１	SCALE A３
建築主体工事（意匠図）	Ａ － 26	建具図１	1/50	1/100
	Ａ － 27	建具表２	図示	図示
	Ａ － 28	部分詳細図１	図示	図示
	Ａ － 29	部分詳細図２	図示	図示
	Ａ － 30	部分詳細図３	図示	図示
	Ａ － 31	部分詳細図４	図示	図示
建築主体工事（構造図）				

	図面番号	図面名	SCALE A１	SCALE A３
電気設備工事	ＥⅡ－ 01	電気設備工事特記仕様書	Non	Non
	ＥⅡ－ 02	Ⅰ期1階平面配置図　照明器具更新	1/500	1/1000
	ＥⅡ－ 03	照明・ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ更新設備　詳細図１	1/100	1/200
	ＥⅡ－ 04	Ⅰ期2,3階平面配置図　照明器具更新	1/500	1/1000
	ＥⅡ－ 05	照明・ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ更新設備　詳細図２	1/100	1/200

	図面番号	図面名	SCALE A１	SCALE A３
機械設備工事	ＭⅡ－ 01	機械設備工事特記仕様書	Non	Non
	ＭⅡ－ 02	給排水設備配置図・凡例・ﾒｰｶｰﾘｽﾄ	1/500	1/1000
	ＭⅡ－ 03	系統図（Ⅰ－Ⅲ期工事共通）	Non	Non
	ＭⅡ－ 04	衛生器具表　給排水・暖房・寒気機器表	Non	Non
	ＭⅡ－ 05	給排水衛生設備 1階平面図 暖房・換気設備 1階平面図	1/250	1/500
	ＭⅡ－ 06	給排水衛生設備２・３階平面図 暖房・換気設備２・３階平面図	1/250	1/500
	ＭⅡ－ 07	給排水衛生設備平面詳細図１	1/50	1/100
	ＭⅡ－ 08	給排水衛生設備平面詳細図２	1/50	1/100
	ＭⅡ－ 09	特殊教室平面詳細図	1/50	1/100
	ＭⅡ－ 10	施工標準図	Non	Non

工事区分表

○ 躯体関係

項目		A	E	M	別		備考
1. ＲＣ造（梁･壁･床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け		○	○			特記なき限り各工事分担による
	補強を要する型枠材及び取付け						特記なき限り各工事分担による
	補強を要しない型枠材及び取付け						特記なき限り各工事分担による
	貫通孔・開口部の墨出し		○	○			特記なき限り各工事分担による
	貫通孔・開口部の補強		○	○			特記なき限り各工事分担による
	スリーブ・型枠の穴埋め		○	○			特記なき限り各工事分担による
	埋込形盤類及び、箱類の型枠						
2. Ｓ・ＳＲＣ造 はり貫通口	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強						
	使用されたスリーブの穴埋め						
	予備スリーブの穴埋め						
	貫通孔・開口部のスミ出し						
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	屋外・屋上の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	軽微なもの		○	○			
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない						
	機器取り付け用アンカー・架台		○	○			
4. 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体						
	機械室の床開口						
	機械室の床配管ピット・蓋						
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						
	巻上機周囲のチェッカープレート敷						
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ						
	各階出入口穴あけ・同補強						
	出入口扉・三方枠						
	三方枠取付・枠廻り・埋戻し・同補修						
	昇降機がＲＣの時、軌条・中間ビーム ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式						
	機械室天井フック取付						
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口						
	機械室換気設備						
	昇降路がＳ造の時の中層ビームブラケット受けピース						
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配線工事						
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配管工事						
5. その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）						
	湧水・汚水ピット・ＲＣ造各種水槽						
	同上用防水・マンホール・タラップ式						
	避雷設備・同接地工事						
	ＡＬＣ板の壁開口・補強						
	オイルサービスタンクの防油堤						
	厨房グリース阻集器						
	フリーアクセスフロア内の防水堤						
	プールサイド排水溝						
	厨房排水溝						

○ 仕上げ関係

項目		A	E	M	別		備考
1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強						特記なき限り各工事分担による
	補強を要しないボードの切り込み						特記なき限り各工事分担による
	開口部の墨出						特記なき限り各工事分担による
2. 既製間仕切り	切り込み及び補強						
	位置ボックス						
3. 吊りボルト及び設備機器のインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			
4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ		○	○			
	ウェザーカバー、ベントキャップ		○	○			
	換気扇（取付枠共）		○	○			
5. キッチンまわり	流し台・吊り戸棚・水切り棚コンロ台						
	フード（標準詳細図のもの）						
	レンジフード（標準詳細図のもの）						
6. 浴室まわり	ユニットバス、シャワーユニット						
	既製浴槽（ふたを含む）						
	浴室及び便所の床排水金物						
7. 便所まわり	洗面カウンター			○			
	鏡（規格寸法のみ）	○					
	ユニット形衛生器具			○			
	便所用てすり			○			
8. 居室まわり	ファンコイルカバー						
	家具組み込みの洗面器						
9. フリーアクセスフロア	コンセント・電話・情報等						
	床パネル切込み加工						
10. その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋						
	機器搬入用フックビーム						
	チェンブロック						
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ						
	点検口（天井・壁・床下）	○					
	排煙口等の天井仕上材の取付け						
	自動閉鎖装置を取り付ける防火戸の切込補強及びドアチェック、フロアヒンジ						
	消火器ＢＯＸ設置工事						
	自動扉・電動シャッターへの電源供給						
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事						
	一般用手すり						
	防火戸の配管、配線、煙感知器、レリーズ						
	防火シャッターの配管、配線、煙感知器						
	ガス漏れ検知器						
	空気集熱パッシブソーラーシステム工事						

○ 屋外排水設備・外構

項目		A	E	M	別		備考
1. 雨水	屋外雨水排水設備						
	桝及び桝ふた						
	雨水立管（たてどい）						
2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝ふた			○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ			○			
3. 植栽	植栽及び客土						
4. ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充填						
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等						
	ピット形以外						
5. 屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填						
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等						
	タンク室形以外						
6. その他	厨房グリーストラップ						

○ 電気配線配管

項目		A	E	M	別		備考
	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○				
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				１次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○				
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線		○				
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線						
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線						
	注油口内アース端子よりアース用配管配線						
	個別ﾊﾟｯｹｰｼﾞの室内機、室外機の渡り配線						
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの複合ｱｳﾄﾚｯﾄ取付け及び配線						
	電極棒		○				

○ 共通事項

項目		A	E	M	別		備考
	工事用電力・上下水道・ガス引込工事	○	○	○			
	工事用電力・上下水道・ガス引込工事（引込負担金・基本料金含む）	○	○	○			使用工事別
	本接電力引込工事						
	本接上水道引込工事						
	本接下水道引込工事						
	本接ガス引込工事						
	本接受電後引渡しまでの電力基本料金						試運転含む
	本接後引渡しまでの上水道基本料金						試運転含む
	本接後引渡しまでの下水道基本料金						試運転含む
	本接後引渡しまでのガス基本料金						試運転含む
	本接後引渡しまでの電力･上下水･ガス･灯油使用料金						関連工事別 試運転含む
	本接電話引込工事						引込負担金は別途
	工事上の各種申請手続き及び費用	○	○	○			関連工事別
	工事用仮設足場・仮囲い	○	○	○			足場共通利用
	既存便所換気扇解体撤去処分			○			
	既存便所パネルヒータ解体撤去処分			○			
	既存便所電気温水器解体撤去処分			○			
	既存水飲場電気温水器解体撤去処分			○			

凡例
- Ａ：建築主体工事
- Ｅ：電気設備工事
- Ｍ：機械設備工事
- 別：別途工事

安曇野市	担当	工事名称 令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	図面名称 工事区分表	NO. A-02
			縮尺 A1:1/--- A3:1/--- 日付 2023/10/01	

令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）建築工事仕様書

Ⅰ 工事概要

１．工事場所　　安曇野市　穂高柏原２７２８

２．敷地面積　　29,730.00 ㎡

３．工事種目　　改修

建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)

Ⅱ 建築工事仕様

① 共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。

（２）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

② 特記仕様

（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、●印の付いたものを適用する。
　●印の付いない場合は、※印の付いたものを適用する。
　●印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の（．．．）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）特記事項に記載の（別 ．．）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（５）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

①適用基準等

●建築工事標準詳細図　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
●敷地調査共通仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
●建築構造設計基準　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
●工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
●安曇野市建築工事の手引　　安曇野市企画財政部監修
・公共建築改修工事標準仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・公共建築木造工事標準仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
●建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）　　建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修

2.品質計画　　建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による　（1.2.2）
※風速（Vo＝　　）
※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
※積雪区分　建告示第1455号　別表（　　）

3.電気保安技術者　・適用する　　・適用しない　（1.3.3）

④施工条件明示項目　建物周囲の外構及び下水道接続工事については、現場で整合させること　（1.3.5）

⑤発生材の処理等　・別紙解体工事仕様書による　●構外搬出適正処理　・現場説明書による　（1.3.8）
また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。

・引渡しを要するもの	
・再生資源の利用を図るもの	

⑥特別な材料の工法　標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑦技能士　※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　（1.5.2）
・適用しない

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・とび
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	・型枠施工　・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業）　・とび
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALC(ﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ﾌﾞﾛｯｸ建築 ・ｴｰｴﾑｼｰﾊﾟﾈﾙ施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｼｰﾄ防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・ﾀｲﾙ張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）　・かわらぶき　・ｽﾚｰﾄ施工
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）　・建築板金（内外装板金作業）
左官工事	・左官
建具工事	・建具製作　・ｻｯｼ施工　・ｶﾞﾗｽ施工　・自動ﾄﾞｱ施工
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工　・ｻｯｼ施工　・ｶﾞﾗｽ施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）
排水工事	●配管（建築配管作業）
植栽工事	・造園
その他の工事	・畳製作　・家具製作　・樹脂接着剤注入施工　・自動ﾄﾞｱ施工

⑧設備工事との取合い　設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

9.設計GL　※図示　・設計GL=現状GL　または　監督員の指示するGL

⑩化学物質の濃度測定　測定方法　・ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　●ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法）　（1.5.9）
検査機関
※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者

測定物質
※ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ﾄﾙｴﾝ　※ｷｼﾚﾝ　※ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ｽﾁﾚﾝ

測定個所(室)　　計　　個所

※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.05ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

⑪完成図等　※作成する　（1.7.1～1.7.3）（表1.7.1）
※完成図（・設計図書で示したもの全て　・標仕表1.7.2による　●監督員の指示による）
作成方法　・原図　用紙　●普通紙出力:A3　・　　）
作図方法　●CADで作成し出力　・　　）
・マイクロフィルム（ﾌﾛﾝﾄｶｰﾄﾞ付）
・製本（見開きA3版（1部））
※CADデータ（※CD-R（1部）　・　　）
・保全に関する資料(2部)

⑫完成写真　下記のものを監督員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ（mm）
※ カラー写真	外部（ ）内部（ ）	・あ　・	・ｷﾔﾋﾞﾈ版　・ｻｰﾋﾞｽ版
・パネル（木製枠）	外部（　）内部（　）	・あ　・	・半切　・全紙
・カラースライド	外部（　）内部（　）	・あ　・	24×36以上
※ 電子データ	外部（ ）内部（ ）	・あ　・	・428万画素以上 ・350dpi以上

電子データは、ﾌｨﾙﾑｽｷｬﾝのうえRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾙｶﾗｰ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rに提出とする。
撮影業者　※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者
※　（あ）表記について　監督職員と協議の上決定する

⑬建築材料等　本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3)安定的な供給が可能であること
(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること
これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
なお、(社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする
また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。

⑭化学物質を発散する建築材料等　本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
(1)合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、仕上げ塗料及び壁紙はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(2)保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3)接着剤はﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4)塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規制対象外
①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
ａ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用
ｂ．接着剤等不使用
ｃ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない材料使用
ｄ．ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用
ｅ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料使用
ｆ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用

第三種
①JIS及びJASの F☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのEo規格品
④旧JASのFco規格品

2 仮設工事

①監督員事務所　・設ける　●設けない　（2.3.1）
規模　・10㎡程度　・20㎡程度　・（　　）㎡程度

②工事用水　構内既存の施設　●利用できる（※有償　・無償）　・利用できない　（2.3.1）

③工事用電力　構内既存の施設　●利用できる（※有償　・無償）　・利用できない　（2.3.1）

3 土工事

1.埋戻し及び盛土　種別　・A種　※B種　・C種　・D種　（3.2.3）（表3.2.1）

2.建設発生土の処理　※構外搬出適切処理　（3.2.5）
・構内の造成に利用　・構内の指定場所にたい積　・構内の指定範囲に敷きならし

4 地業工事

1.既製コンクリート杭地業　種類　（4.3.1）（4.3.2）
※高強度プレストレストコンクリート杭（建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの）
・

	杭径（mm）	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本杭					

先端部の形状　※開放型　・閉そく平たん　（4.3.2）
杭の継手　建築基準法に基づく指定機関において性能評定を受けた継手をしようしてもよい。
（4.3.6）
杭頭の処理　※ 切断しない　・　（4.3.7）
施工法　（4.3.3～4.3.5）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの）
・セメントミルク工法
・打込み工法

2.場所打ちコンクリート杭地業　コンクリートの種別及び設計基準強度　（4.5.3）（表4.5.1）
（・A種　・B種）かつFc＝（　　）N／mm²以上
鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　（4.5.3）
セメントの種類　※高炉セメントB種　・　（4.5.3）
掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）　（4.5.4）
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　（4.5.5）
・拡底杭工法（※安定液使用　・　）
孔壁測定　・行う（　　）　・行わない　（4.5.4）

3.砂利地業　※再生クラッシャラン　●切込み砂利及び切込み砕石　（4.6.3）

4.床下防湿層　施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　（4.6.5）

5.地盤改良等　六価クロム溶出試験　※行う　・行わない

5 鉄筋工事

①鉄筋の種別　（5.2.1）（表5.2.1）

種類の記号	呼び名（mm）
●SD295A	※D16以下　・
・SD345	※D19以上　・
・	

②鉄筋の継手　呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　・ガス圧接　●重ね継手　（5.3.4）

3.鉄筋の最小かぶり厚さ　最小かぶり厚さは目地底から算定する。　（5.3.5）
・耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※ 10　・

4.既製コンクリート杭の杭頭補強　・A形　・B形　※図示　（別1.1）

5.最上階柱頭補強　※行う　・行わない　（別2.1）

6.帯筋　※H形（ロは除く）　・　（別2.2）

7.壁開口部の補強　一般壁　・A形　※B形　・図示　（別4.2）（別表4.3）（別表4.4）
耐震壁　※ 図示　・

8.梁貫通孔の補強形式　※H形　・MH形　・M形　（別7.1）（別表7.1～別表7.3）

9.機械吊上げ用フック　・A種　・B種　・C種　（　　ヶ所）　（別7.3）

10.圧接完了後の試験　※ 超音波探傷試験　・引張試験　（5.4.9）

6 コンクリート工事

①普通コンクリートの設計基準強度　（6.1.4）

設計基準強度Fc（N/mm²）	施工箇所
※ 21	建物躯体（建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走りを含む）
・18	上記以外

②レディミクストコンクリートの種別　※ Ⅰ類　・Ⅱ類　（6.1.5）（6.4.1）（6.4.2）（表6.1.1）

③スランプ　工作物のスランプ値は15又は18cmとする

④セメントの種類　（6.3.2）（6.13.2）（6.16.2）（表6.3.1）

セメントの種類	施工箇所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外の全て
・ 高炉セメントB種	・ 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭 ・

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

⑤骨材の種類　アルカリシリカ反応による区分　（6.3.3）（6.5.4）
※A　・B（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt＝3.0kg/m3以下）

⑥混和材料　※混和剤　・混和材　（6.3.5）（6.4.8）

⑦無筋コンクリート　設計基準強度　※ 18N/mm2　（6.14.3）

8.コンクリート躯体表面の処理　外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法は、せき板面にMCR工法用気泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。
高圧水洗工法の目荒しは、水圧50N／mm2以上かつ2.5分／m²以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
コンクリートの増打ち厚さ　※ 20mm　・
※施工範囲は図示による

⑨型枠の種別　塗装の有無　※無　・有　・オーバーレイ　（6.9.3）
材質　※複合合板　・針葉樹合板　・南洋材合板
厚さ　※12mm　・

7 鉄骨工事

10.断熱材兼用型枠　適用及び適用箇所について（特記仕様書 19.14による）

⑪生コンの品質管理　打ち込み量50m3以上となるｺﾝｸﾘｰﾄ工事においては担当技術者を配置し、監督職員に報告すること。
供試体には、請負者がサインしたQC版（供試体型枠側面に張り付ける確認版）を入れる。

1.鉄骨の製作工場　製作工場の加工能力
・監督職員の承諾する製作事者　（7.1.3）
※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

2.入熱、パス間温度の溶接条件　適用箇所　※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示

3.施工管理技術者　※適用する　・適用しない　（7.1.3）（7.1.4）

4.鋼材　鋼材の材質　（7.2.1）（7.2.4）（表7.2.1）

種類の記号	使用箇所	規格等
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品

5.高力ボルト　※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト　（7.2.2）（7.12.4）

6.溶接部の試験　AOQL　※4.0%　・2.5%　（7.6.11）
検査水準　※第6水準　・図示　（7.6.11）（表7.6.2）

試験の種別		試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11(b)による ・ 図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

7.耐火被覆　（7.9.2～7.9.7）

種別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8.アンカーボルトの保持及び埋込み方法　・構造用アンカーボルト（※図示　・　　）　（7.10.3）（表7.10.1）
・建方用アンカーボルト（・A種　※B種　・C種）

9.柱底均しモルタル工法　※A種　・B種　（7.2.9）（7.10.3）（表7.10.2）
無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練混ぜ2時間後のブリージング率：2．0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25.0 N／mm²以上 材齢28日　45.0 N／mm²以上
付着強度	材齢28日　3.0 N／mm²以上
塩化物量	0．3Okg／m以下
試験方法	(1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮ﾓﾙﾀﾙ品質管理試験方法」312-1999による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308「ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ」付属書5(規定)「ﾌﾚｯｼｭｺﾝｸﾘｰﾄ中の塩化物イオン濃度試験方法」による。

10.溶融亜鉛めっき工法　（7.12.3）（表14.2.2）

亜鉛めっき種別	材料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

安曇野市

工事名　令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	年月日 R5/10/01	検印欄
図面名称　特記仕様書（１）	図面番号 A-03	

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1.建築用
コンクリートブロック

補強コンクリートブロック造 (8.2.2)
※空洞ブロック16　・空洞ブロック16-Ⅲ

帳壁及び塀　※標仕表8.3.1及び下表による　・ (8.3.2)

適用箇所		厚さ(mm)
・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁		・
・塀	高さ 2m以下	・120
	高さ 2mを越える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・

2.ＡＬＣパネル (8.4.2～8.4.6)(表8.4.2)(表8.4.3)

種　類	単位荷重（N/㎡）	厚さ（mm）	取付け工法（種別）
・外壁パネル	・1180　・1960	※100　・	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ
・間仕切パネル		※100　・	・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ
・屋根パネル	・980	※100　・	
・床パネル	・2350　・3530	※100　・150	※Ｆ種(標仕8.4.5による)

・床パネルの耐火性能　・1時間　・2時間　）
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)
※20 (8.4.3)
伸縮目地への耐火目地材の充てん　・適用する (8.4.4)

3.押出成形セメント板
（ＥＣＰ）

(8.5.2～8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法種別
・外壁パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ａ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			・Ｂ種
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			
・間仕切パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ｂ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			・Ｃ種
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			

耐火性能　・有り（　　）　・無し

9 防水工事

1.アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.8)

種　別	施工箇所
※ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

アスファルト　※３種　・４種 (9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※２５　・ (9.2.2)
ただし、ノンフロンのものとする。
立上り部の保護
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板（厚さ　15mm） (9.2.5)
製造所　評価名簿による

2.改質アスファルト
シート防水

種別　・ＡＳ－１　・ＡＳ－２　厚さ（　　） (9.3.2～9.3.4)(表9.3.1)
施工箇所　・

3.合成高分子系
ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種　別	厚さ(mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		・シルバー	※非歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		・カラー	・軽歩行
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・			

4.塗膜防水 (9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種　別	施工箇所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー
		・カラー
・Ｙ－１	地下外壁防水	Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２		※適用する　・適用しない

Ｘ－１の脱気装置
・設ける　材質（　　）　設置数量（　　㎡当たり１箇所）

(1～4についての保証)　防水工事施工者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

⑤シーリング　※下表以外は、標仕表9.7.1による。 (9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

10 石工事

1.天然石張り

石の品質 (10.2.1)
床用石材　※２等品　・１等品（施工箇所　　）
壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工箇所　　）
石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ(mm)	仕上げの種類

2.テラゾ張り　種石の種類　※大理石　・ (10.2.1)
表面仕上げ　※本磨き　・ (表10.2.2)

3.壁の石張り工法　外壁石張り (10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)
工法
・外壁湿式工法（※流し張工法　・　　）
・乾式工法
石裏面処理　※行わない　・行う（・小口共）
裏打ち処理　※行わない　・行う
ドレインパイプ　※ステンレスＳＵＳ３０４　・

内壁石張り (10.4.2)(10.4.3)(10.5.2)(10.5.3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
石裏面処理　※行わない　・行う（・小口共）
裏打ち処理　※行わない　・行う

4.床及び階段の石張り

床石張りの裏面処理　※行わない　・行う (10.6.2)
階段石張りの裏面処理　※行わない　・行う (10.1.5)
壁内のワックス掛け　※行う　・行わない (10.1.5)

11 タイル工事

1.陶磁器質タイル　※タイルの種類　図示による (11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	釉薬 無釉	釉薬 施釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	備考

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　・行わない　・行う（・ 外壁タイル　・　　）

2.張り付け用材料　既製調合モルタル (11.2.3)

保水率(%)	単位容積質量(kg/ｌ)	接着強さ(N/mm²) 標準時	接着強さ(N/mm²) 温冷繰返し後	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm)2
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・F☆☆☆ (11.2.3)

3.壁タイル張りの工法　内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 改良積上げ張り (11.3.3)(表11.3.2)
外装タイル　・ 密着張り　・ マスク張り
躯体表面の処理　・行わない　※ 行う
※ ＭＣＲ工法（６章コンクリート工事による）又は高圧水洗（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ下地）工法
施工範囲　※図示　・
下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5による
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　　） (11.2.1)

4.陶磁器質タイル
型枠先付け工法 (11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.9.3[材料](b)(2)または金属製ﾀｲﾙ先付け用パネル
・目地桝工法	・二丁掛タイル	
・桟木法	大型タイル	・

12 木工事

1.木材の品質　※標仕12.2.1による　・信州木材認証製品又は同等品　・市販品 (12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（　　）

2.樹　種　⊙図示または監督員協議による (12.2.1)(表12.2.2)
・代用樹種を適用しない箇所（　　）

3.集成材等 (12.2.1)

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
・集成材	・２種	・たも・なら・しおじ	
⊙構造用集成材	⊙１等　・２等		
⊙造作用集成材	⊙１等　・２等		
・化粧ばり造作用集成材	・１等　・２等		

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

4.接 着 剤　接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性とする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

5.防腐・防蟻処理　行う箇所（　　） (12.3.1)
防腐処理　・行う（※標仕12.3.1による　・図示　）　・行わない
防蟻処理　・行う（※図示　・　　）　・行わない
防腐、防蟻処理の種類・品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。
（クロルピリホスを含むものを添加しないこと）

6.防虫処理　行う箇所（　　） (12.3.1)

7.床板張り　フローリング及び縁甲板張り床 (12.2.3)(12.6.1)(表12.6.1)

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

⑥建築材料　クロルピリホスをあらかじめ添加したものを使用しないこと。ただし、発散するおそれがないものとして、国土交通大臣が認める材料についてはこの限りでない。

13 屋根及びとい工事

①長尺金属板葺き (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	材　種	塗装種別	板厚(mm)
・瓦棒葺（心木なし）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）	・フッ素	※0.4
⊙立はぜ葺（・立平　・あり掛）		・	・0.5
・横葺（・定尺　・長尺）	・		

下葺材料　※アスファルトルーフィング940　・ ゴムアス防水シート t 1.0

2.折板葺 (13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・がん合形		
形状(mm)	山高（　　）　山ピッチ（　　）	板　厚	※0.6　・0.8　・
材　料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・		
軒先面戸板	※有り　・無し		
断熱材	※有り（種別：　　厚さ：　　mm）　・無し		
耐火性能	※３０分耐火　・無し		

(1及び2についての保証)
・長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。
・上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

3.と　い　材　種　・配管用鋼管　⊙硬質塩化ビニル管 (13.5.2)(表13.5.1)
・ステンレス鋼板　・表面処理鋼板　・ アルミ既製品１１４φ
鋼管製といの防露　※標仕13.5.5 による (13.5.3)(表13.5.4)
防露材のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種
掃 除 口　・有り（図示）　⊙無し

14 金属工事

①ｽﾃﾝﾚｽの表面仕上げ (14.2.1)

種　類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て（ステンレスタラップは除く）
・No.2B程度	
・鏡面仕上げ	

2.ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種　別	施工箇所
・Ｂ－１種（無着色）	
・Ｂ－２種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）	

3.鉄の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

④軽量鉄骨天井下地　天井のふところが屋内1.5m以上、屋外が 1.0 m以上の場合の補強 (14.4.4)
※標仕14.4.4　による補強　・図示
耐震性を考慮した補強　・図示
屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強　・図示

5.金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法(mm)	厚(mm)	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	・アルミニウム製			・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種（　　）
・パネル形	・プレス ・	・			

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示） (14.6.3)

6.ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備　考
・２５０形	１．６以上	※Ａ－１又は Ｂ－１種 ・Ｂ－２種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・３００形	１．８以上			
・３５０形	２．０以上			
・１００形				

7.手すり及びタラップ (14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理
・手すり	※ステンレスＳＵＳ３０４	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種 内部　※Ｅ種
・タラップ	※ステンレスＳＵＳ３０４	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種 ・

15 左官工事

①モルタル塗り材料　吸水調整材 (15.2.2)

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度(N/mm2)	界面破断率（%）
表示値　±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤　(JIS A 1404による試験)

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
ｾﾒﾝﾄ重量の5%以下	JIS R5201の試験　8日において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以下	95%以下	80%以下 294.0KPa/h

安全性　膨張性のひび割れおよびそりがないこと。JIS R5201の試験9

②床ｺﾝｸﾘｰﾄの直均し仕上げ　※下表以外は、標仕表6.2.4及び標仕15.4.2による (表6.2.4)(15.4.1)(15.4.2)

施工箇所	平たん差(mm)	備　考

3.仕上塗材仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	砂壁状
	・内装薄塗材Ｃ	
	・内装薄塗材Ｌ	
	・内装薄塗材Ｓｉ	
	・内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	・複層塗材Ｓｉ	耐候性　※３種　・
	・複層塗材Ｅ	上塗材　溶媒　※水系　・溶剤系
	・複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系　・
	・複層塗材ＲＳ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＣＥ	・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　※行う
	・防水形複層塗材ＲＥ	
	・防水形複層塗材ＲＳ	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建築内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

4.珪藻土　JIS A 6909（建築用仕上塗材）により、製造所において指定された色及びつや等に調合し、有効期間を経過したものは使用しない。

16 建具工事

1.見本の製作等　・特殊な建具の仕様（建具番号：　　） (16.1.4)

2.防犯建物部品　・適用あり (16.1.6)

③ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具　外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
⊙Ａ種	Ｓ－４	・Ａ－３	・Ｗ－４	※７０	※図示
・Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

表面処理　※Ｂ－１種　・Ｂ－２種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ） (表14.2.1)
防音ドアセット　・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
断熱ドアセット　・断熱サッシ　・適用する　断熱性の等級（　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
屋内建具
表面処理　※Ｃ－１種又はＢ－１種 (表14.2.1)
・Ｃ－２種又はＢ－２種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

④網　戸　防 虫 網
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS316)　・合成樹脂製 (16.2.3)
形　式　※外部可動式　・固定式

5.鋼製建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.3.2)(表16.3.1)
・適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
耐風圧性 (16.3.2)(表16.2.1)
・適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
特定防火設備の戸　・適用する
標準型鋼製建具　・適用する (16.3.6)

6.鋼製軽量建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
標準型鋼製軽量建具　・適用する (16.4.5)

7.ｽﾃﾝﾚｽ製建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.5.2)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
耐風圧性 (16.5.2)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・ (16.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり） (16.5.5)
特定防火設備の戸　・適用する (表16.5.1)

⑧木製建具　かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　） (16.7.2)
ふすまの上張り　・新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く)　・鳥の子 (表16.7.3)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量の等級 (16.7.2)
※規制対象外　・第三種
⊙フラッシュ戸 (16.7.4)(表16.7.8)

⑨建具用金物　マスターキー　・製作する　・製作しない (16.8.4)
建築用金物 (16.8.2)(16.8.3)
錠前類は、シリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける (16.8.4)
吊り金物
⊙丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）　・ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ

10.自動ドア開閉装置 (16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1～3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア 種類　・SSLD-1　・SSLD-2 ・DSLD-1　・DSLD-2 ・スイングドア ・SWD-1　・SWD-2	※熱線スイッチ　・マットスイッチ　・電子マットスイッチ ・光電スイッチ　・タッチスイッチ　・音波スイッチ ・光線反射スイッチ　・電波スイッチ　・押ボタンスイッチ ・ペダルスイッチ　・多機能便所スイッチ

※凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

11.自閉式上吊り引戸装置　材料　※SUS304アルミニウム製等防錆性能を有するもの
・製造所標準仕様による (16.10.2)(16.10.3)
性能等　※標仕16.9.1による
・製造所標準仕様による

12.重量ｼｬｯﾀｰ (16.10.2)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1)
危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・ｼｬｯﾀｰの二段降下方式
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ　※設ける　・設けない (16.10.2)

13.軽量ｼｬｯﾀｰ　開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用） (16.11.2)(表16.11.1)
ｽﾗｯﾄ　材質　※JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)又はJIS G3318
(塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯) (16.11.3)
形状　※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形 (16.11.4)
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304（厚さ1.0mm） (表16.11.2)
耐風圧性能　（　　）N/㎡

14.ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ (16.13.2)(16.13.3)

ｾｸｼｮﾝ材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※ｽﾀｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型 ・ﾛｰﾙｯﾄﾞ形 ・ﾊﾞﾗﾝｽﾄ形 ・ﾊﾟｰﾁｪﾙﾀﾞ形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（SUS304）

耐風圧性能　（　　）N/㎡

安曇野市

工事名	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	年月日	R5/10/01
図面名称	特記仕様書（２）	図面番号	A-04

検 印 欄

16 建具工事

⑮ｶﾞﾗｽ

※建具表による (16.14.2)(16.14.5)

・ガラスブロック

表面形状	呼び寸法(mm)	色　調	防火性能
・正方形		※クリア　・熱線反射	※無し
・長方形		・乳白　・カラー（　　）	・有り

⑯ｶﾞﾗｽ留め材及び溝

ｶﾞﾗｽ留め材 (16.14.3)(表9.7.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	・シーリング材　○ｶﾞスケット
鋼製及び軽量鋼製	・シーリング材
ステンレス製	・シーリング材

ただし、防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)

・標仕16.13.3以外のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具及び板ｶﾞﾗｽの場合は（社）日本建築学会JASS17ｶﾞﾗｽ工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

17.ｶﾞﾗｽ用ﾌｨﾙﾑ

名　称	種　類	張り面	性　能　等
※ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１

品質　JIS A5759による

17 カーテンウォール工事

1.ﾒﾀﾙｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の種類 (17.2.2)

種　類	規　格　等
※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の方式

・方立方式

・ﾊﾟｯｸﾏﾘｵﾝ方式（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）

・ﾊﾟﾈﾙ方式

・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ方式

・小型ﾊﾟﾈﾙ組み合わせ方式（・ﾉｯｸﾀﾞｳﾝ方式　・ユニット方式）

ｼｰﾘﾝｸﾞ材及びｶﾞﾗｽ取付材料 (9.6.2)(17.2.2)(表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区別	耐久性による区別
金　属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない (17.2.2)

・適用する（施工箇所：　　）

断 熱 材　※適用しない (17.2.2)

・適用する（種類：　　厚さ(mm)：　　施工箇所　※図示）

製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)

・製造所標準製作規定寸法許容差による

ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)

種　別		色 彩 等
・Ａ－１種	・Ｂ－１種	無着色
・Ａ－２種	・Ｂ－２種	※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ　・
・着色塗膜	塗装材料（　　）	焼付け方法（　　）　ｺｰﾄ（　　）　ﾍﾞｰｸ

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること

・正圧（　　）N/㎡以上及び負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること

主要部材のたわみ

支点間距離（ｈ）	たわみ量	状　態
※４ｍ以下	※ ±（１／１５０）×ｈ かつ絶対量２０mm以下	※各部の破損、残留変形、有害な変形が起こらないこと
・４ｍを超える	・	

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・

垂直方向（KV）　※0.5　・

構 造 種 別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（１／１００）×ｈ以上 ・	※部材の脱落、ｶﾞﾗｽの破損及び主要部材に有害な歪が起こらない。 ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度。
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	※±（１／２００）×ｈ以上 ・	

水 密 性　・Ｗ－４　・Ｗ－５　・ (17.1.3)

気 密 性　・Ａ－３　・Ａ－４　・ (17.1.3)

耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）

映像調整　※行わない　・行う（建具表による）

製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2.ＰＣカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。

コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)

※標仕17.3.2による。

・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（FC）	所用スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)

下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付ボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・

シーリング材料 (9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

施　工　箇　所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

耐火目地材　・適用する　※図示

断 熱 材　※適用しない

・適用する（種類：　　厚さ(mm)：　　施工箇所：※図示）

製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による (17.3.3)(表17.3.1)

・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施　工　部　位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付ブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること

・正圧（　　）N/㎡以上及び負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・

垂直方向（KV）　※0.5　・

構 造 種 別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（１／１００）×ｈ以上 ・	※部材が損傷せず破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない。 シーリングは補修程度。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（１／２００）×ｈ以上 ・	

18 塗装工事

①材　料

・屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級 (18.1.3)

※規制対象外　・第三種

②塗装業者（保　証）

・ 日本塗装工業会の会員　○監督職員の承諾する業者

・塗装業者、請負者連名の保証書（３年）を提出すること。

③素地ごしらえ

木部の素地ごしらえ (18.2.2)(表18.2.1)

種別　（・Ａ種　○Ｂ種　）

鉄鋼面の素地ごしらえ (18.2.3)(表18.2.2)

種別　（・Ａ種　・Ｂ種　○Ｃ種　）

亜鉛メッキ鋼面の素地こしらえ (18.2.4)(表18.2.3)

種　別	施 工 部 位 別 及 び 塗 料 種 別
・Ａ 種	鋼製建具及び、２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗りの場合
・Ｂ 種	Ａ種、Ｃ種以外
・Ｃ 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ (18.2.5)(表18.2.4)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

コンクリート面及びＡＬＣパネル面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.5)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

2-UE、2-ASE、2-FUEの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.6)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ (18.2.7)(表18.2.7)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

4.錆止め塗料塗り

鉄鋼面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1)(表18.3.3)

種 別　屋 外（※Ａ種 JIS Ｋ5674　）　屋 内（※Ｂ種 JIS Ｋ5674　・Ａ種　）

仕上種別　見掛り部 ※ Ａ種　・見隠れ部（※Ｂ種　・　）

亜鉛メッキ面 (18.3.2)(18.3.2)(表18.3.2)(表18.3.4)

種 別　鋼製建具　※Ａ種　その他　※Ｂ種

19 内装工事

①接 着 剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級

※規制対象外　・第三種 (19.2.2)(19.3.3)(19.8.2)

※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

②ビニル床シート張り

※図示 (19.2.2)

種　類	記　号	色　柄	厚さ (mm)
・発泡層のないもの	・ＮＣ　・	・無地　・マーブル柄	・2.5　・2.0
・発泡層のあるもの		・柄物　・無地	・≒2.8

工法　・熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　） (19.2.3)

3.ビニル床タイル張り (19.2.2)

種　類	記　号	厚さ (mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＣＴ	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟　質）	ＣＴＳ		
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ		

4.帯電防止床ﾀｲﾙ張り (19.2.2)

種　類	厚さ(mm)	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2.0　・	体積抵抗値（JIS K6911による）1.0×109Ω
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	以下、又は漏えい抵抗値（JIS A1454による）
・	・	1.0×1010Ω未満

5.ﾋﾞﾆﾙ幅木

高さ（mm）　・60　・75　・100　・330（階段ささら） (19.2.2)

6.ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)

・織じゅうたん

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	備考
・Ａ種	・カットパイル	人体帯電圧	※単一色（無地）	
・Ｂ種	・ループパイル	※3kV以下	・柄物（標準品）	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	・	

・タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※4～6　・	・グリッパー工法	※3kV以下
・カット、ループ併用	・		・

・タイルカーペット (19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	種類	種類	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
・カットパイル	第二種	・		
・カット、ループ併用				

帯電性　・人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ敷設範囲）

7.合成樹脂塗床 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～表19.4.7)

種　別	仕 上 げ の 種 類	総塗布量
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ	0.5kg/㎡
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ	
・水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗り床材	※防塵仕上げ　・	0.25kg/㎡

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

8.ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り

※図示 (19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

種　別	樹　種	工　法	仕上塗料
・天然木化粧複合フローリング	・なら　・ひのき	・釘どめ工法（Ｃ種）	・有
・単層フローリング	・		・無

ホルムアルデヒト放散量の等級　※規制対象外　・第三種

9.畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)

下地の種類	畳の種別	備　考
標仕表12.5.1による床組	※Ｂ種　・	
ポリスチレンフォーム床下地	※Ｃ種　・	

畳表及び畳床は揮発生有機化合物含有量が少ないものとする。

10.ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの

畳下地　厚さ(mm)　※４０　・６５　・８０　（不燃）

フローリング類　厚さ(mm)　※８０　・９５　（不燃）

⑪せっこうボードその他ボード張り (19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板	NF	・15　・20　・25　・
○けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）（・６　・８　・　）
・ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・　）
・ロックウール化粧吸音板（外部用）	DR	※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・　）
○せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃）　・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
○シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
○化粧せっこうボード	GB-D	9.5（※準不燃　・不燃）
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃）　幅440程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材付き
・普通合板（難燃処理）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
○メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2
・ﾃﾞｨｱﾙﾀﾞｳﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・素地MDF(RS)　・化粧MDF(・DV　・DO　・PC) ・3　・7　・9　・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18
・ハードボード（素地）	HB	・素地　・RN-HB　・RS-HB ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	IB	・T-IB　・A-IB　・S-IB ・9　・12　・15　・18

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級

※規制対象外　・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)(表9.6.1)

※適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）

・適用しない

12.吸音材 (表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚 さ （mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25　・
※グラスウール吸音ボード３２Ｋ	GW-B	※25　・

13.壁紙張り (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質		
図示						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	
						※不燃　・準不燃　・難燃	

素地こしらえ (表18.2.4)(表18.2.7)

モルタル面、プラスター面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

せっこうボート面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

壁紙のホルムアルデヒド放散量の等級 (19.8.2)

※規制対象外　・第三種

14.断熱材 (19.9.2)(19.9.3)

種　類		施 工 箇 所	厚さ(mm)	品 質 等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※ｂ種３	※一般部 土間床下面	※65 ・50	※ノンフロンのもの ※熱伝導率0.034W/(m・K)以下
	・ｂ種３	・接地部分	・25	
・現場発泡断熱材（吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ）	※Ａ種１ ・	※断熱材補修部分		※ノンフロンのもの
		※一般部天井 ※外壁面	※140 ※75	※難燃性 ※熱伝導率0.034W/(m・K)以下
		製造所　評価名簿による		
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ系 ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗＝厚さ／熱伝導率＝0.676以上（㎡・K/W）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの。		

ﾛｯｸｳｰﾙ、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、ﾌｪﾉｰﾙﾎｰﾑ、ﾕﾘｱ樹脂又はﾒﾗﾐﾝ樹脂を使用した断熱材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量の等級

※規制対象外　・第三種

15.浴室天井

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は種付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

16.単板羽目板

材種　※信州産唐松（信州木材認証製品又は同等品）

・信州産杉　（信州木材認証製品又は同等品）

・

20 ユニット及びその他工事

1.フリーアクセスフロア (20.2.2)

施 工 箇 所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
事務室	・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・100 ※50未満	・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3,000N ・5,000N	・帯電防止ビニル床タイル ・タイルカーペット
開架書架	・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・100 ※50未満	・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3,000N ・5,000N	・帯電防止ビニル床タイル ・タイルカーペット
	・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・ ※50未満	・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3,000N ・5,000N	・帯電防止ビニル床タイル ・タイルカーペット

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による

スロープ及びボーダー　※ 製造所の標準仕様　・図示

コンセント等の取付け対応　※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）

コンセントの箇所数は図示

配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：ﾊﾟﾈﾙ１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%　・

空調用吹き出しパネル　※ 無し

・ 有り　（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2.可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種厚さ（mm）	仕　上　げ	遮音性能	防火性能
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板（※0.6　・0.8）	※ﾒﾗﾐﾝ樹脂又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付	・あり （　） ・なし	・あり ・なし

3.移動式間仕切 (20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ	図示	※ 鋼 板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36dB以上）	図示	※ 鋼 板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による

遮音性能はJIS6512の遮音試験に準拠する

4.トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き） (20.2.5)

・ポリエステル樹脂系化粧板

足形状　・腰木型　・足金物型

5.階段滑止め

材種　ステンレスＳＵＳ３０４ (20.2.6)

形状　ビニルタイヤ入り

両端フラットエンド　・無　※有（・ステンレスＳＵＳ３０４　※ビニル製）

幅（mm）　約３５

取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法

6.階段手すり

※無硫材クリアラッカー仕上げ（市販品　径約45mm）

・ビニル製ハンドレール（幅約50mm）

7.黒板及びホワイトボード (20.2.8)

	種　類	寸法（mm）	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
			※緑　・黒	
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
			※白	

8.鏡

寸法(mm)　・図示 (20.2.9)

厚さ(mm)　※5

9.表示

衝突防止表示　※ 図示（・市販品　・ステンレス製　径約　mm　・ サイン工事） (20.2.10)

（・両面　・片面）

・ 無し

表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210　による

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

安曇野市

工事名	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	年月日 R5/10/01
図面名称	特記仕様書（３）	図面番号 A-05

検 印 欄

20 ユニット及びその他工事

10. 煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ
・煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材 (20.2.11)
最高使用温度 ・400℃ ・650℃
・ｷｬｽﾀﾞﾌﾞ耐火材
工法 ※こて押さえ (20.2.11)
最高使用温度 ※400℃

11. ブラインド (20.2.12)

形式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
・横型	・ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製 ・	・25
・縦型	・１本操作コード ・２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12. ロールスクリーン 防炎性能 ※有り ・無し (20.2.13)

操作方式	幅(mm)	高さ(mm)	材種	品質	備考
図示	図示	図示	図示	図示	

13. カーテン (20.2.14)

施工箇所	形式		装置			ひだの種類	性能	備考
	片引	引分	電動	紐引	手引			
図示								

14. カーテンレール 材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 (20.2.14)
形式 ・片引き ⊙引分け（※緞幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス
・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
清幅×深さ（mm） ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・
色彩 ※Ｂ－１ ・Ｂ－２（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

16. 耐震スリット

方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目 地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材 目地寸法（mm）	シーリング材（見え掛かりのみ） ※２０×１０ ・	シーリング材（内外とも） ※２０×１０ ・

17. 止水板 形状 ・差込式 ・掘置式 ・壁張り式
寸法

⑱天井点検口 ⊙図示 ・材質 アルミニウム製（・額縁タイプ ・目地タイプ）

19. 床点検口 ・図示 ・断熱仕様 ・材質 アルミニウム製 受け枠（・アルミ製 ・ステンレス製）

20. 鋼製書架及び物品棚

種 類	規 格 等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JISS 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種 ・

21. 鍵箱 市販品
形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

㉒靴ふきマット ⊙図示 ・市販品
材質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）

23. 流し台ユニット

種 類	寸法（L＝mm）	適 用 内 容	規格・品質等
・図示			
			⊙図示

24. 屋内掲示板 枠の材質 ※アルミニウム製 ・
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

25. 洗面カウンター 材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材） ・人工大理石（品質 ※図示）
奥行き（mm） ・約450 ・約600 ・ 図示

26. 防煙垂れ壁 ・固定式

材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種 類	材 質	高さ(mm)	備 考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27. 誘導用及び注意喚起用床材 ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋内 ※塩化ビニル製（ＳＵＳ鋲打）・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）
・レジンコンクリート製
屋外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ） ・ ＳＵＳ鋲打

28. 旗竿 材 質 ※アルミニウム合金製
形 式 ※テーパー型 ・同一断面型
地上高さ（m） ・6 ・8 ・10 ・12
操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式
固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

29. 旗竿受金物 材種 ステンレス製SUS304

30. フェンス ※ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス

31. 屋外掲示板 ・図示
照明器具 ・ 有り ・ 無し
施 錠 ・ 有り ・ 無し

32. 車止め支柱 ステンレス製（上下式鎖内蔵型） 径114.3mm t＝2.5mm H＝GL＋700mm
※ スプリング付き ・ スプリング無し

33. 収納・収納家具 材 質 ※図示 ・
形状・寸法 ※図示
ホルムアルデヒド放出量の等級 ※規制対象外 ・第三種

34. エキスパンション・ジョイント金物 材質 ・アルミ ・ステンレス
クリアランス ・50 ・100 ・150 ・
耐火性能 ・有り（ ） ・無し
防水型 ※適用する ・適用しない

21 排水工事

1. 排水管 排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材 種	管の種類	管形状（接合方法）
・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管（・１種 ・２種）	Ｂ形（ゴム接合）
・硬質塩化ビニル管	・ＶＰ ・ＶＵ	
・ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管	・ＲＳ－ＶＵ ・ＲＳ－ＶＰ	

車道部の排水管の敷設 ・図示 (21.3.1)(21.3.3)
・砂基礎（地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

2. 排水桝及びふた 鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種 類	適用荷重	
・水封形	・密閉形（テーパー・パッキン式）	・T- 2用 ・T-6用
・簡易気密形（パッキン式）	・中蓋付密閉形	・T-14用 ・T-20用

グレーチングふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

3. 浸透管及び浸透桝 ・図示

4. その他の材料
・地業の材料 ※標仕4.6.2による (21.2.3)
・コンクリート発注強度 ※18N/mm2 ・ (21.2.3)
・鉄筋の種別 ※SD295A ・ (21.2.3)(表5.2.1)
・埋戻し土 ※B種 ・ (21.2.3)(表3.2.1)

22 舗装工事

1. 盛土に用いる材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)

2. 遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ (22.2.2)(22.2.3)
・凍上抑制層 ※再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・切り込み砂利 ・砂

3. 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg/m3（目標ＣＢＲ ※5以上 ・ ）

4. 路床土の支持力比試験 ※行う （※乱した土 ・乱さない土） (22.2.5)

5. 路床締固め度の試験 ※行う (22.2.5)

6. 砂の粒度試験 ※行う

7. 路盤材料 ※再生クラッシャラン（ＲＣ－４０） (22.3.3)
・クラッシャラン（Ｃ－４０）又はクラッシャランスラグ（ＣＳ－４０）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

8. 路盤の締固め度の試験 ※行う

9. アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層		カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し	・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し	・有り	

カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材（樹成） ・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（１３） ・細粒度アスファルト混合物（１３）	※密粒度アスファルト混合物（１３Ｆ） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（１３Ｆ）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（２０）	

シールコート ※行わない ・行う（施工範囲 ） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

10. コンクリート舗装 早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)
溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)
厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)

11. 透水性アスファルト舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)(22.6.6)

12. 排水性アスファルト舗装 アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2)
※改質アスファルトⅠ型 ・改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)

適用時期	種 類
下記以外	ＰＫＲ－Ｔ１
冬 期	ＰＫＲ－Ｔ２

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)

13. ブロック系舗装 ・コンクリート平板舗装（コンクリート平板は、JIS A5371の平板） (22.8.2)(22.8.3)

種 類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目 地 材
※普通平板（N） ・透水平板（P）	※300角	※ ６０	※砂 ・モルタル

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種 類	厚さ（mm）		色彩及び表面加工等
・普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部 歩道部	・８０ ・ ※６０ ・	・標準品 ・既設品保存 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック（V）	※８０	・１００	

インターロッキングブロック（JIS A 5371）

項 目		品 質 ・ 性 能		
材料	セメント	JIS R 5210 ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、JIS R 5211 高炉ｾﾒﾝﾄ、JIS R 5212 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ、JIS R 5213 ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ、白色ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。		
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適角な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、鉛長の石片を含んでいない。		
	混和材料	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質に有害な影響を及ぼさない。		
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。		
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。		
寸法許差（mm）		長 さ	幅	厚 さ
普通タイプ		±３	±３	±３
透水性タイプ		±３	±３	＋５～－１
植生用タイプ		±３	±３	±３
曲げ強度（N／m㎡）		普通タイプ	５．０以上	
		透水性タイプ	３．０以上	
		植生用タイプ	４．０以上	
透水係数（cm／sec）		透水性タイプ	１×１０-2 以上	
圧縮強度（N／m㎡）		普通タイプ	３２．０以上	
		透水性タイプ	１７．０以上	

・舗石舗装（石材は、JIS A 5003の2等品） (22.8.2)(22.8.3)

種 類	厚 さ（mm）	施工方法	基 層
※小舗石（花こう岩）	※８０～１００ ・	※うらこ張り	※ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

14. 路面標示用塗料 JIS K5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・１種	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して 5%以下
・２種	加熱					
※3種1号	溶融	粉体状				

23 植栽工事及び屋上緑化工事

1. 樹木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲
※行う ・行わない	※20 ・	※B種 ・	※植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高	有効土層の厚さ（cm）	工 法	整 備 範 囲
・12以上	※100 ・120 ・150	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種	・業張りの範囲 ただし、樹木は植栽範囲 ・図示
・7以上～12未満	※ 80 ・100		
・3以上～7未満	※ 60 ・80		
・3未満	※ 50		

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植え込み用土で盛土を行う。

2. 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客 土（※畑土 ・黒土） (23.3.2)

3. 土壌改良材 ※適用する (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
バーク堆肥
有機物の含有量（乾物）：70%以上
炭素窒素比（C/N比）：35以下 窒素全量（現物）：0.5%以上
陽イオン交換容量（乾物）：70meq/100g以上 リン酸全量（現物）：0.2%以上
pH：5.5～7.5 アルカリ全量（現物）：0.1%以上
水分：55～65%
幼植物試験の結果：生育阻害その他の異常を認めない

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
ヒ素：0.005%以下 炭素窒素比（C/N比）：20以下
カドミウム：0.0005%以下 pH：8.5以下
水銀：0.0002%以下 水分：50%以下
ニッケル：0.05%以下 窒素全量（現物）：0.8%以上
クロム：0.05%以下 リン酸全量（現物）：1.0%以上
鉛：0.01%以下 アルカリ全量（現物）：15%以下
有機物の含有量（乾物）：35%以上

4. 支柱材 ※杉、ひのき又はから松（皮はぎもの、間伐材） ※加圧式防腐処理 (23.3.2)
・真竹（良質な2年生以上）

5. 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)

6. 芝張り 種類 ※こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)
工法 ・目地張り ・べた張り

7. 枯補償等
新植樹木の枯補償の期間 ※１年 ・ (23.3.4)
移植樹木の枯損処理の期間 ※１年 ・ (23.3.6)
芝及び地被類の枯補償の期間 ※１年 ・ (23.4.7)(23.3.4)

8. 屋上緑化 植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示 ・管理型
保水・排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ） ・板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土
樹木の樹種、寸法、株立数、寸法等 ※図示 ・
透水層、保水層及び排水層等
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
工法 (23.5.4)
支柱 ・設置する （種類 ・図示 ・ ）
かん水装置 ・設置する （工事区分は図示による）

24 工事現場の環境改善・建設副産物及びISO14001関係

①工事現場の環境改善について
工事現場のイメージアップ
⊙仮囲い周辺の美化 ・

地域住民への情報提供
・完成予想図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成

地域住民とのコミュニケーション
・現場見学会の開催 ・

住民に対する災害防止関係
⊙現場出入口周辺への誘導員の配備（現場に大型車両が出入りする時、及び危険な作業をする時等）

②産業廃棄物の取扱いについて
(1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。
(2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
(3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。
(4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。
（ B2票及びD票はﾏﾆﾌｪｽﾄ交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期内に提出できない場合は、監督員と協議すること。）

③再生資源利用促進計画書等について
「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。
また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。

対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が１千万円以上の工事

④ＩＳＯ 14001関係
(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。
(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
(4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。
「参考資料」： 平成12年３月24日付、建設省技調発第49号、同営建発第10号（改正平成13年4月20日）
「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」
(5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

⑤過積載の禁止
資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

25 その他

①保険等
(1)本建築引渡しまで請負者は工事目的物、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。
(2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

②その他
(1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
(2) 工事請負額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。
（ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。）
登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。
なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
① 工事受注時 契約締結後１０日以内
② 登録内容の変更時 変更契約締結後１０日以内
③ 工事完成時 工事完成後１０日以内
（ 連絡先：（財）日本建設情報総合センター ℡03-3505-2973 ）
(3)下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。
(4)現場施工体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。
また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
※施工体制台帳に記載すべき内容
・建設業法施行規則 第１４条の２第１項に掲げる事項
・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名
(5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。
・交通整理員、ガードマン
・産業廃棄物処理業者
・ダンプ運転（１人親方のダンプ運転手）
・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約
・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの
・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合
・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）
(6)本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。
(7)施工途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。
(8)本工事において構造強度上、又は機能上必要と想定されるものについては請負者の責により施工すること。
(9)当該工事における影響で既存建築物・附属施設・周辺道路等の構造物等に損傷を与えた場合は速やかに監理者と協議し復旧すること。復旧に伴う費用は請負者の負担とすること。
施工上生じる既存建築物・既存設備の移設、撤去、復旧における費用は請負者の負担とすること。
(10)当該工事場所への進入路へは大型機械の搬入が困難のため、機械選定に留意すること。
また、資機材の搬入について、仮設経路等の設置が必要な場合は請負者の負担において適切に設置すること。

3. 不具合の確認 工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で担当課長あて報告する。
（施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。）

安曇野市

工事名	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	年月日 R5/10/01
図面名称	特記仕様書（４）	図面番号 A-06

検 印 欄

令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）解体工事特記仕様書

Ⅰ 解体工事概要

1.工事場所　　安曇野市　穂高柏原２７２８

2.敷地面積（㎡）　　29,730.00　㎡

3.除却対象物　⊙建築物　・工作物　・建築設備　・家具等　・樹木　・その他

除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
別紙図面記載による						

Ⅱ 解体工事仕様

1. 共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「標仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年度版)」(以下、「改修標仕」という。)による。

2. 特記仕様

（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の（．．）内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

①適用基準等

⊙工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙安曇野市建築工事の手引き　安曇野市企画財政部監修
⊙建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙建設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」という。)　平成14年5月30日改正
⊙建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編　令和元年9月2日国土交通省告示496号
⊙長野県建設リサイクル推進指針

2.電気保安技術者　※適用する　・適用しない　(1.3.3)

3.施工条件明示項目　・　(1.3.5)

4.引渡しを要するもの　※引渡しを要するもの　(1.3.10)

名称	仕様等	備考

・現場説明書による

5.解体工事施工技士　本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。

2 仮設工事

①騒音・粉塵等の対策　・防音パネル　・防音シート　・　(2.2.1)
設置範囲及び高さ
※図示　・
散水方法　高圧ポンプ等（散水員1名以上常駐）

②監督員事務所　※設ける（建築工事と共用とする）　・設けない　(2.3.1)
規模　・10㎡程度　⊙20㎡程度　・（　）㎡程度

③工事用水　構内既存の施設　⊙利用できる（⊙有償　・無償）　・利用できない

④工事用電力　構内既存の施設　⊙利用できる　⊙有償　・無償）　・利用できない

3 解体施工

1.杭の解体　・行う　・行わない　(3.8.2)
杭の解体工法
・引抜き工法　・破砕による解体

2.樹木等　樹木の伐採抜根及び移植　(3.9.1)
・行う（・図示　・　）　・行わない

3.地下埋設物・埋設配管　地下埋設物及び埋設配管の解体　(3.10.1)
・行う（・図示　・　）　・行わない

④設備機器等
解体事前処理（油類タンク）
⊙図示による
⊙解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流出させないように注意する。
・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。
解体事前処理（冷媒）
・図示による
・冷媒を屋外機にポンプダウンした後、撤去を行う機器

図面番号	品名

・冷媒を回収した後、撤去を行う機器

図面番号	品名

5.屋外設備等
電柱、コンクリート引込柱の撤去　・行う（・図示　・　）　・行わない
外灯の撤去　・行う（・図示　・　）　・行わない
屋外テレビアンテナ　・行う（・図示　・　）　・行わない

6.解体後の整地
解体後の埋戻し及び盛土　(3.11.1)
・行う
整地高さ
・現状GL　・行う（・図示　・　）
埋戻し及び盛土の材料
・山砂の類　・他現場の建設発生土の中の良質土　・再生コンクリート砂
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。
・行わない

⑦機械設備及び電気設備の切替・遮断等
機械設備（給排水管設備、消化設備、ガス設備等）及び電気設備（構内配電線等）の切替・遮断等の工事を行う者
※請負者が同工事の許可業者でない場合は、同工事の許可を取得している者に委託する。
（長野県建設工事入札参加資格者のうちから監督職員と協議して委託する）

4 建設廃棄物の処理

①再資源化等　(4.4.1)

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設等
⊙コンクリート	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄からなる建設資材（ＰＣ板、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板、ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品）	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙木材	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙木材（縮減）	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
・アスファルトコンクリート	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙金属類	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙小形二次電池	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙蛍光ランプ、ＨＩＤランプ	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による
⊙硬質塩化ビニル管、継手	※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

2.現場利用する再資源化された建設廃棄物　(4.4.1)

名称	仕様	数量	備考

3.産業廃棄物広域認定制度の活用　(4.4.2)

種類	所在地
	・図示　・現場説明書による
	・図示　・現場説明書による

4.最終処分する建設廃棄物　(4.4.4)

名称	最終処分場の種類	数量	備考
・廃石膏ボード（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有のものを含む）	※管理型　・		
・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板	※安定型　・管理型		
・煙突			

最終処分施設
※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

5.処理に注意を要する建設廃棄物　(4.5.1)

名称	仕様	数量	備考
・特定廃石膏ボード			
・CCA処理木材			

最終処分施設
※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

「特定廃石膏ボード」とは、次の工場で製造された石膏ボード製品が廃棄物となったもの。
①ひ素混入石膏ボード
商品名：タイガーボード
工場名：小名浜吉野石膏㈱いわき工場　裏面表示マークは「吉野石膏OY」
製造期間：昭和48年3月～平成9年4月
JIS許可番号：277057、277058
ロット番号：0373○○○○○○○○○～0497○○○○○○○○○
②カドミウム混入石膏ボード
商品名：アドラせっこうボード
工場名：日東石膏ボード㈱八戸工場　裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」
製造期間：平成4年10月～平成9年4月
JIS許可番号：265023、265024
ロット番号：A4Y410～A9430

5 特別管理産業廃棄物等の処理

1.施工調査　(5.1.3)

分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考
・	・図示 ・　箇所		
・	・図示 ・　箇所		

PCB含有シーリング分析調査　(5.4.4)
・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定（電気技術規定JEAC1201-1991）」により行う。

焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱（平成13年4月25日付基安発第20号）」により行う。

2.特別管理産業廃棄物の処理　(5.4.1)

特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考
・廃石綿			
・廃油			
・廃酸			
・廃アルカリ			

処理施設
※監督員の承諾する施設　・図示　・現場説明書による

3.PCBを含む機器類　(5.4.3)
引渡しを要する機器類
・安定器（ＰＣＢ含有の場合）

4.PCB含有シーリング材　(5.4.4)
撤去方法
※「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による。
・
撤去範囲　※図示　・

5.特殊な建設副産物の改修及び処分　(5.5.1)

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称	保管場所の名称
・フロン		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
・ハロン		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
・イオン化式感知器		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
・六ふっ化硫黄（SF₆ ｶﾞｽ		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所
		※監督員の承諾する業者	※監督員の承諾する場所

6 アスベスト含有建材の除去等

①アスベスト含有分析調査
分析による確認　・下表による　・図示　⊙設計書記載　(6.1.3)

材料名	調査方法（1材料あたりの試料数）	分析を行う箇所	備考
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	
	※定性分析（※3　・　） ・定量分析（※3　・　）	※図示 ・仕上表による	

分析方法
JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
分析結果については、監督職員に提出すること。

2.アスベスト粉じん濃度測定　(6.1.4)
アスベスト粉じん濃度測定
測定場所　※図示
測定点　※図示

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

3.ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去（レベル1）　(6.3.2)
アスベスト含有吹付け材の除去方法
解体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。
除去物及び汚染物質等
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

4.ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去（レベル2）　(6.4.2)
アスベスト含有保温材等の除去方法
解体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。
除去物及び汚染物質等
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

⑤ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去（レベル3）　(6.5.2)
アスベスト含有成形板の除去方法
解体共仕6.5.2によるものとする。

7 その他

①工事現場の環境改善について
工事現場のイメージアップ
⊙仮囲い周辺の美化　・
地域住民への情報提供
・情報掲示板の設置　・パンフレットの作成　⊙周辺住民への概要説明等
住民に対する災害防止関係
⊙現場出入口周辺への誘導員の配備　・

②産業廃棄物の取扱いについて
⊙産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。
（ⅰ）搬出された産業廃棄物の処理状況記録
① 処理の全部又は一部を委託した場合
ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票（以下「ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ」という。)A票、B2票、D票及E票(建Ⅱの場合はB4票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表
イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真）
② 請負者が自ら処理した場合
ア ﾏﾆｭﾌｪｽﾄに準じた解体材の種類ごとの数量集計表
イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真）
③ 特別管理産業廃棄物の場合
①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。
（ⅱ）産業廃棄物の再資源化実施状況記録
再生資源利用促進実施書に記載する事項
発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等
（ⅲ）写真
① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真
② 仮設物、安全措置状況及び工程写真（除却作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影すること。）
③ 使用機械類
④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真
⑤ しゅん工時の全景写真（着手時と同一アングルとする。）
⑥ その他監督職員の指示による

③収集運搬車両
解体工事の施工に伴う解体材、土砂及び工事用資材等（以下「解体材等」という）を収集及び運搬する車両の使用に当たっては、交通事故及び交通災害の防止に努めるとともに次の事項を遵守する。
① 運搬を委託する場合は許可を得た車両を使用させ、許可証の写しを常備させる。
② 廃棄物の性状に応じ、飛散、流失しない適切な構造の運搬車両を使用する。
③ 積載重量制限を超えて解体材等を積み込まず、また積み込ませない。
④ さし枠装着車、不表示車等に解体材を積み込まず、また積み込ませない。
⑤ タイヤ又は車体に廃棄物を付着させたままの運搬をさせないよう、洗車、清掃を行う。
⑥ 運搬経路の選定として運行上の安全と街路周辺環境に配慮する。

4.騒音、振動調査
調査の有無　・無　・有
調査方法については設計図書による。

5.土壌調査
調査項目　・土壌調査　・土壌調査（含有量試験）　・ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出調査　・廃棄物含有調査
土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。
調査箇所については設計図書による。

⑥官公庁その他への届出手続等
(1)工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。
(2)前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。

⑦疑義に関する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。

8.文化財その他の埋蔵物
工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。

9.埋蔵文化財調査
「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当　・該当する　・該当しない
掘削作業時の教育委員会等の立会い　・有　・無
埋蔵文化財調査の時期　・解体工事終了後　・解体工事中

⑩工事実績情報（工事ｶﾙﾃ）の登録
工事請負額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。
(ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。)
登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。
なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
① 工事受注時　契約締結後１０日以内
② 登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内
③ 工事完成時　工事完成後１０日以内
（ 連絡先：（財）日本建設情報総合センター　℡03-3505-2973 ）

⑪保険等
工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

⑫その他
(1) 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
(2) 下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。
(3) 下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。
・交通整理員、ガードマン
・産業廃棄物処理業者
・ダンプ運転（１人親方のダンプ運転手）
・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約
・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの
・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合
・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）
(4) 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等県から調査依頼があった場合は、これに協力すること。
(5) 施行途中において、会計局検査課職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。
(6)当該解体工事における影響で、既存建築物、付属施設および周辺道路等の構造物に損傷を与えた場合は、監督員と協議し復旧すること。なお、復旧に伴う費用は請負者の負担とすること。
(7)工事場所周辺は第三者の通行も想定されるため、車輌の通行については細心の注意を図るとともに、必要に応じて関係者と協議すること。

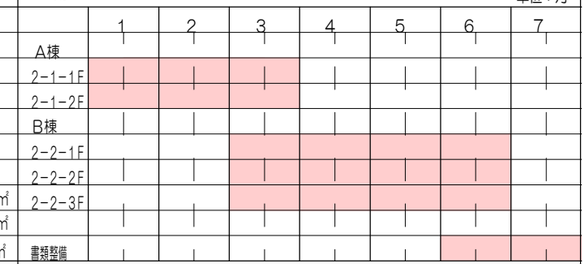
(10)作業時間については、以下とする。

※監督員・監理者と状況に応じた作業時間を確認・調整すること。

工事概要		特記事項
工事名称	令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	
工事場所	長野県安曇野市穂高柏原2728　　電話0263－82－8100	
主要用途	小学校	
工事種別・内容	改修（Ａ棟西１・２階、Ｂ棟西１・２・３階トイレ改修） 機器類・配管類全面改修　照明器具ＬＥＤ化人感等　それらに伴う建築改修工事	
敷地面積	約29，730㎡	
用途地域	都市計画区域（区域区分非設定） 安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域	
防火地域	指定なし	

全体面積				
敷地面積	29，730．00㎡		延べ床面積	建築面積
		校舎棟	6，220．04㎡	2，856．20㎡
建築面積	4，846．76㎡	体育館	700.00㎡	700.00㎡
建ぺい率	16．30％	講堂	1000.00㎡	1000.00㎡
		渡り廊下	0．00㎡	102．56㎡
延べ床面積	8，108．04㎡	自転車置場	22．40㎡	22．40㎡
容積率	27，27％	粘土窯	19．98㎡	19．98㎡
		プール管理	71．958㎡	71．958㎡
		プール機械	73．658㎡	73．658㎡
		合計	8，108．04㎡	4，846．76㎡

工　期　　単位：月

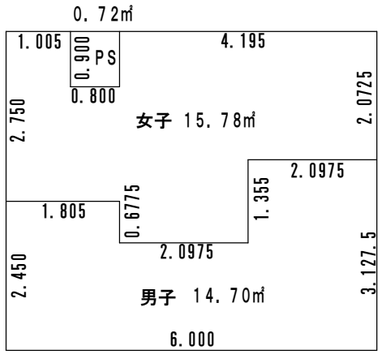


解体概要	外部解体		内部解体	
※想定外の解体物など出現した場合、必ず監督員協議のこと	―	―	①内部仕上げすべて撤去（石綿建材注意） ※一部プラスター、モルタル残し ②天井材撤去（下地共）処分 吊ﾎﾞﾙﾄ、再利用	③鋼製建具・木製建具すべて撤去 ④電気配管、器具、撤去処分 ⑤設備、器具、撤去処分

内部仕上表　現況・改修後　※既存基礎、コンクリートブロック壁、臥梁の一部以外は、原則解体撤去とし、適正処分のこと

室名	区分	床	下地	巾木	巾木高さ	壁	天井	天井高さ	廻縁	備考
共通 男子トイレ	現況	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　押へｺﾝｸﾘｰﾄ　均しﾓﾙﾀﾙ　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	モルタル			磁器室ﾀｲﾙ　(100*100) モルタルあるいは石膏ボード下地	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　VP塗装　※ケイカル：石綿建材レベル３ ＬＧＳ下地	ＣＨ= 2540	塩ビ	床モルタル部　※レベル３
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ　金ｺﾃ仕上げ　長尺ｼｰﾄt=2.5 小便器下　汚垂石	モルタル	長尺ｼｰﾄ巻き上げ金物押え	H100	外周部　ｶﾁｵﾝ処理、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布　不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用 一部LGS50下地　ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50　耐水石膏ﾎﾞｰﾄt=9.5 不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　EP-G塗装　目ｽｶﾝ張 ＬＧＳ下地　最上階　GW24K敷込	ＣＨ= 2490	塩ビ	入り口　壁付SUS製　ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ　250角　天井点検口　450角 荷掛けﾌｯｸ　新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
共通 女子トイレ	現況	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　押へｺﾝｸﾘｰﾄ　均しﾓﾙﾀﾙ　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	モルタル			磁器室ﾀｲﾙ　(100*100) モルタルあるいは石膏ボード下地	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　VP塗装　※ケイカル：石綿建材レベル３ ＬＧＳ下地	ＣＨ= 2540	塩ビ	床モルタル部　※レベル３
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ　金ｺﾃ仕上げ　長尺ｼｰﾄt=2.5	モルタル	長尺ｼｰﾄ巻き上げ金物押え	H100	外周部　ｶﾁｵﾝ処理、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布　不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用 一部LGS50下地　ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50　耐水石膏ﾎﾞｰﾄt=9.5 不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　EP-G塗装　目ｽｶﾝ張 ＬＧＳ下地　最上階　GW24K敷込	ＣＨ= 2490	塩ビ	入り口　壁付SUS製　ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ　250角　天井点検口　450角 荷掛けﾌｯｸ　新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ　床点検口600角　撤去交換、ﾓﾙﾀﾙ充填ﾀｲﾌﾟ
A棟 1階 多目的トイレ	現況	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　押へｺﾝｸﾘｰﾄ　均しﾓﾙﾀﾙ　長尺ｼｰﾄt=2.5	モルタル			磁器室ﾀｲﾙ　(100*100) モルタルあるいは石膏ボード下地	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　OP塗装　※ケイカル：石綿建材レベル３ ＬＧＳ下地	ＣＨ= 2400	塩ビ	床モルタル部　※レベル３
	改修後	既存のまま	モルタル	既存のまま		既存のまま	既存のまま 最上階　GW24K敷込	ＣＨ= 2400	塩ビ	入り口　壁付SUS製　ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ　250角 便座交換
A棟 1階 特殊教室トイレ	現況	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　押へｺﾝｸﾘｰﾄ　均しﾓﾙﾀﾙ　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	モルタル			磁器室ﾀｲﾙ　(100*100) モルタルあるいは石膏ボード下地	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　VP塗装　※ケイカル：石綿建材レベル３ ＬＧＳ下地	ＣＨ= 2540	塩ビ	床モルタル部・土間部　すべて解体のこと
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ　金ｺﾃ仕上げ　長尺ｼｰﾄt=2.5	モルタル	長尺ｼｰﾄ巻き上げ金物押え	H100	外周部　ｶﾁｵﾝ処理、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布　不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用 一部LGS50下地　ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50　耐水石膏ﾎﾞｰﾄt=9.5 不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　EP-G塗装　目ｽｶﾝ張 ＬＧＳ下地　最上階　GW24K敷込	ＣＨ= 2490	塩ビ	入り口　壁付SUS製　ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ　250角　天井点検口　450角 荷掛けﾌｯｸ　新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ　ｽﾗﾌﾞt120　鉄筋D10@200
B棟 3階 みんなのトイレ	現況	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　押へｺﾝｸﾘｰﾄ　均しﾓﾙﾀﾙ　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	モルタル			磁器室ﾀｲﾙ　(100*100) モルタルあるいは石膏ボード下地	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　VP塗装　※ケイカル：石綿建材レベル３ ＬＧＳ下地	ＣＨ= 2540	塩ビ	床モルタル部　※レベル３
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ　金ｺﾃ仕上げ　長尺ｼｰﾄt=2.5	モルタル	長尺ｼｰﾄ巻き上げ金物押え	H100	外周部　ｶﾁｵﾝ処理、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布　不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用 一部LGS50下地　ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50　耐水石膏ﾎﾞｰﾄt=9.5 不燃化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ使用	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　EP-G塗装　目ｽｶﾝ張 ＬＧＳ下地　最上階　GW24K敷込	ＣＨ= 2490	塩ビ	入り口　壁付SUS製　ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ　250角　天井点検口　450角 荷掛けﾌｯｸ　新規ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ

Ａ棟　２－１－１Ｆ　２－１－２Ｆ



男子

2．45　×1．805=	4．42255
1．77725　×2．0975=	3．71781875
3．1275　×2．0975=	6．55993125
Σ =	14．7003
	14．70

女子

2．75　×1．005=	2．76375
1．85　×0．80=	1．480
3．4275　×2．0975=	7．18918125
2．0725　×2．0975=	4．34706875
Σ =	15．7800
	15．78 ㎡

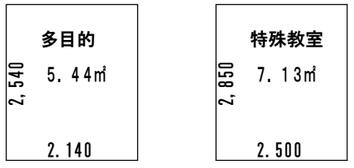
ＰＳ

0．90　×0．80=	0．7200
Σ =	0．7200
	0．72　㎡

Ａ棟

２－１－１Ｆ　多目的

２－１－１Ｆ　特殊教室



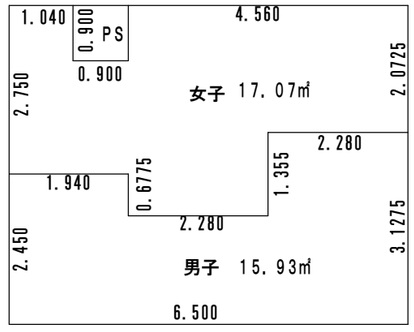
多目的

2．54　×2．14=	5．4356
Σ =	5．4356
	5．44 ㎡

多目的

2．85　×2．50=	7．125
Σ =	7．125
	7．13 ㎡

Ｂ棟　２－２－１Ｆ　２－２－２Ｆ　２－２－３Ｆ



男子

2．45　×1．94=	4．753
1．7725　×2．280=	4．0413
3．1275　×2．280=	7．1307
Σ =	15．925
	15．93 ㎡

女子

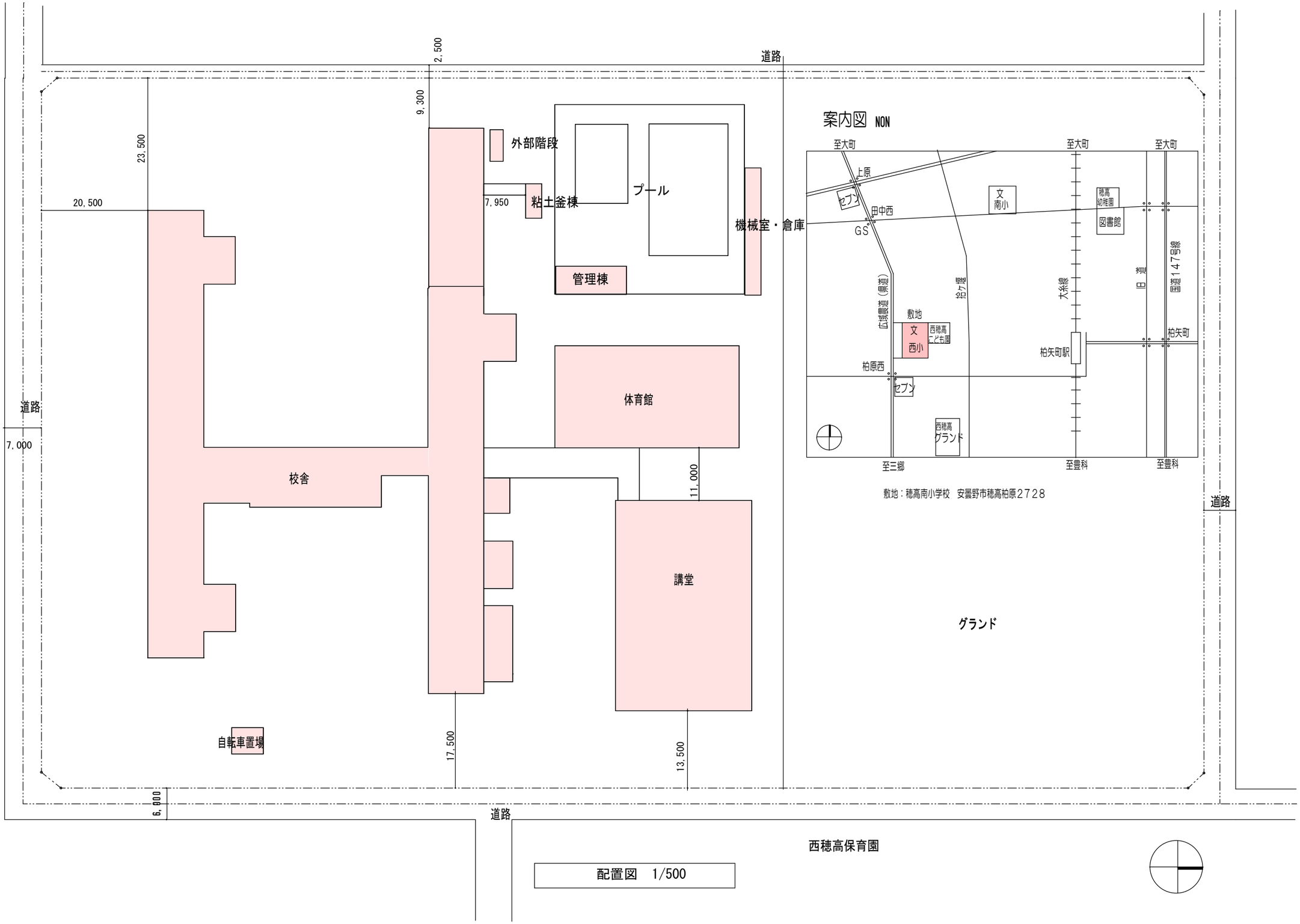
2．75　×1．04=	2．860
1．85　×0．90=	1．665
3．4275　×2．280=	7．8147
2．0725　×2．280=	4．7253
Σ =	17．065
	17．07 ㎡

ＰＳ

0．90　×0．90=	0．81
Σ =	0．81
	0．81 ㎡

※２－２－３Ｆみんなのトイレ（面積：男子＋女子）

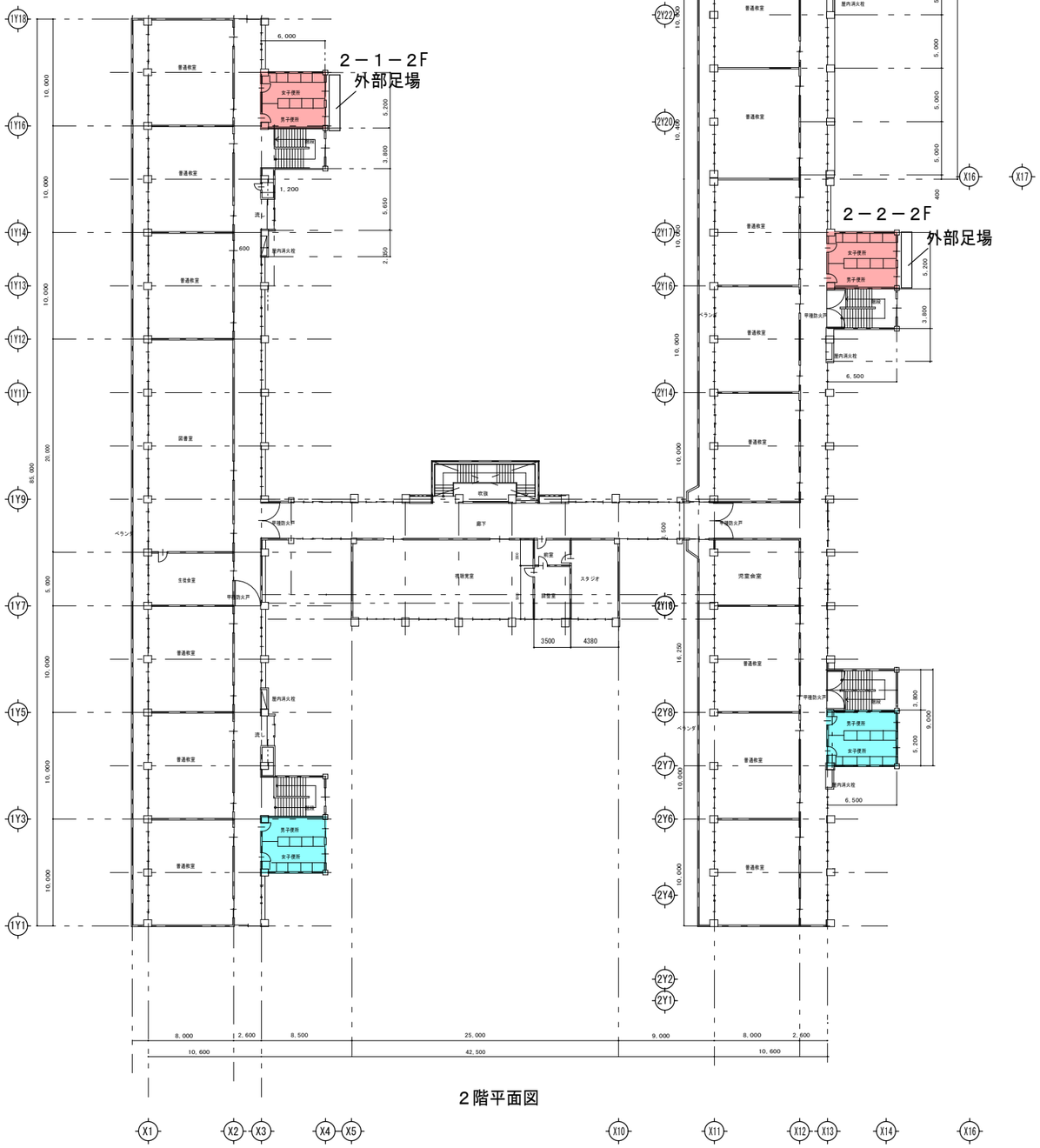
DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R05.10.01		令和６年度　（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	工事概要・求積図・仕上表 SCALE	Ａ－０８



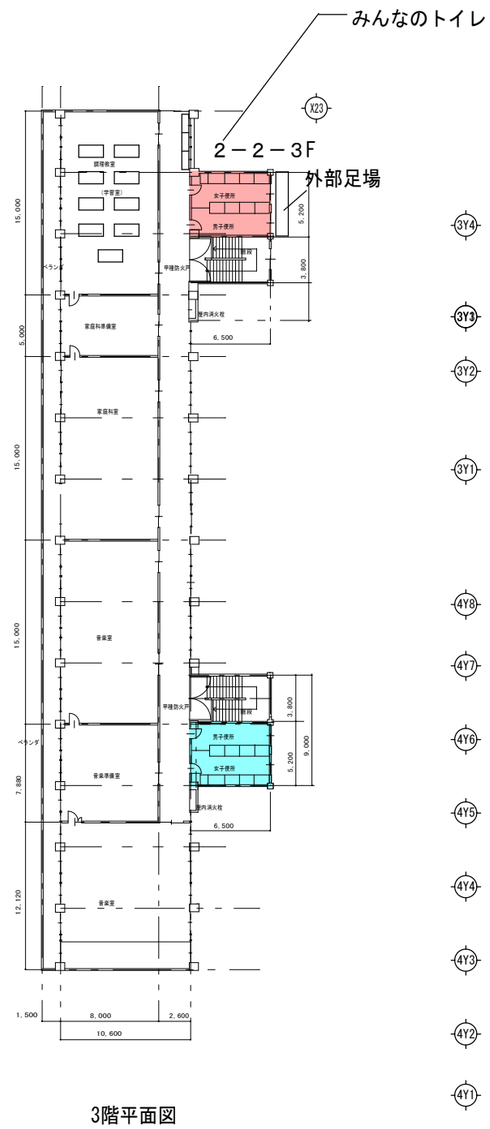
			DRAW / CHECK / DATE R05.10.01	CONSTRUCTION NAME 令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	MAP NAME 配 置 図・案 内 図 / SCALE S=1/500	MAP NO. Ａ－０９

1階平面図

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R06.01.06		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	全体平面図・仮設計画図　1階 SCALE S=1/200	A－10



2階平面図



3階平面図

凡　例

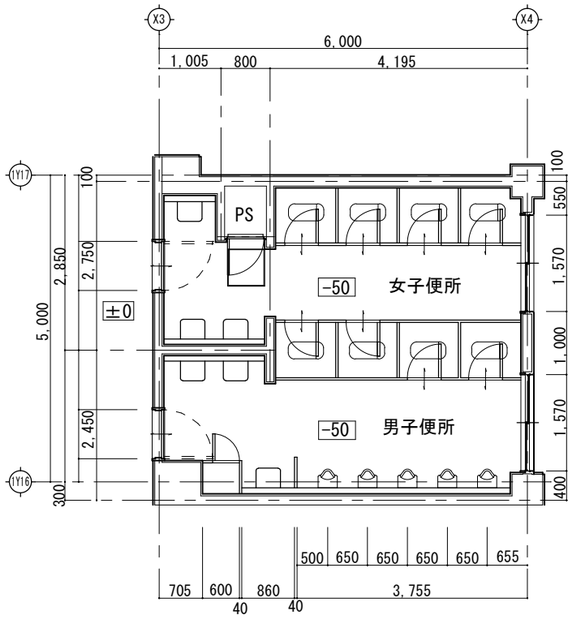
工事対象トイレ等

改修済トイレ等

仮設トイレ等

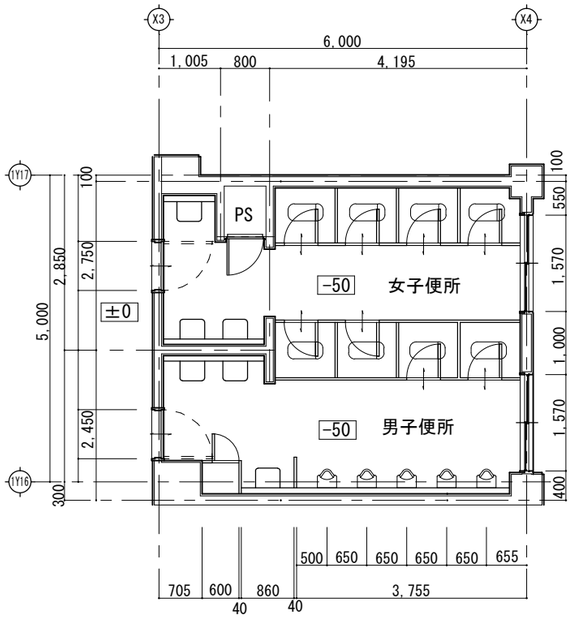
		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 全体平面図・仮設計画図　２，３階	MAP NO. Ａ－１１
		DATE R06.01.06			SCALE S=1/200	

2－1－1F



既　存

2－1－2F



既　存

2－1－1F　多目的

内部解体概要

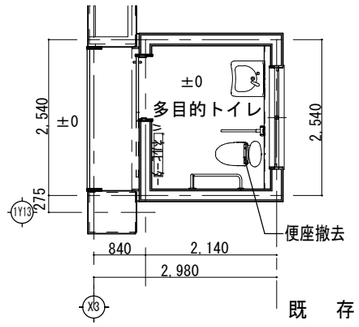
①内部仕上げすべて撤去（石綿建材注意）
※一部プラスター、モルタル残し
ﾀｲﾙ残し

②天井材撤去（下地共）処分
吊ﾎﾞﾙﾄ、再利用

③鋼製建具・木製建具すべて撤去

④電気配管、器具、撤去処分

⑤設備、器具、撤去処分



既　存

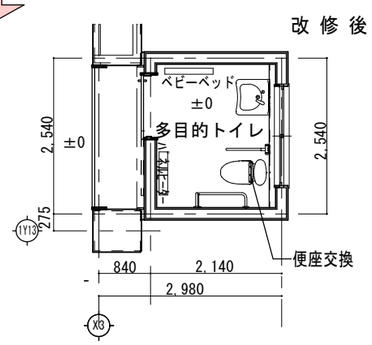
2－1－1F　多目的

改 修 後

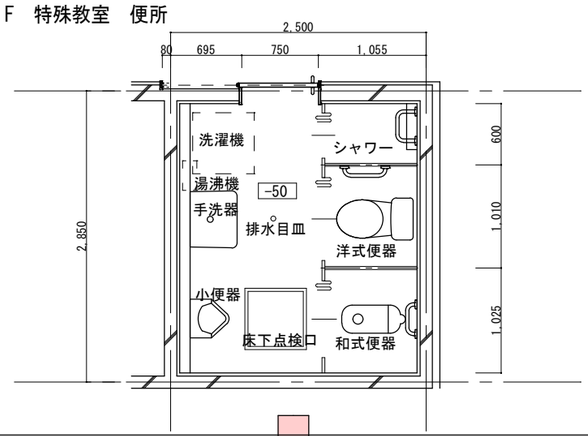
RC壁の面はｶﾁｵﾝ下地処理後、ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布、ｾﾗｰﾙ直張

旧便器の穴は防水処理をする

ベビーベッド：LAMP KV - TL200同等



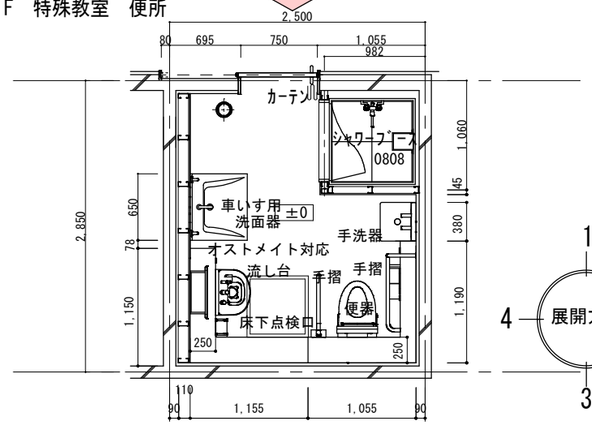
2－1－1F　特殊教室　便所

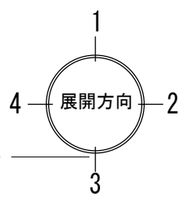


既　存

2－1－1F　特殊教室　便所

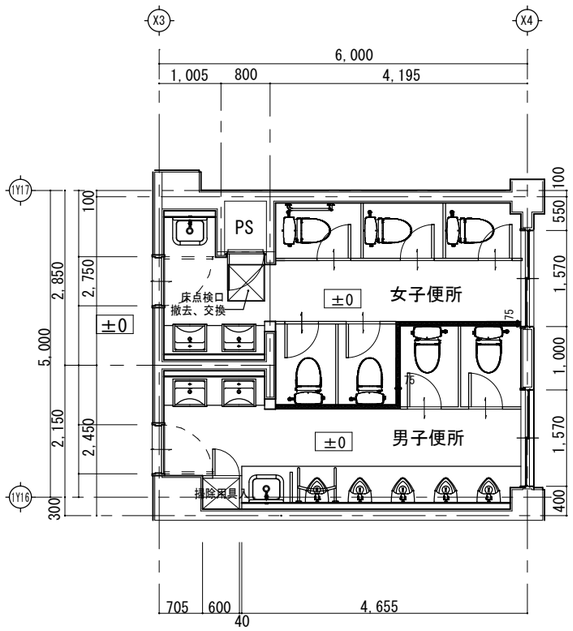
改 修 後





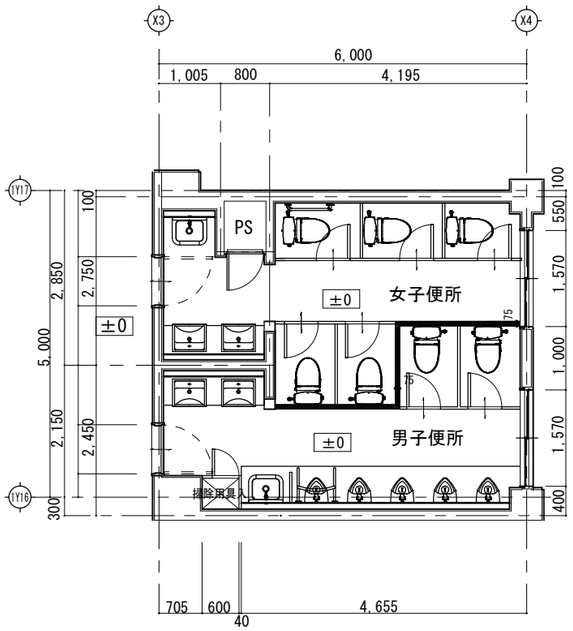
2－1－1F

改 修 後



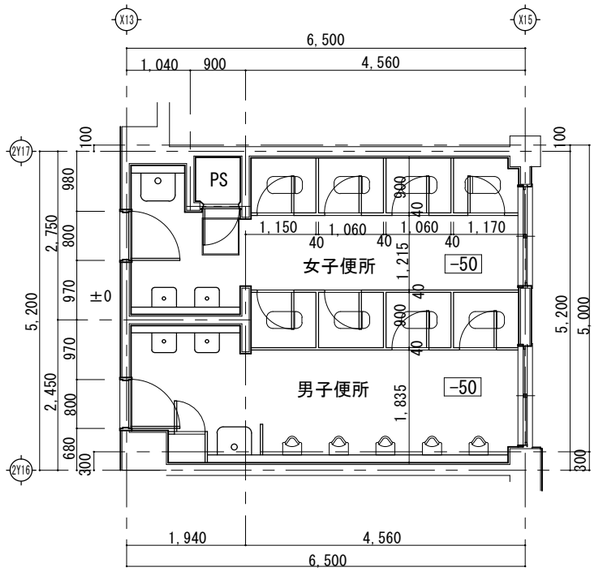
2－1－2F

改 修 後



			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 平面詳細図１	MAP NO. A－１２
			DATE R06.01.06			SCALE S=1/100	

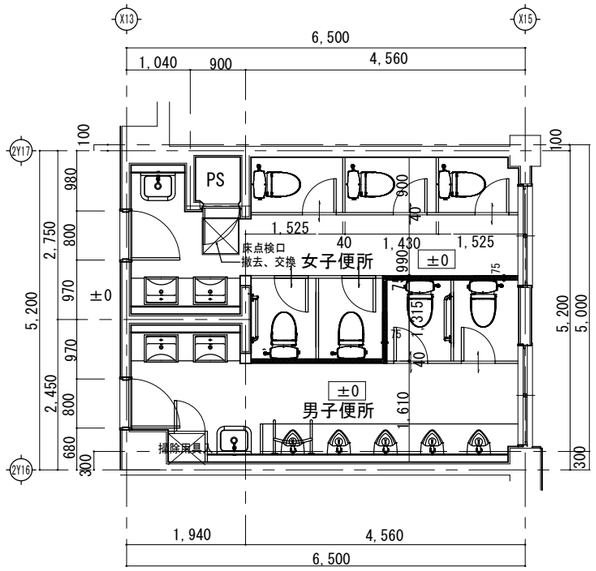
2－2－1F



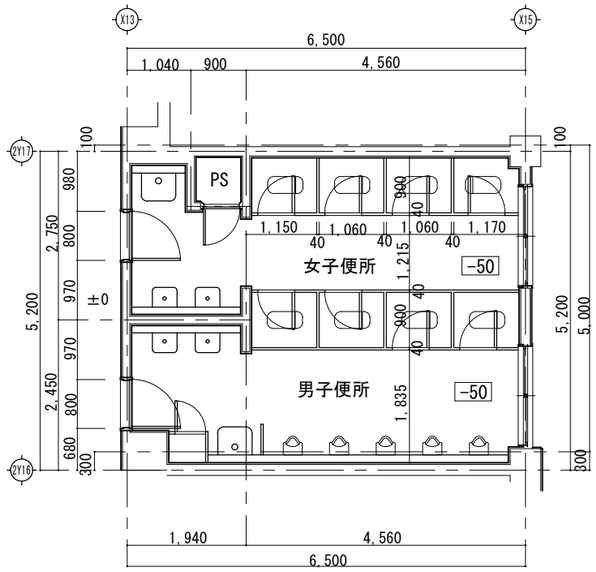
既　存

2－2－1F

改修後



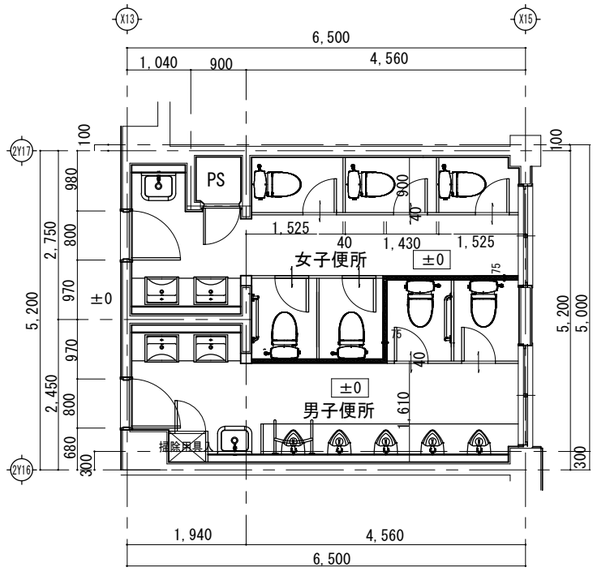
2－2－2F



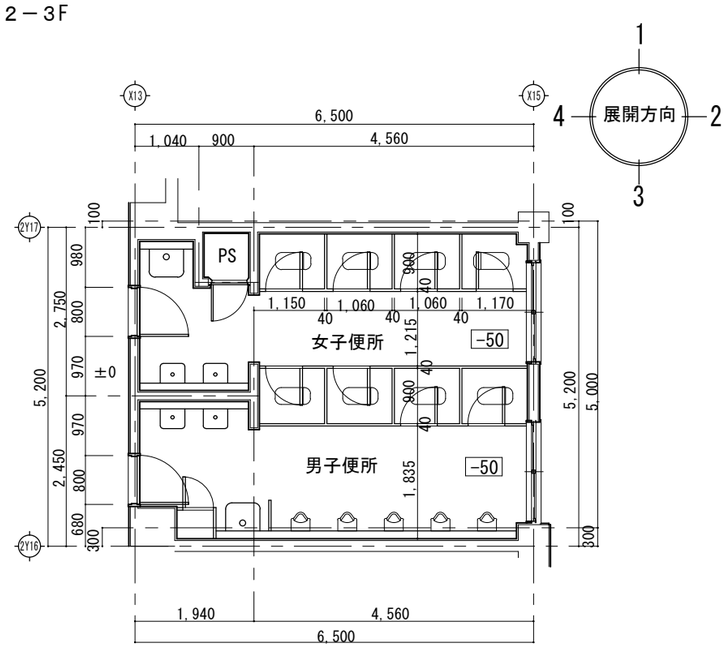
既　存

2－2－2F

改修後



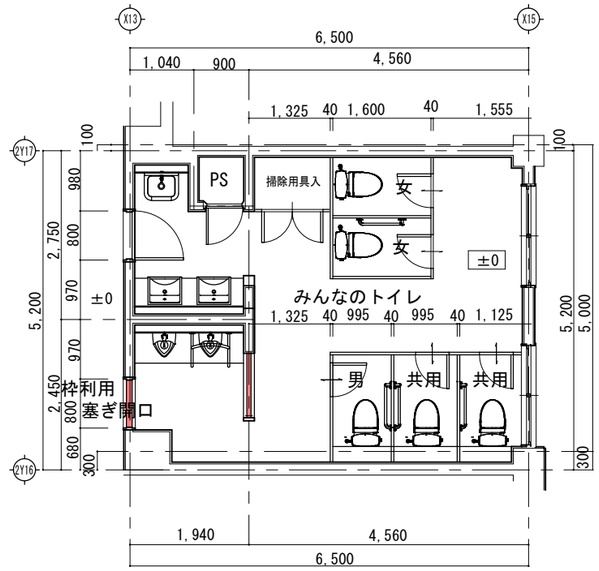
2－2－3F



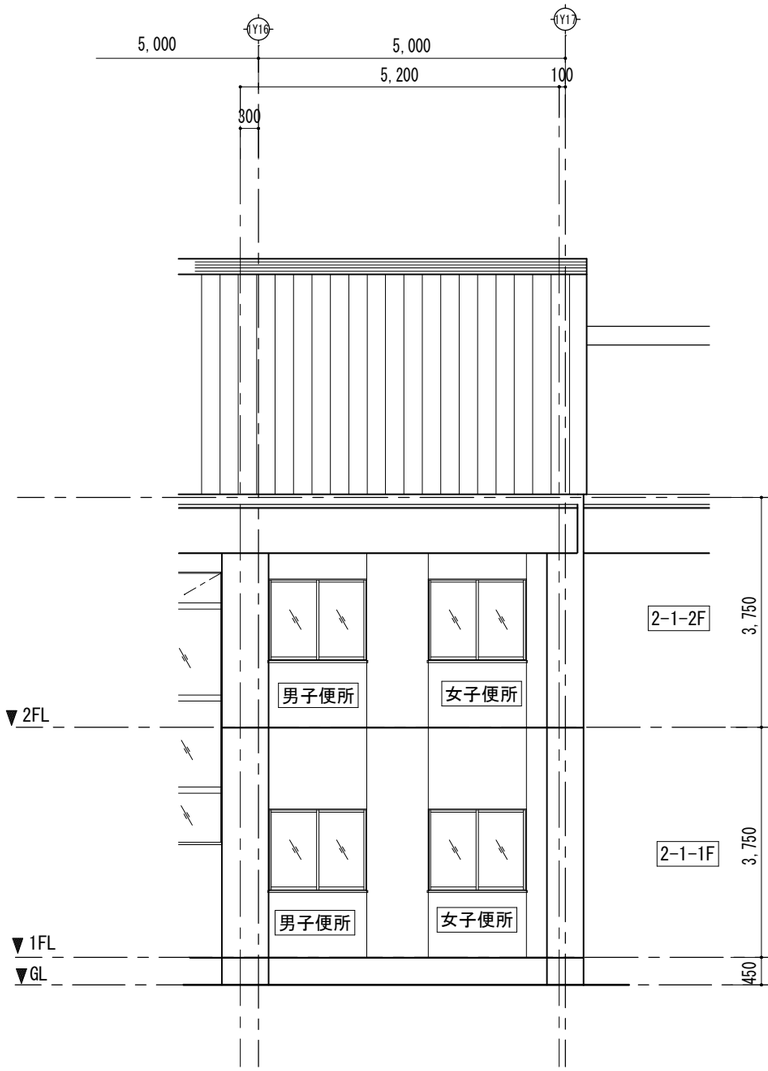
既　存

2－2－3F

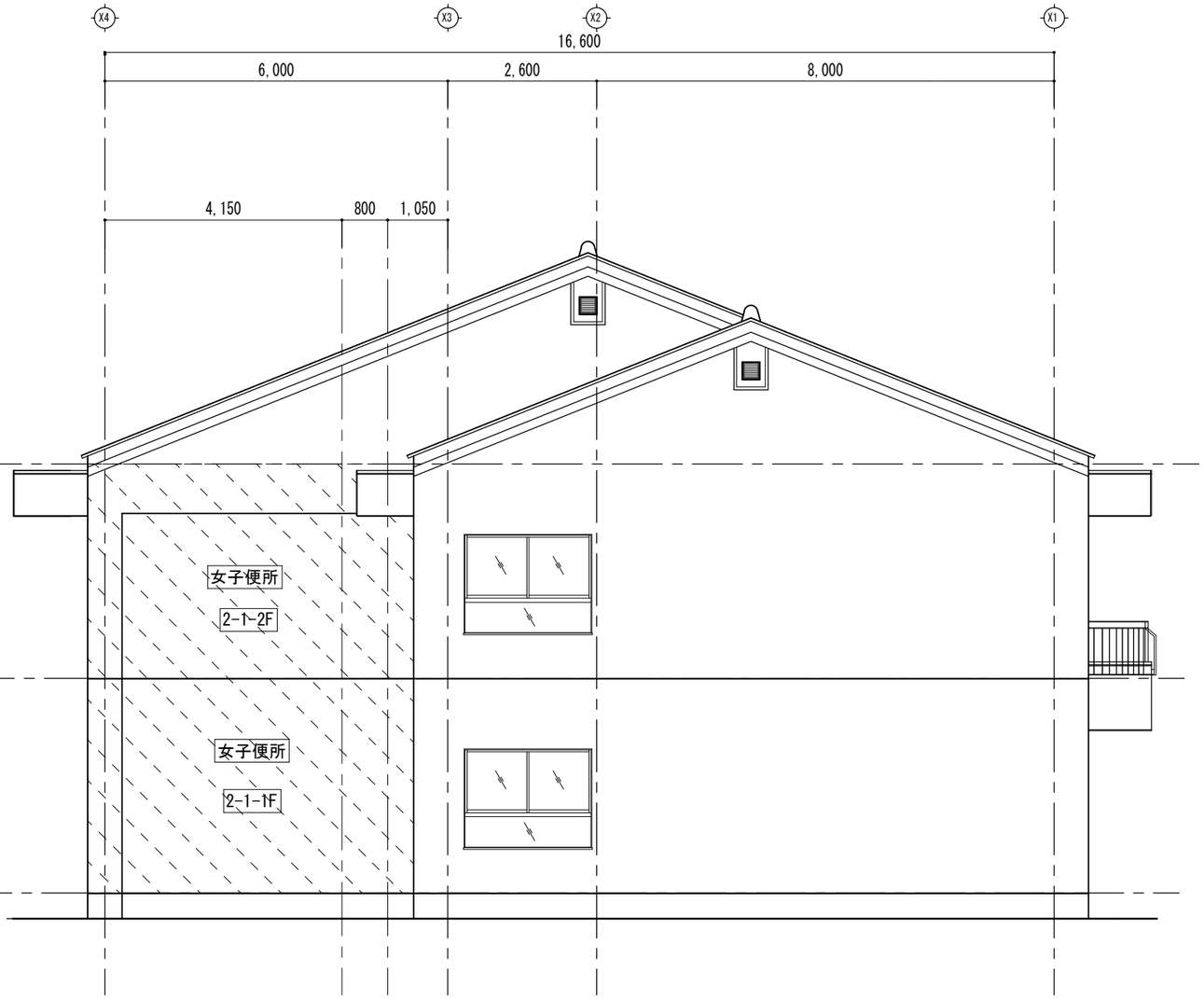
改修後



DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R06.01.06		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	平面詳細図２ SCALE S=1/100	A－13



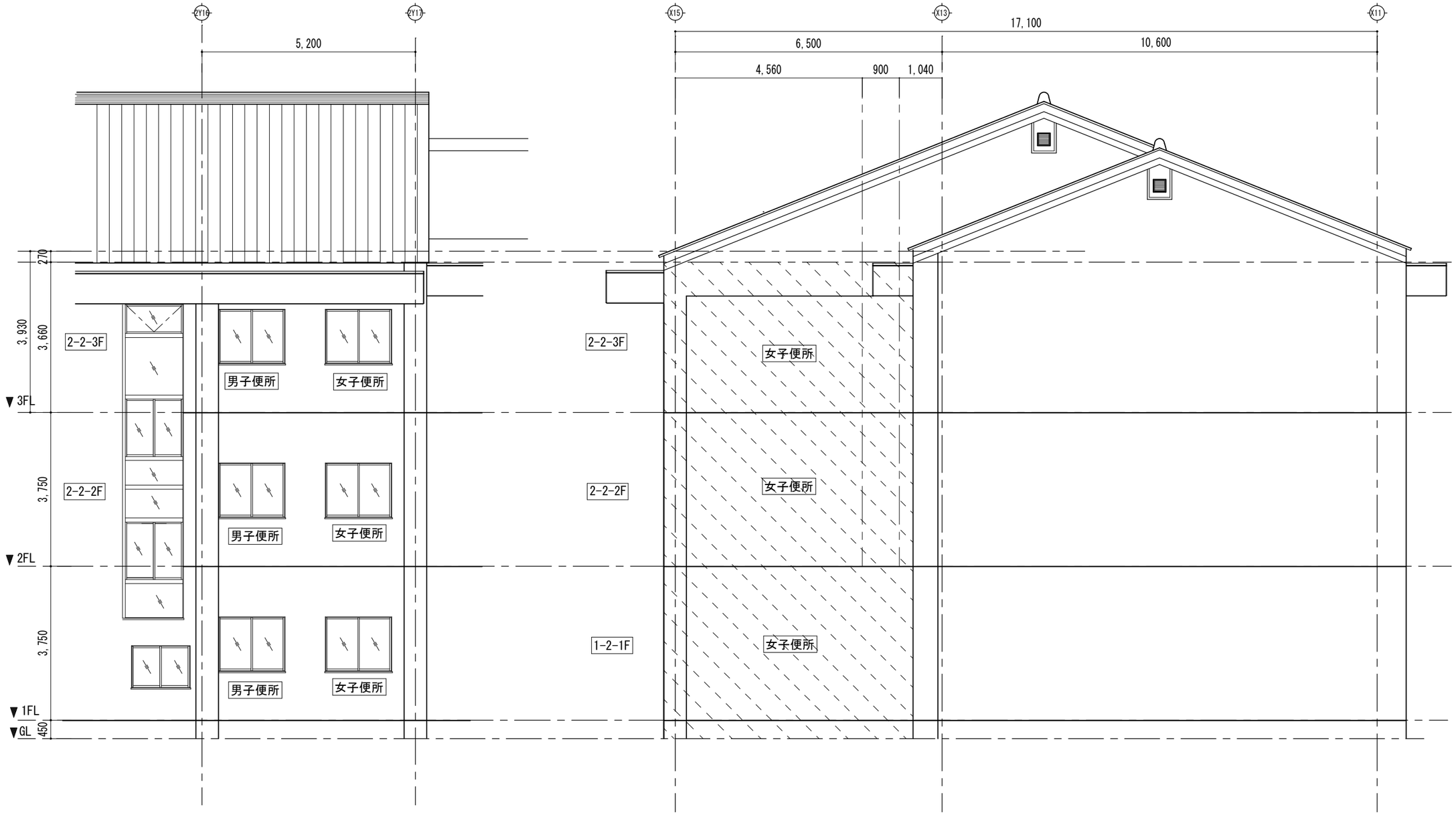
北側立面図　S:1/100



西側立面図　S:1/100

西、北立面図

			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R06.01.06	令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	立面図　1 SCALE S=1/100	A－14

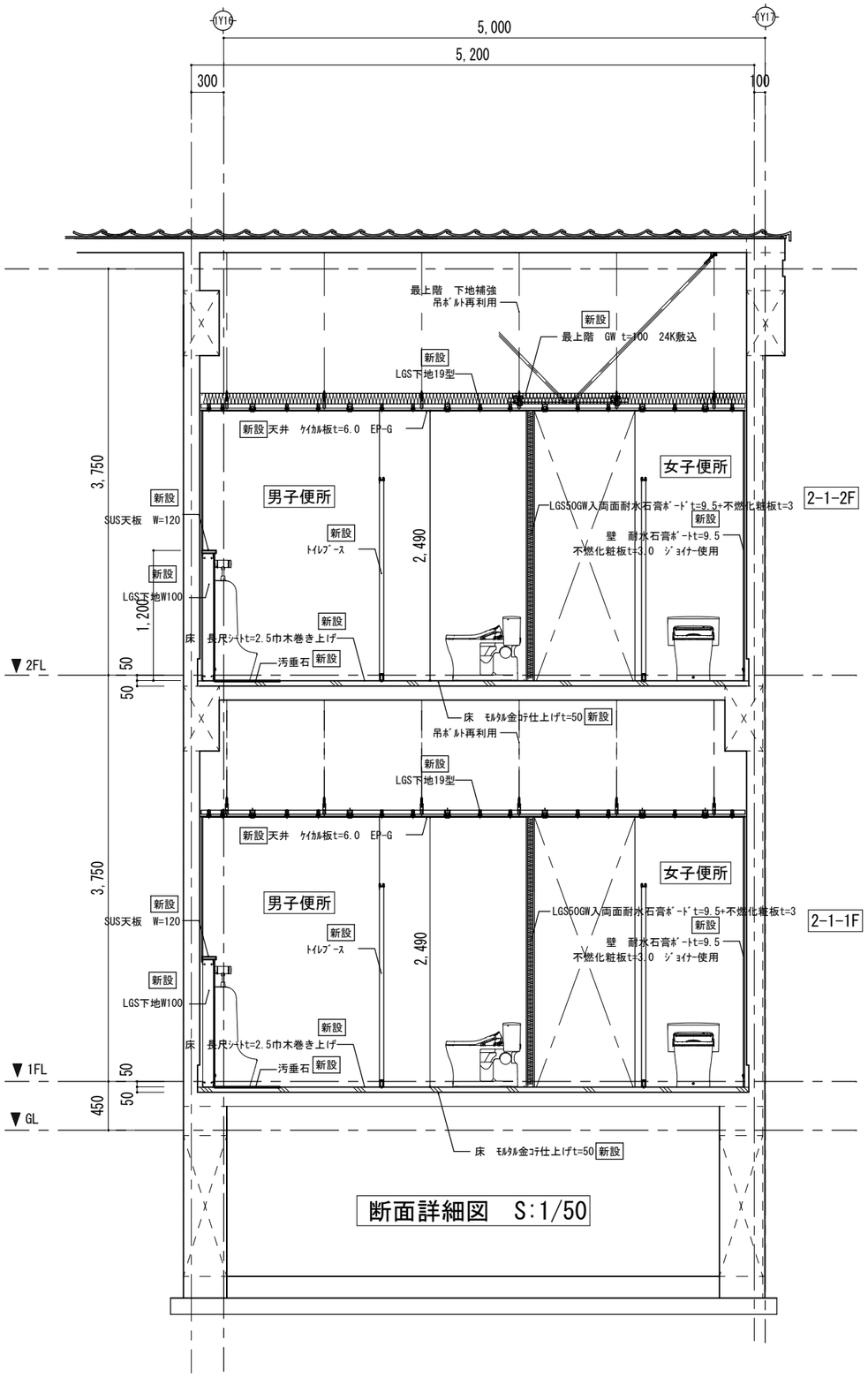


北側立面図　S:1/100

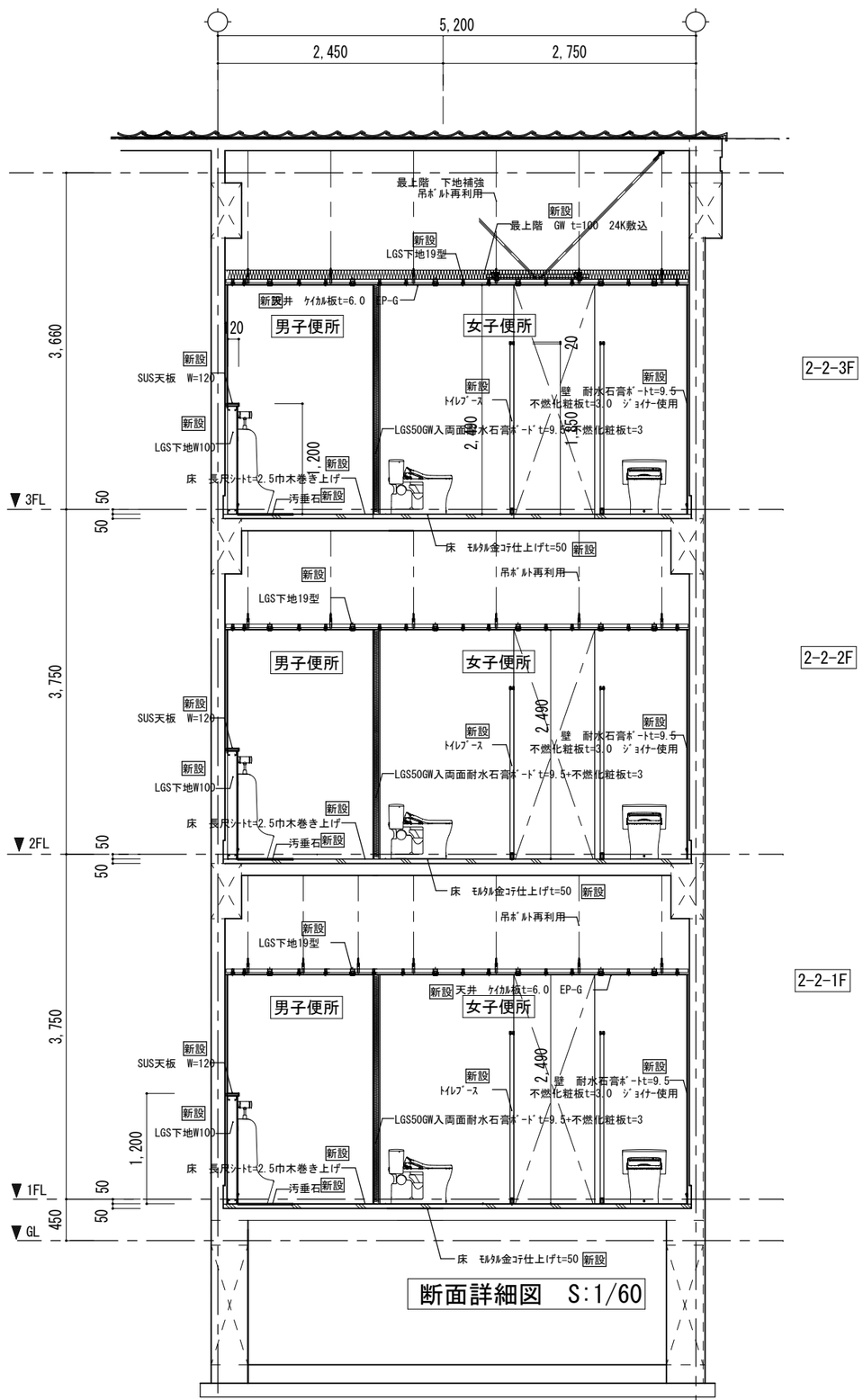
西側立面図　S:1/100

北、西立面図

		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 立面図　2	MAP NO.
		DATE R06.01.06			SCALE S=1/100	A－15



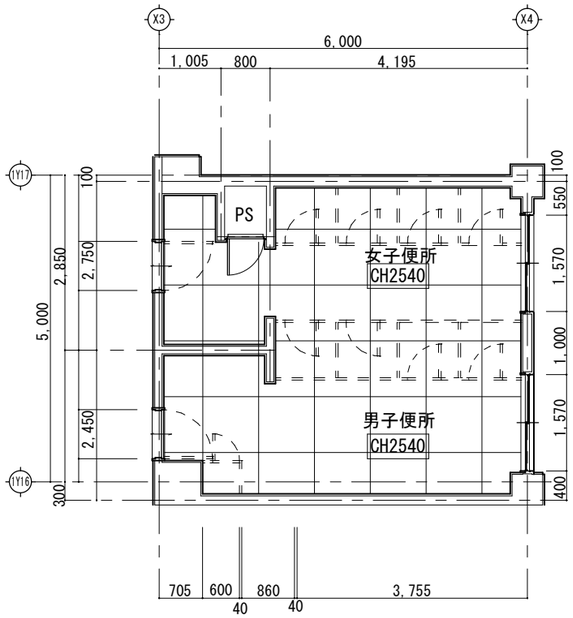
断面詳細図　S:1/50



断面詳細図　S:1/60

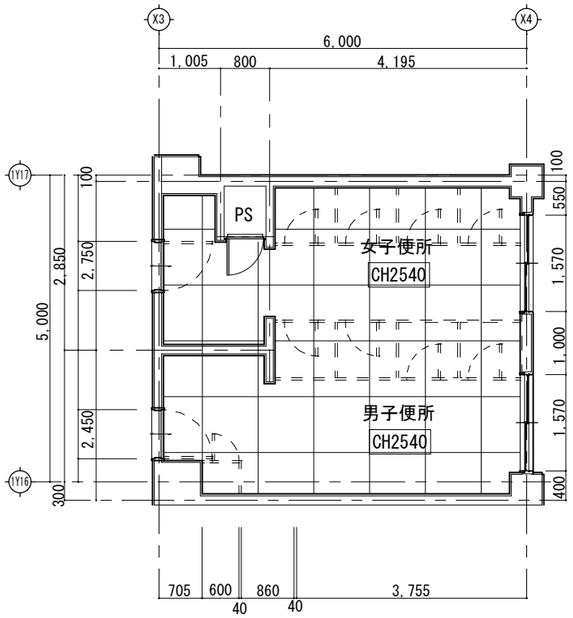
	DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 断面詳細図	MAP NO.
	DATE R06.01.06			SCALE S=1/50　S=1/60	A－16

2－1－1F



既　存

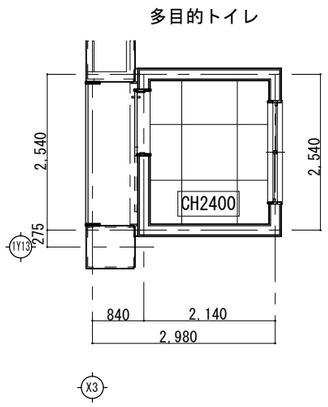
2－1－2F



既　存

2－1－1F　多目的

天井仕上げ
ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=6　EP-G塗装　目ｽｶｼ張
最上階　GW24K敷込

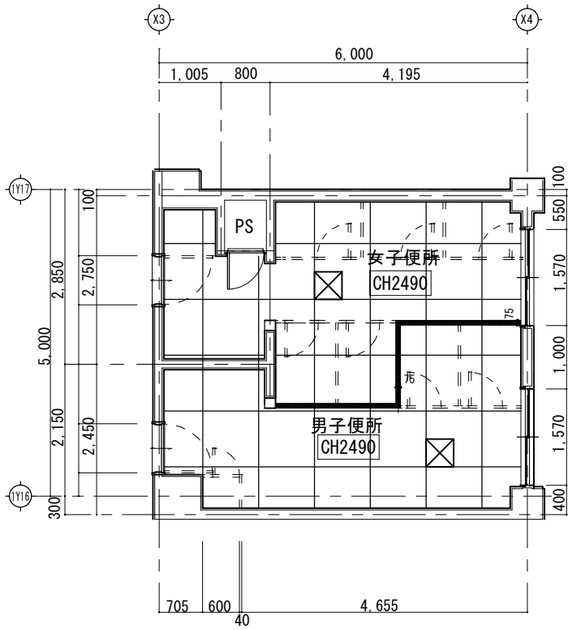


天井点検口450角

既　存

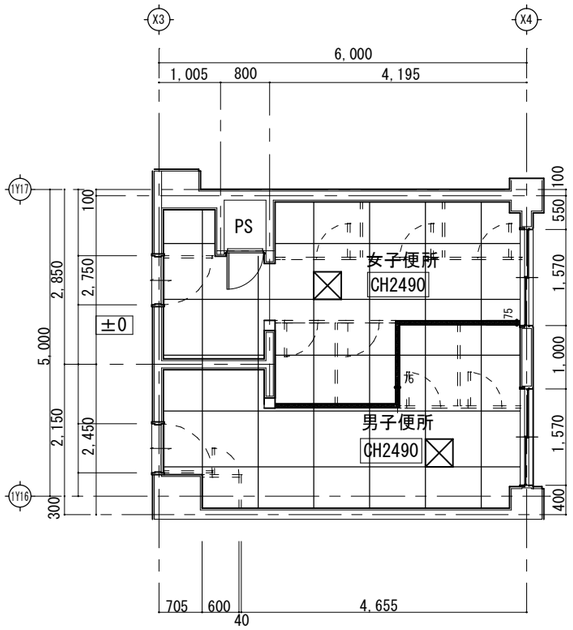
2－1－1F

改修後



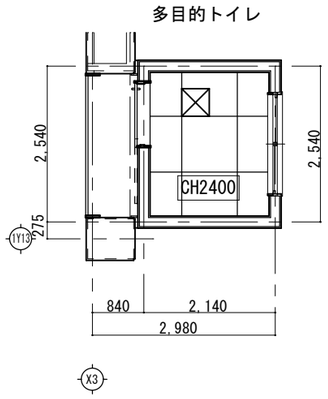
2－1－2F

改修後



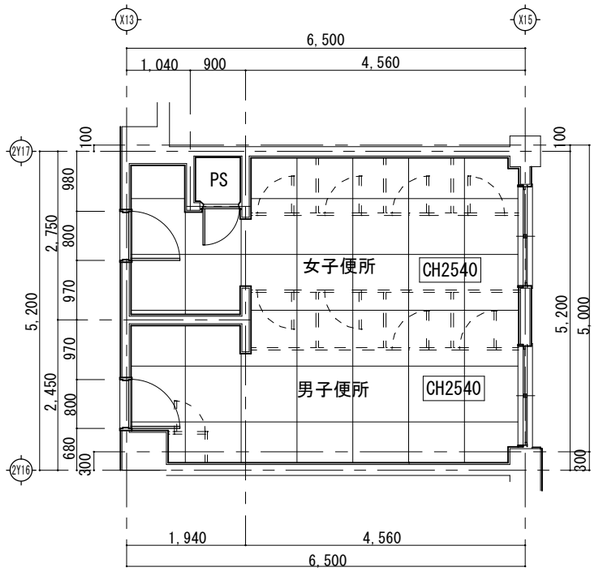
2－1－1F　多目的

改修後



DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R06.01.06		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	天井伏図１ SCALE S=1/100	A－17

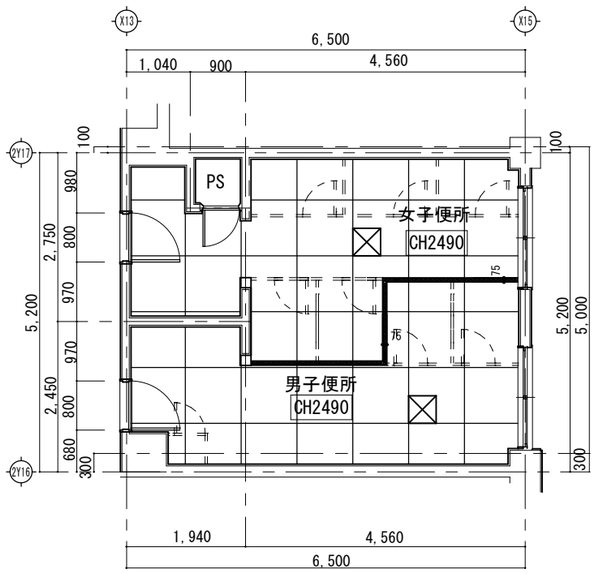
２－２－１F



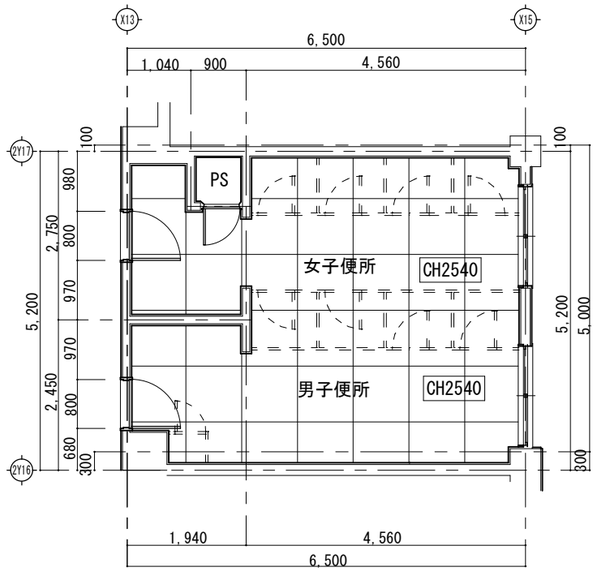
既　存

２－２－１F

改修後



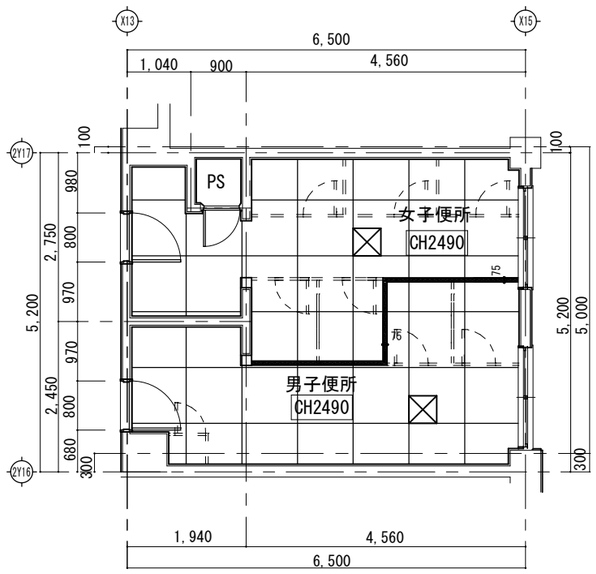
２－２－２F



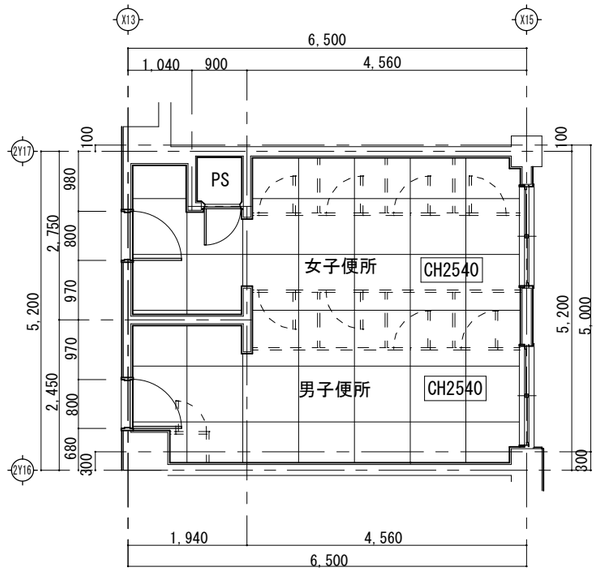
既　存

２－２－２F

改修後



２－２－３F

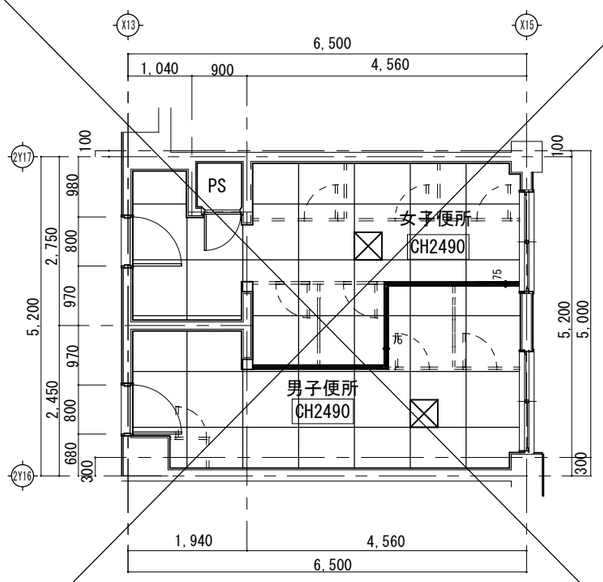


既　存

２－２－３F

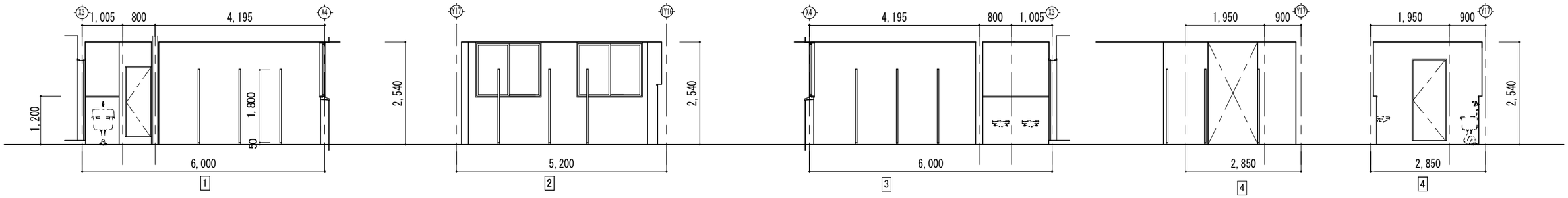
別図参照

改修後

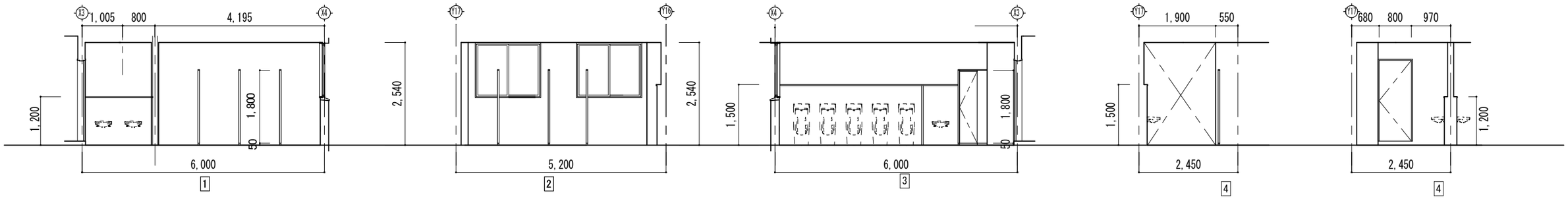


DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R06.01.06		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	天井伏図２ SCALE S=1/100	A－１８

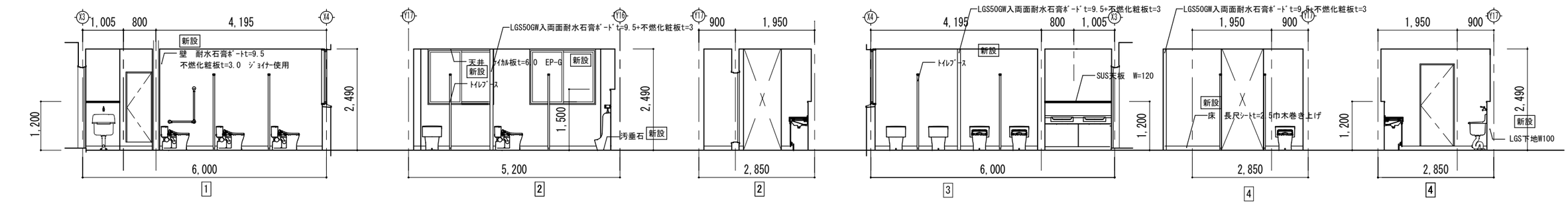
2－1－1F
2－1－2F　既 存　女子便所



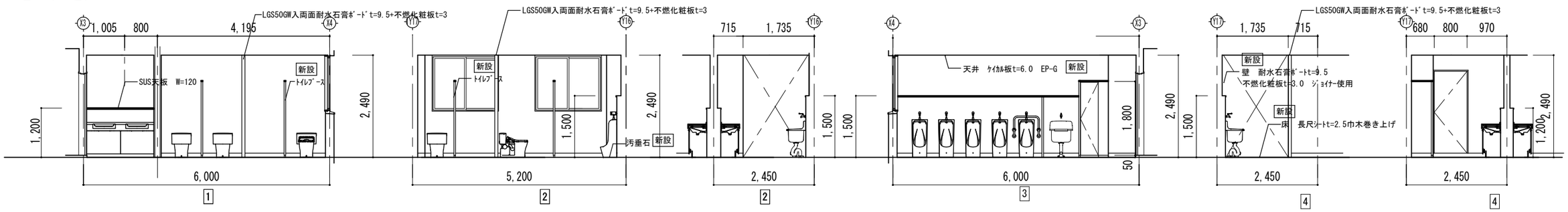
2－1－1F
2－1－2F　既 存　男子便所



2－1－1F
2－1－2F　改修　女子便所



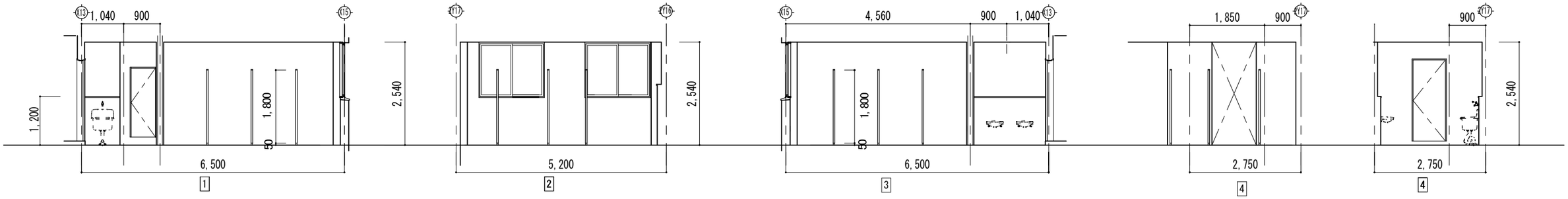
2－1－1F
2－1－2F　改修　男子便所



			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R06.01.06	令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	展開図1	A－19
					SCALE S=1/100	

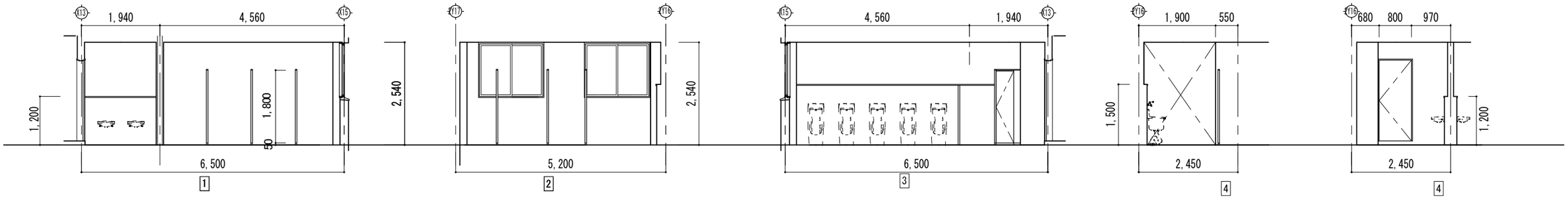
2－2－1F
2－2－2F
2－2－3F

既 存 女子便所



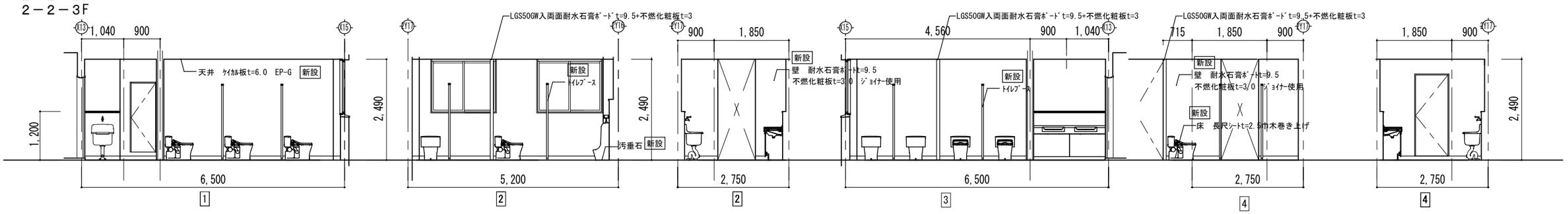
2－2－1F
2－2－2F
2－2－3F

既 存 男子便所



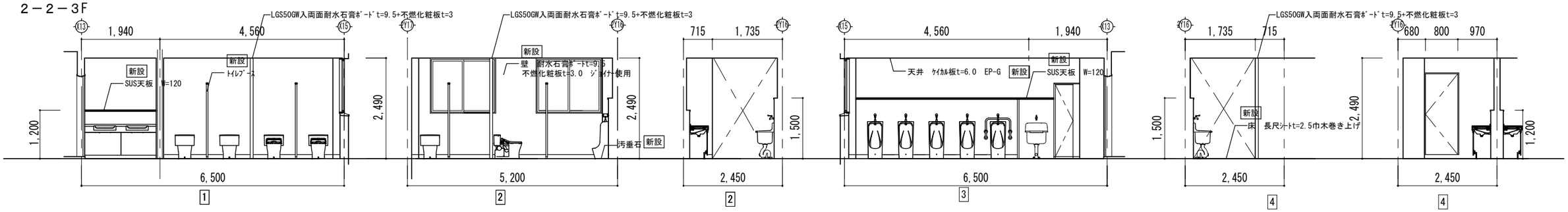
2－2－1F
2－2－2F
2－2－3F

改修 女子便所



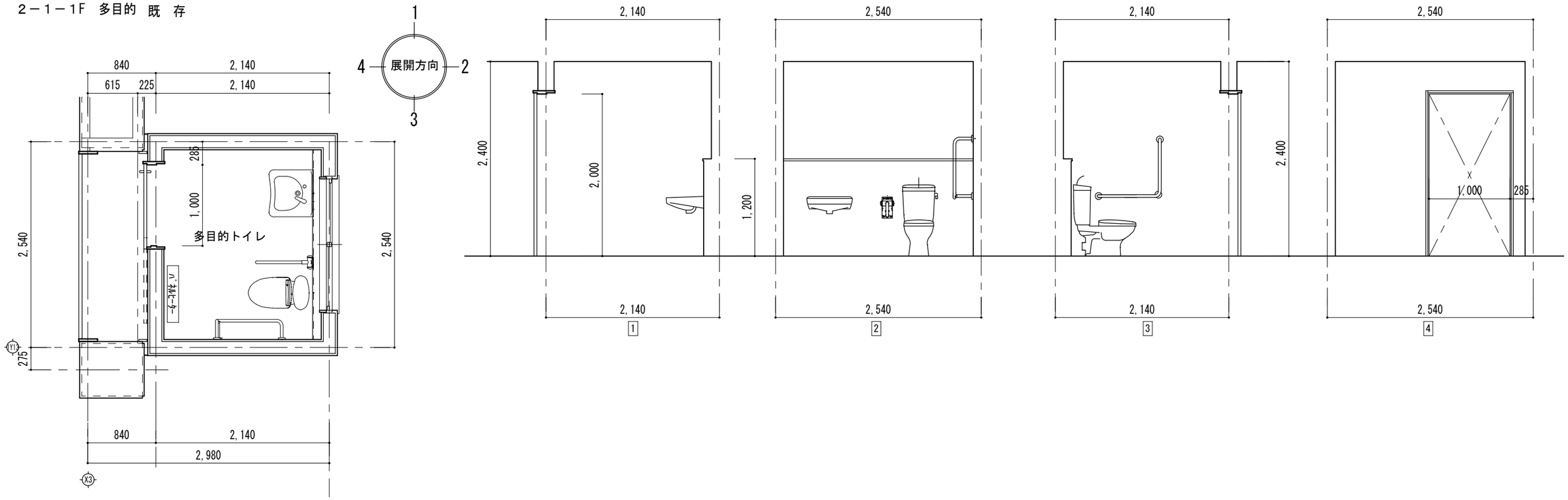
2－2－1F
2－2－2F
2－2－3F

改修 男子便所

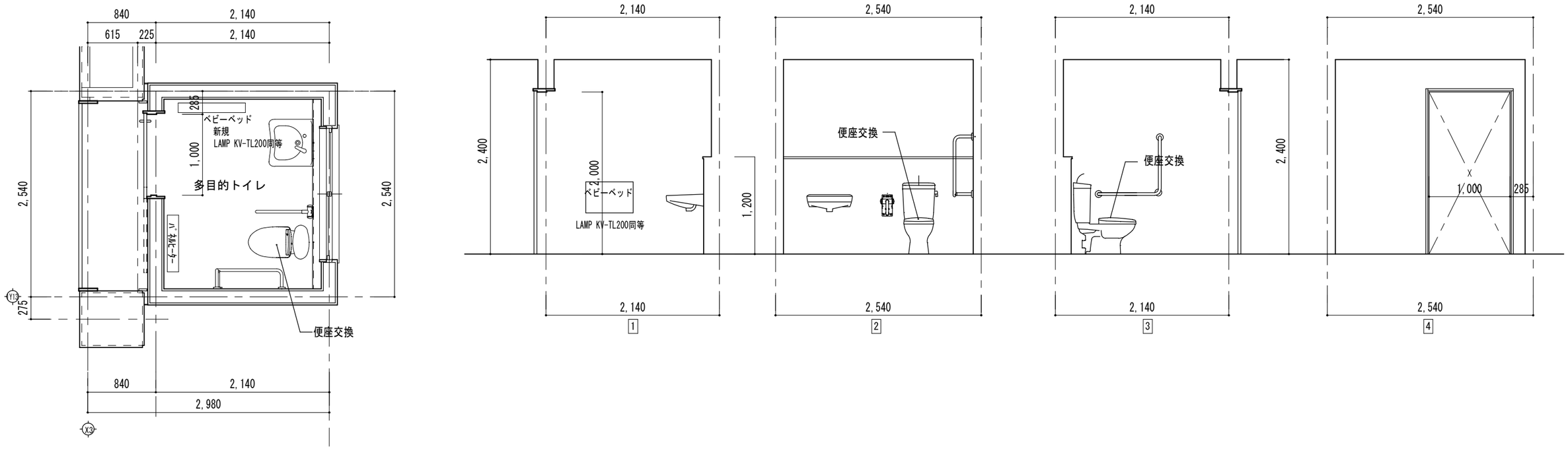


		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 展開図2	MAP NO. A－20
		DATE R06.01.06			SCALE S=1/100	

２－１－１F　多目的　既　存

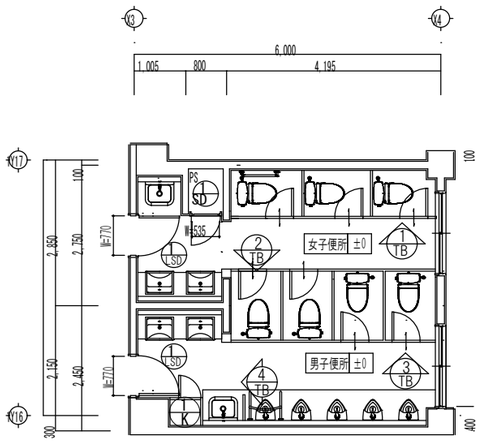


２－１－１F　多目的　　改 修

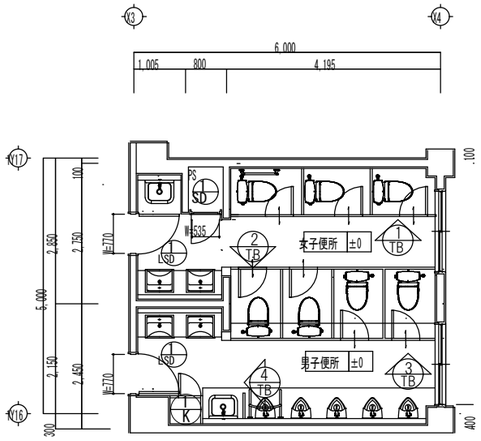


			DRAW / CHECK / DATE R06.01.06	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 1階身障者ﾄｲﾚ平面図、展開図 / SCALE S=1/50	MAP NO. A－２１

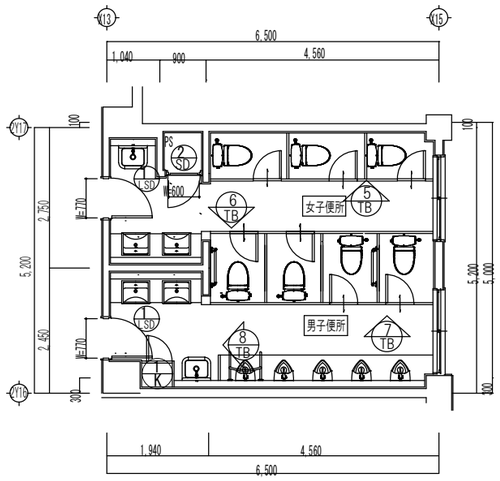
２－１－１Ｆ



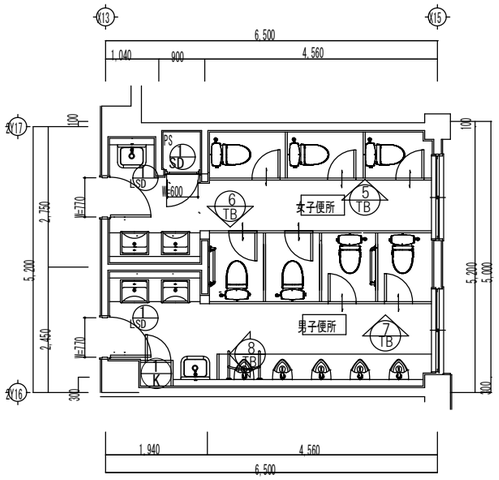
２－１－２Ｆ



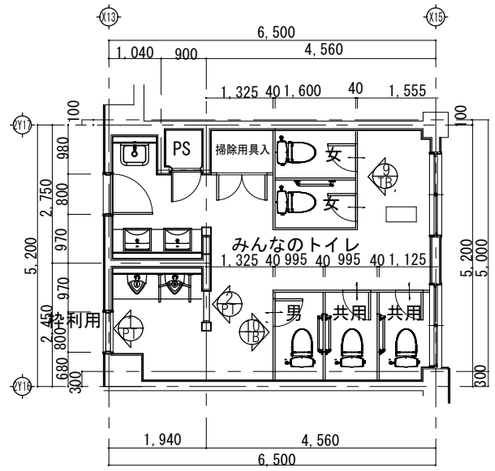
２－２－１Ｆ



２－２－２Ｆ

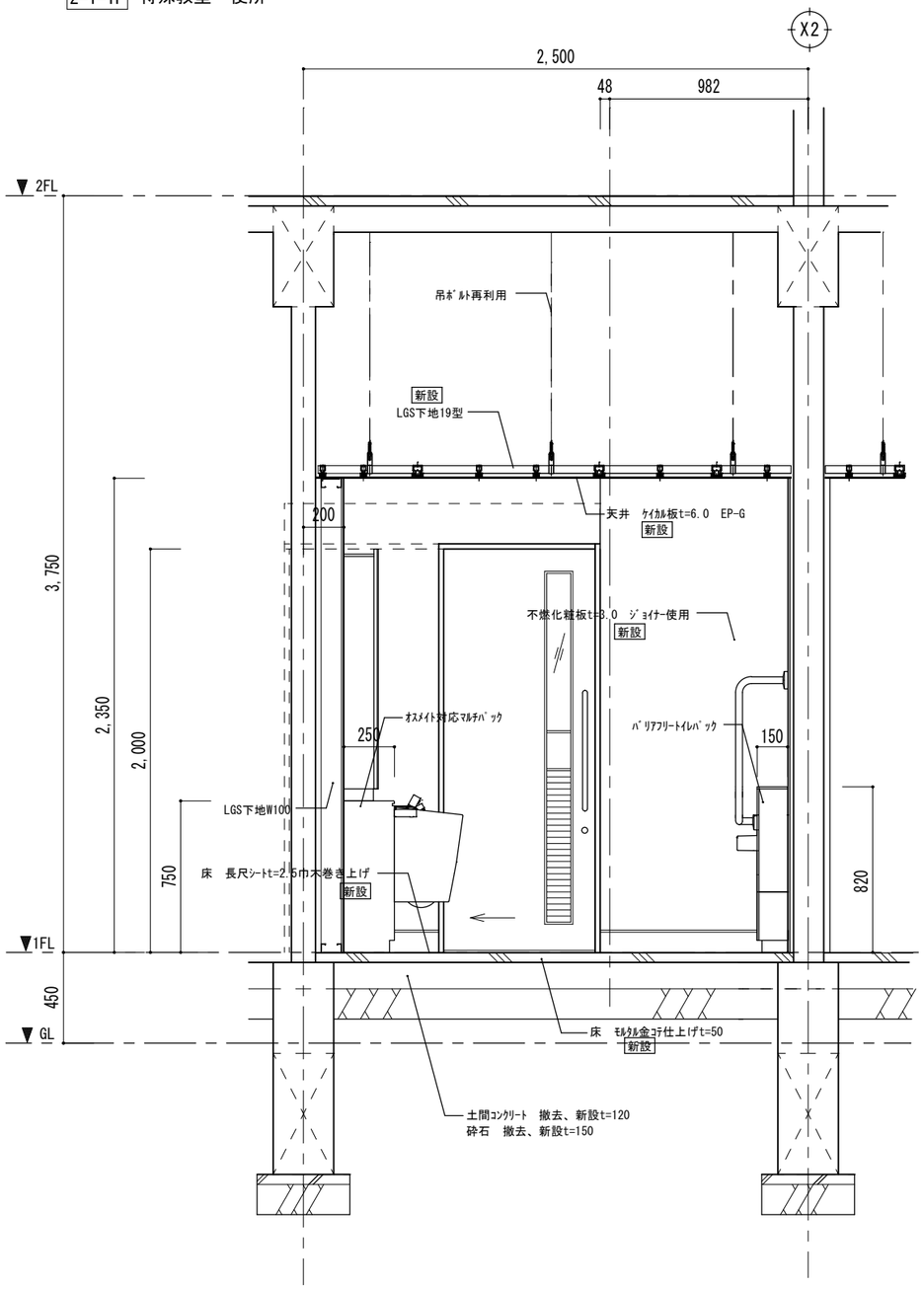


２－２－３Ｆ



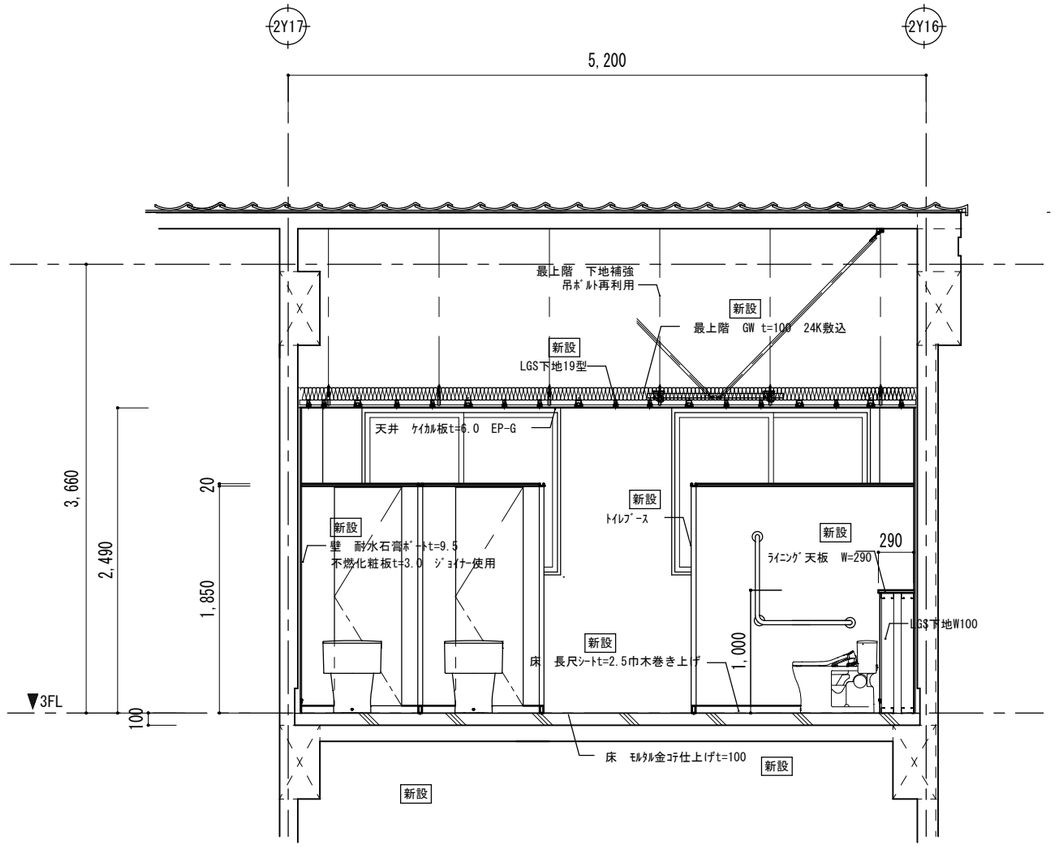
DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R05.09.01		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	建具、家具キープラン　1 SCALE S=1/50	A－２２

2-1-1F 特殊教室　便所



断面詳細図　S:1/30

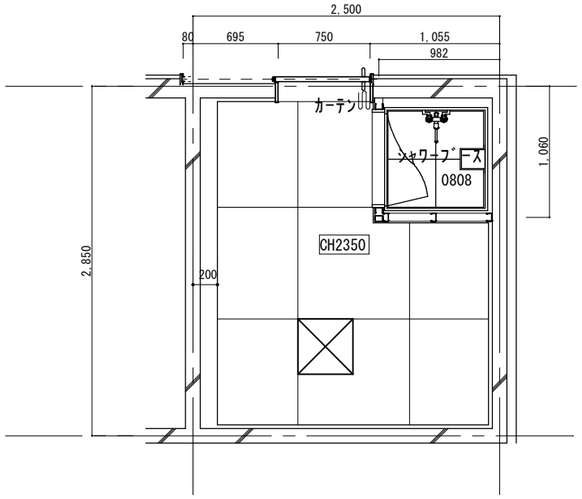
2-2-3F みんなのﾄｲﾚ



断面詳細図　S:1/50

			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
				令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	断面詳細図	Ａ－２３
			DATE R06.01.06		SCALE S=1/30　S=1/50	

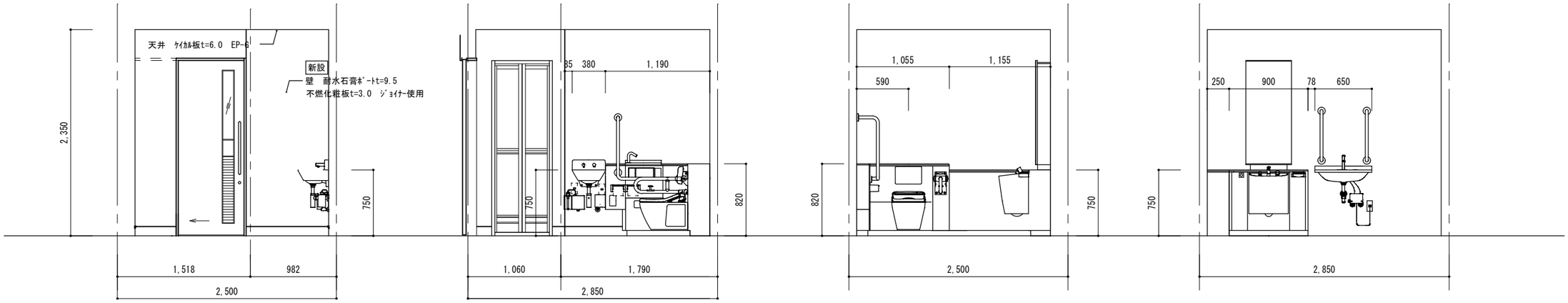
2-1-1F 特殊教室　便所



天井伏図　S:1/50

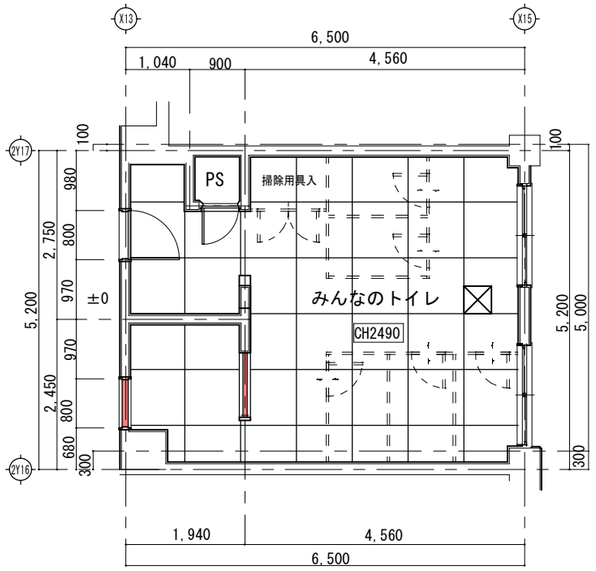
2-1-1F 特殊教室　便所

展開図　S:1/50



			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 2-1-1F 特殊教室便所 天井伏図、展開図	MAP NO. Ａ－２４
			DATE R06.01.06		SCALE S=1/50	

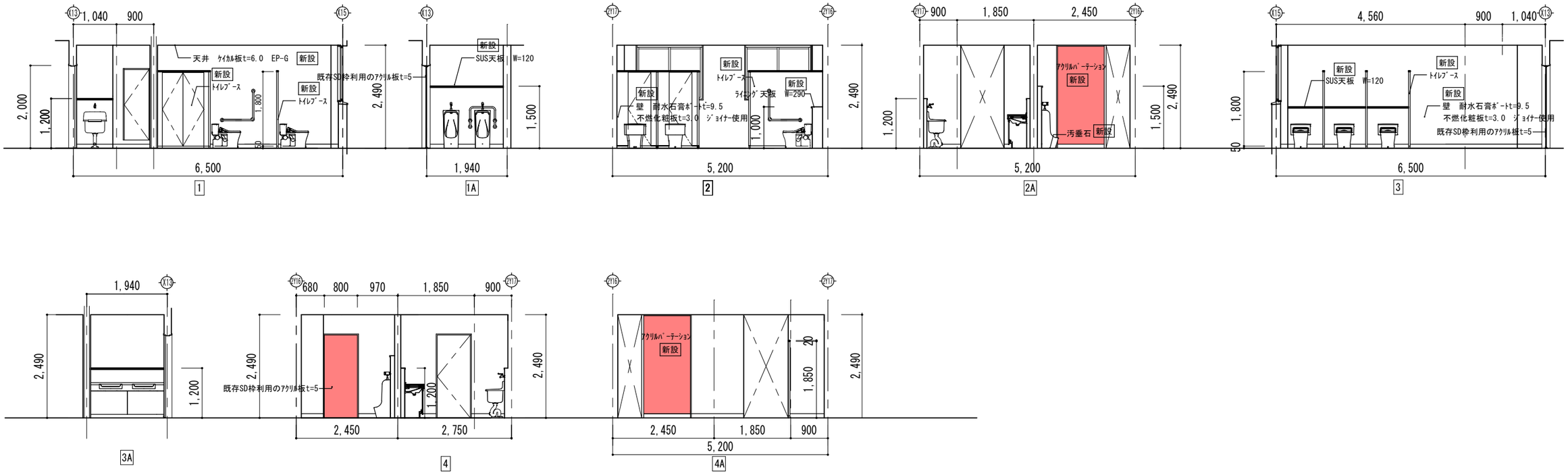
2-2-3F みんなのﾄｲﾚ



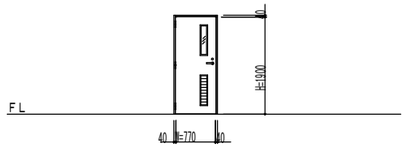
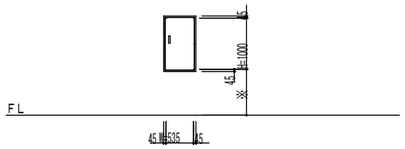
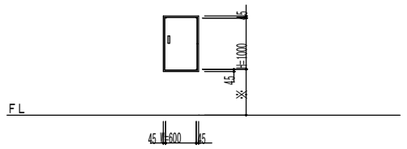
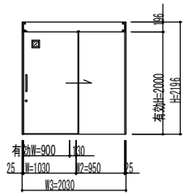
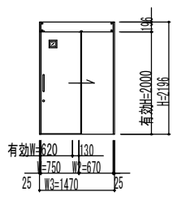
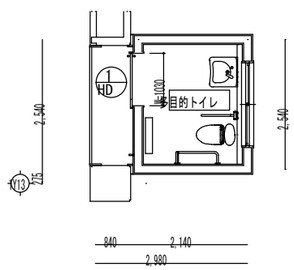
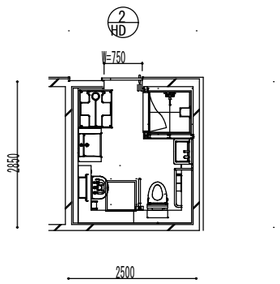
天井伏図　S:1/100

2-2-3F みんなのﾄｲﾚ 改修

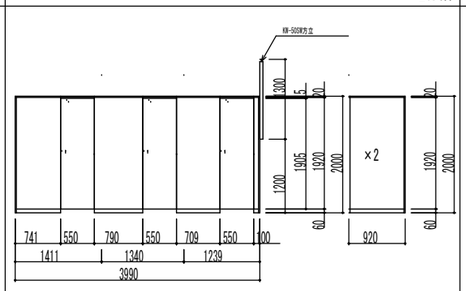
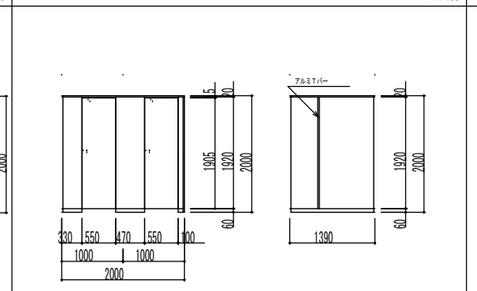
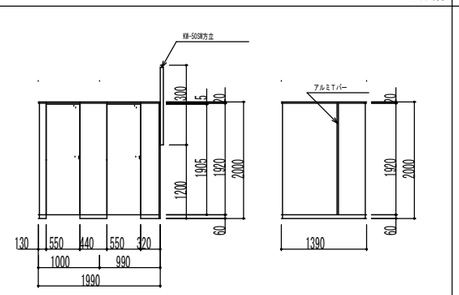
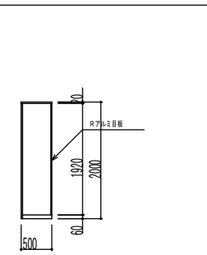
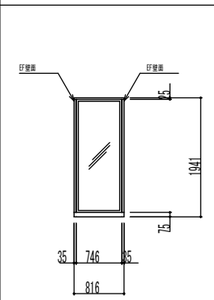
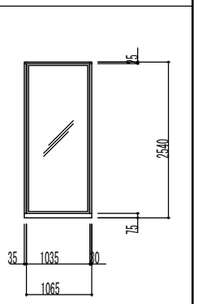
展開図　S:1/100

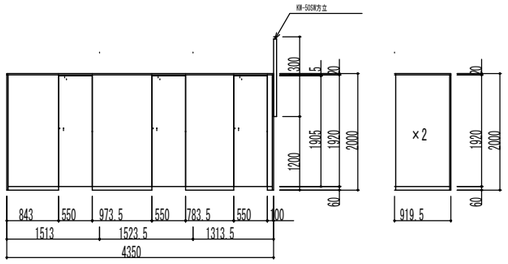
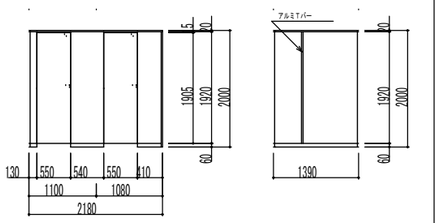
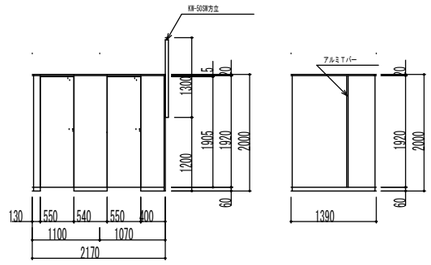
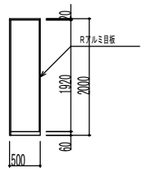


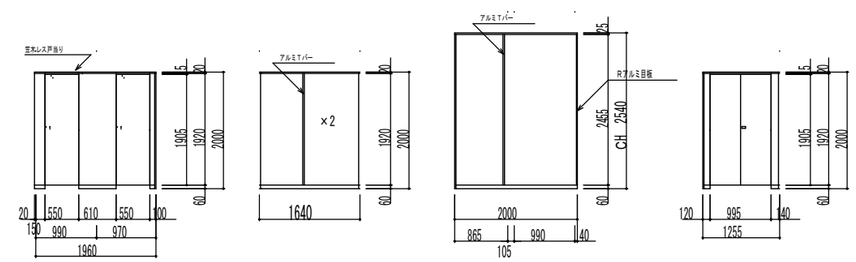
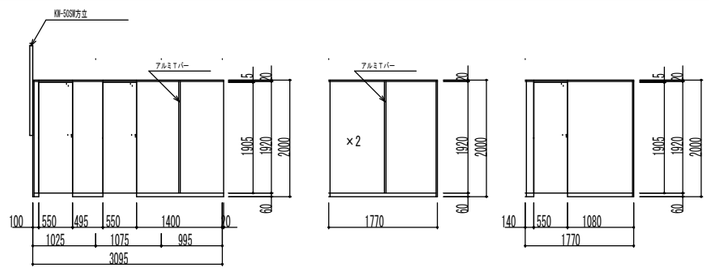
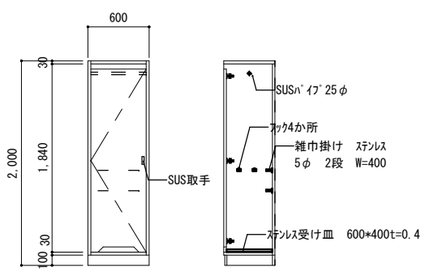
			DRAW / CHECK / DATE R06.01.06	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 2-2-3F みんなのﾄｲﾚ 天井伏図、展開図 / SCALE S=1/100	MAP NO. A－25

符号・種別	1 LSD 鋼製軽量ドア	1 SD 点検ドア	2 SD 点検ドア	1 P サイン 平付 11か所	
取付場所・個数	2-1-1F 男子便所・女子便所、2-1-2F 男子便所・女子便所 2-2-1F 男子便所・女子便所、2-2-2F 男子便所・女子便所 2-2-3F 男子便所・女子便所 10ヵ所	2-1-1F 女子便所ＰＳ、2-1-2F 女子便所ＰＳ 2ヵ所	2-2-1F 女子便所ＰＳ、2-2-2F 女子便所ＰＳ 2-2-3F 女子便所ＰＳ 3ヵ所	200×200×6 SUS304 ヘアーライン カッティングシート貼	
姿 図					
仕上・見込	仕上：焼付塗装、見込：－	仕上：焼付塗装、見込：－	仕上：焼付塗装、見込：－		
ガラス	ガラス				
金 物	丁番、ロック、レバーハンドル、ドアクローザ、 ステンレス音摺、アルミ枠切窓・ガラリ、その他付属金物一式	隠し丁番、押ボタン付平面ハンドル、その他付属金物一式	隠し丁番、押ボタン付平面ハンドル、その他付属金物一式		
備 考	小松ウォールエ業 ＬＳドア同等品	小松ウォールエ業 点検ドア同等品	小松ウォールエ業 点検ドア同等品		
符号・種別					
取付場所・個数					
姿 図					
仕上・見込	仕上：焼付塗装、見込：－	仕上：焼付塗装、見込：－			
ガラス					
金 物	樹脂製サムターン(非常解錠表示付)、樹脂引手、 傾斜式油圧制御装置、ステンレス音摺、 アルミ枠切窓・ガラリ、その他付属金物一式	樹脂製サムターン(非常解錠表示付)、樹脂引手、 傾斜式油圧制御装置、ステンレス音摺、 アルミ枠切窓・ガラリ、その他付属金物一式			
備 考	小松ウォールエ業 カームドア外付け枠タイプ（ＫＳタイプ）同等品	小松ウォールエ業 カームドア外付け枠タイプ（ＫＳタイプ）同等品			
姿 図	 ２－１－１F身障者	 ２－１－１Ｆ特殊教室便所			
仕上・見込					
ガラス					
金 物					
備 考					

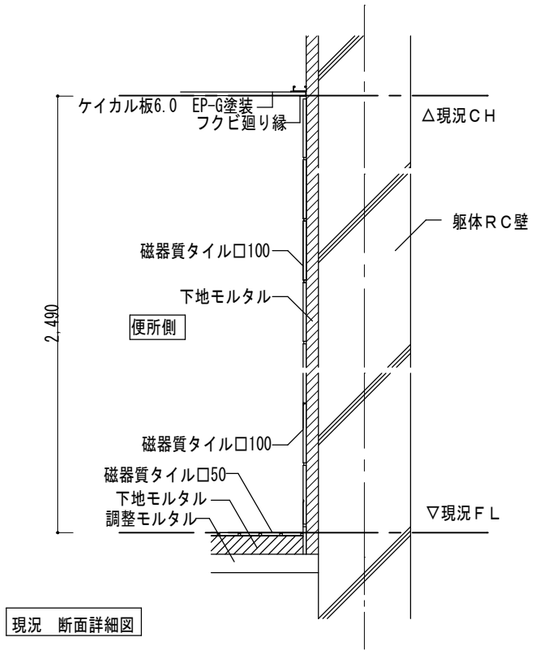
DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R05.09.01		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	建具表 1 SCALE S=1/10	A－26

符号・種別	1/TB トイレブース	2/TB トイレブース	3/TB トイレブース	4/TB トイレブース	1/PT パーテーション	2/PT パーテーション
取付場所・個数	2-1-1・2F 女子便所 2ヵ所	2-1-1・2F 女子便所 2ヵ所	2-1-1・2F 男子便所 2ヵ所	2-1-1・2F 男子便所 2ヵ所	2-2-3F みんなのトイレ	2-2-3F みんなのトイレ
姿図						
仕上・見込	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	スチールパーテーション 70	スチールパーテーション 70
ガラス						
金物	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	笠木・目板 巾木・床レール	亜鉛めっき鋼板（焼付塗装） アクリル10mm（乳白色）	亜鉛めっき鋼板（焼付塗装） アクリル10mm（乳白色）
備考	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 MW-70 同等品	小松ウオール工業 MW-70 同等品

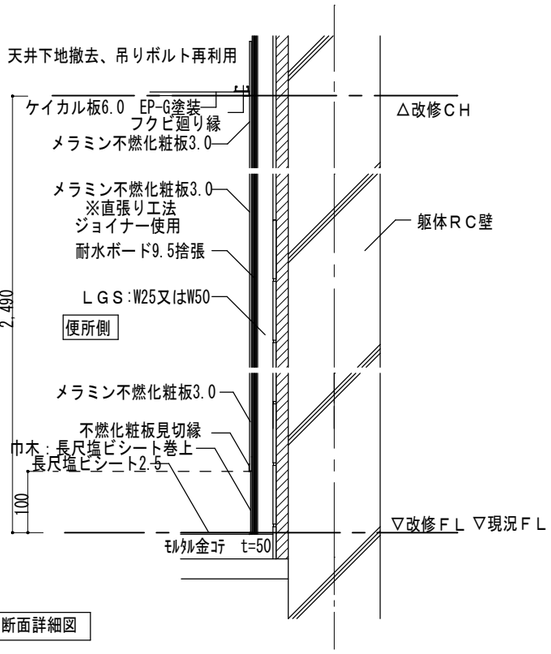
符号・種別	5/TB トイレブース	6/TB トイレブース	7/TB トイレブース	8/TB トイレブース
取付場所・個数	2-2-1～3F 女子便所 3ヵ所	2-2-1～3F 女子便所 3ヵ所	2-2-1～3F 男子便所 3ヵ所	2-2-1～3F 男子便所 3ヵ所
姿図				
仕上・見込	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40
ガラス				
金物	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	笠木・目板 巾木・床レール
備考	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品

符号・種別	2-2-3F みんなのトイレ 1ヵ所	2-2-3F みんなのトイレ 1ヵ所	1/K 掃除用具入
取付場所・個数			各男子便所 5ヵ所
姿図			
仕上・見込	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)見込 40	メラミン化粧板フラッシュt=25
ガラス			
金物	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール 各ブースごとホームフックC型（杉田エース同等）2ヶづつ	ｽﾗｲﾄﾞ丁番 3枚 SUSﾊﾟｲﾌﾟ25φ 雑巾掛け ｽﾃﾝﾚｽ 5φ 2段 W=400 ｽﾃﾝﾚｽ受け皿 600*400t=0.4 ﾌｯｸ4か所
備考	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	小松ウオール工業 TB-GPR 同等品	

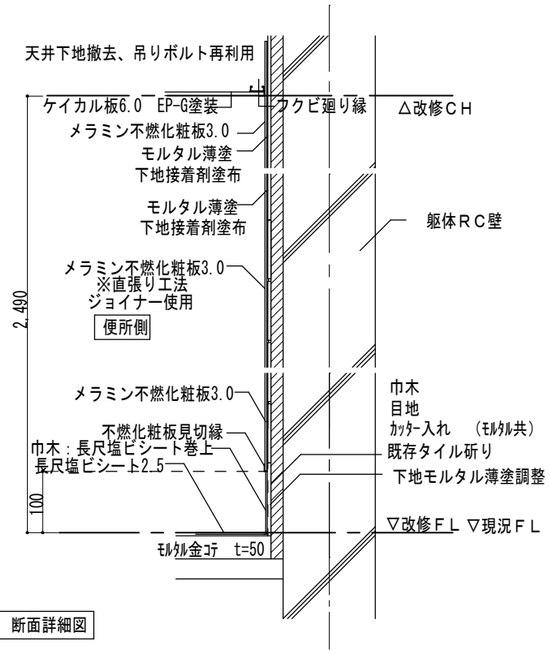
DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R05.09.01		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	建具表 2 家具図 SCALE S=1/10	A－27



現況　断面詳細図

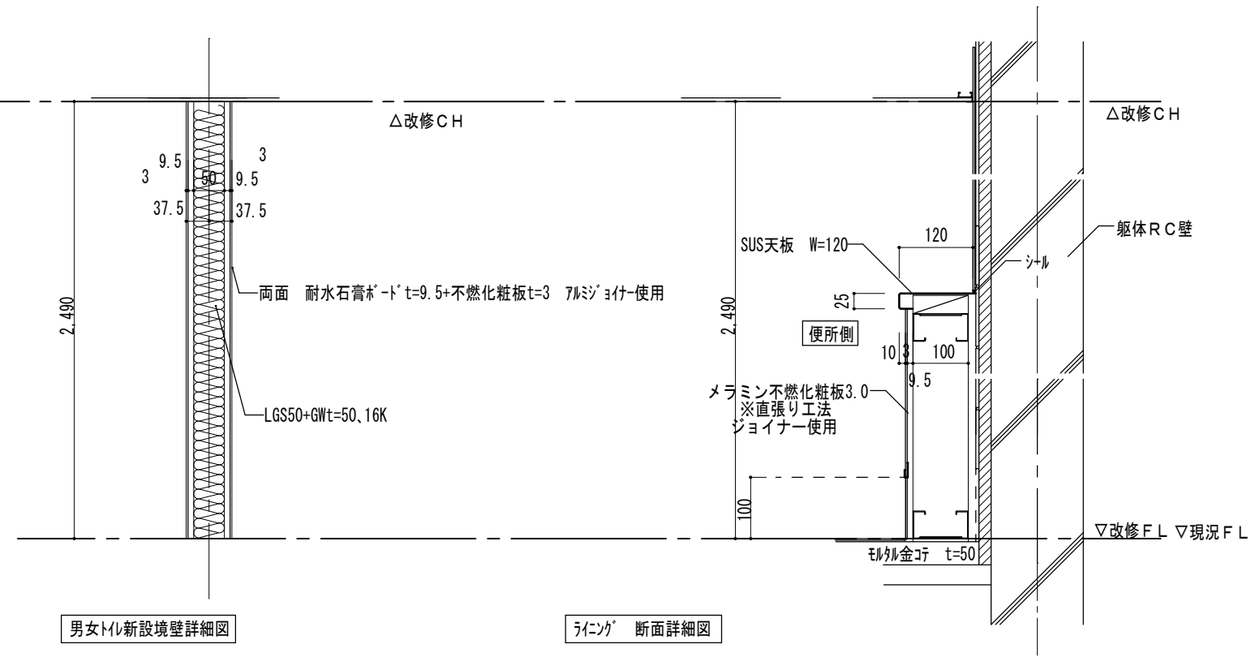


LGS下地あり　断面詳細図



LGS下地なし　断面詳細図

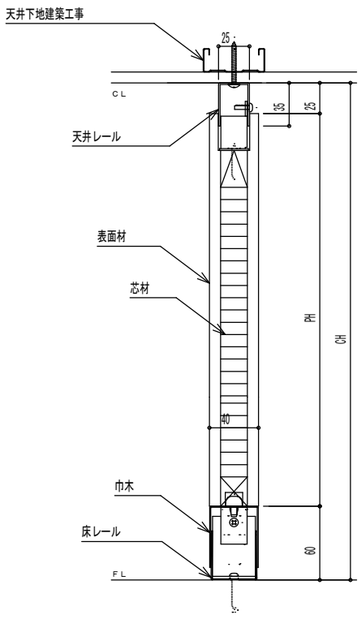
男女ﾄｲﾚ新設境壁詳細図



ﾗｲﾆﾝｸﾞ　断面詳細図

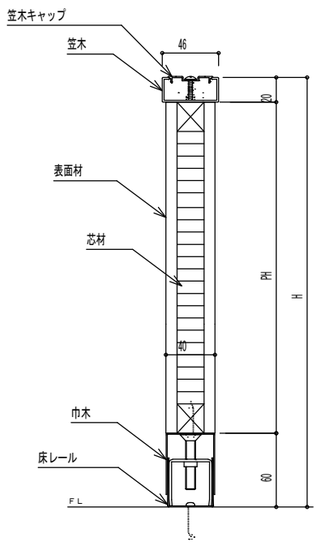
			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 部分詳細図　1	MAP NO. Ａ－２８
			DATE R05.09.01		SCALE S=1/10	

天井チリ調整範囲：20～30



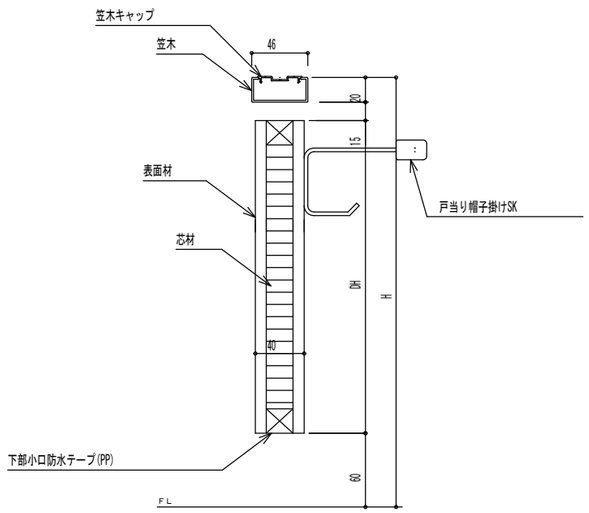
巾木調整範囲：巾木H-10～巾木H+15

パネル詳細



巾木調整範囲：巾木H-10～巾木H+15

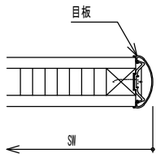
扉詳細



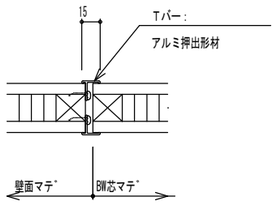
◇仕様表

(小松ウオール　サニティＴＢ－ＧＰＲタイプ)

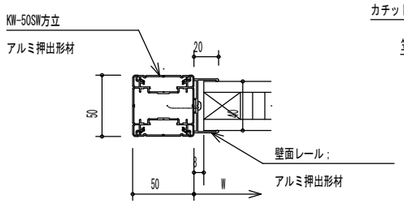
項　目	部　材	材　料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(木目)(下地：パーティクルボード9T)
	芯　材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス　0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	天井レール	ステンレス　1.2mm 〈ヘアライン仕上〉
	笠木／笠木キャップ	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	壁面レール／コーナーカバー	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	ヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	スライドロックSK　　／表示付スライドロックSK
	その他金物	戸当り帽子掛けSK



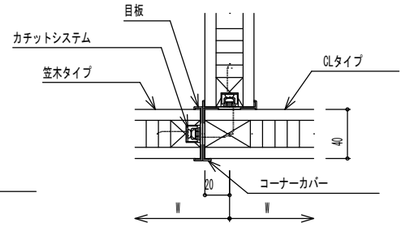
スクリーン端部



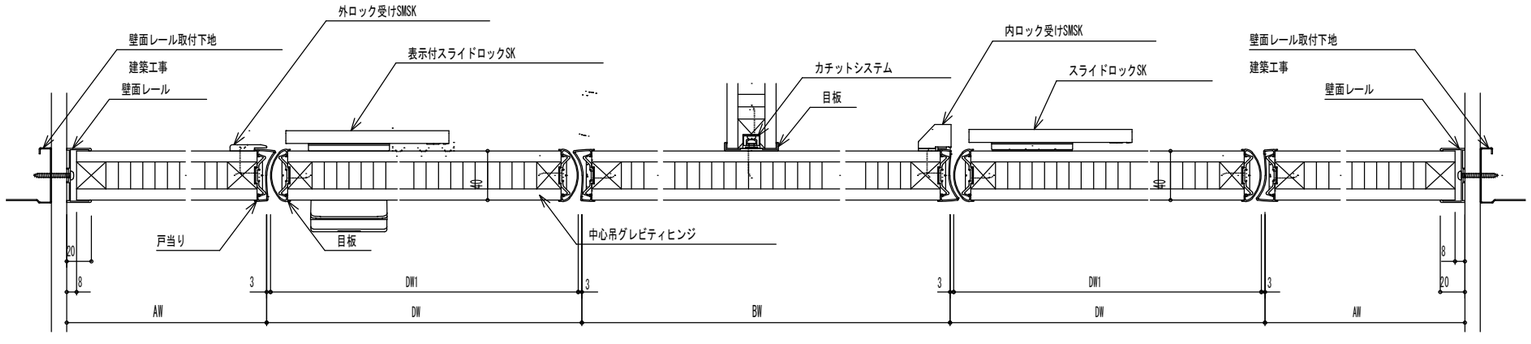
Ｔバージョイント



KW-50SW方立部



タイプ連結部

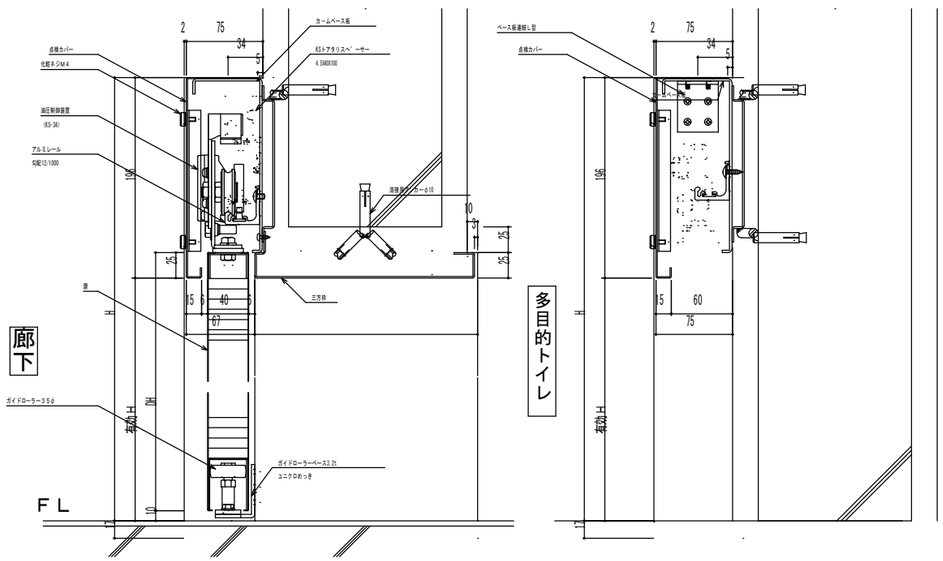


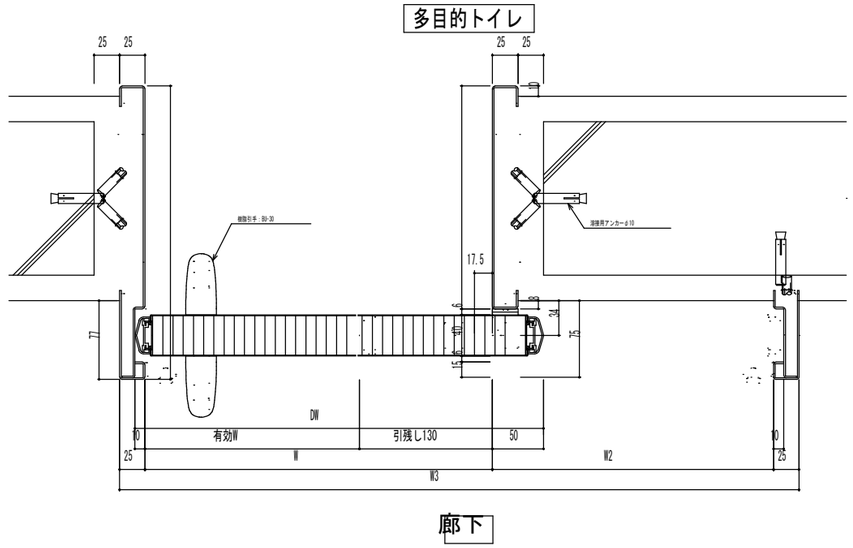
外開きトイレ用扉

内開きトイレ用扉

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R05.09.01		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	部分詳細図　2 SCALE S=1/10	Ａ－２９

鋼製軽量ハンガードア　ＨＤ－１



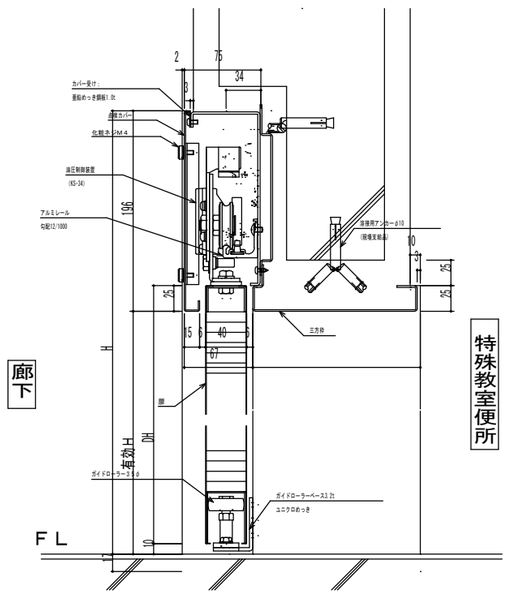


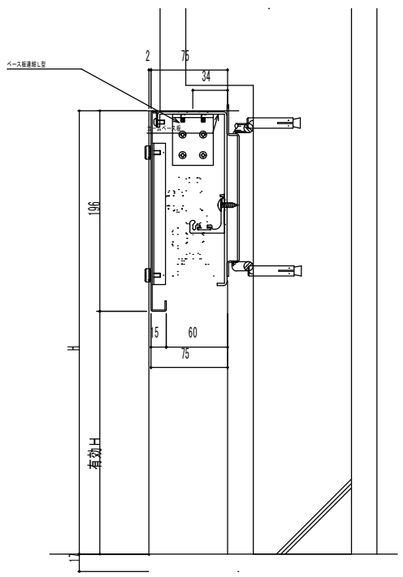
◇仕様表

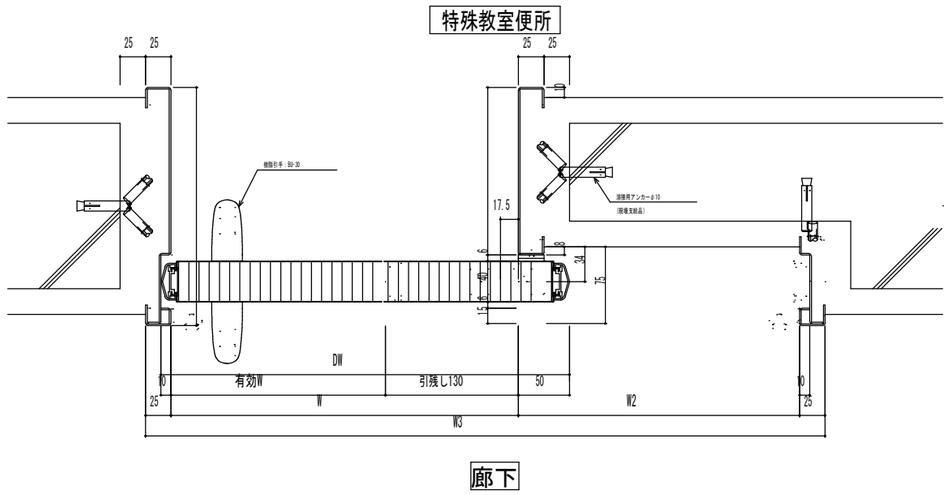
（小松ウオール カームドア外付け枠タイプ同等品）

項目	部材	材料（板厚mm）
駆動装置	駆動方式	傾斜レール 油圧制御装置
	カームベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm〈防錆塗装仕上〉
	カームレール	アルミ押出形材〈アルマイト処理仕上〉
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめっき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm〈指定色焼付塗装仕上〉
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm〈指定色焼付塗装仕上〉
	芯材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル〈ブラック色〉
	ロック	美和 POSTE錠/ゴール AD錠
	取手	樹脂引手
切窓ガラス	切窓	アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉
	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm〈グレー色〉

鋼製軽量ハンガードア　ＨＤ－２

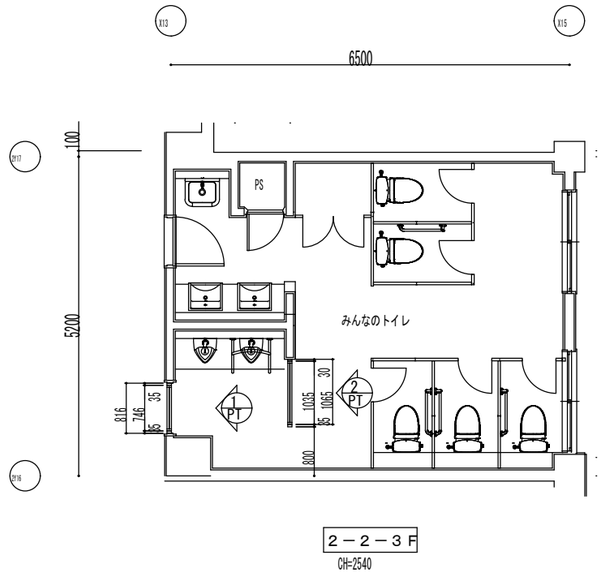




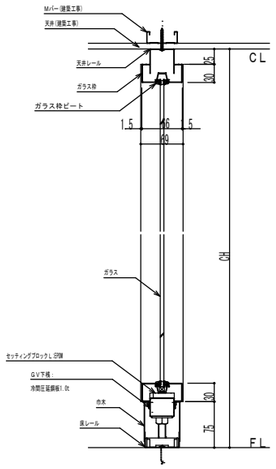


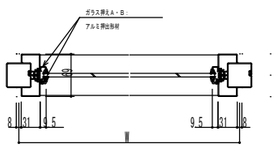
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 部分詳細図　３	MAP NO. Ａ－３０
			DATE R05.09.01			SCALE S=1/10	

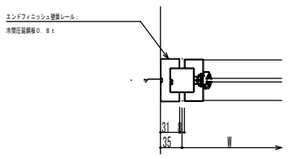
平面図（Ｓ＝１／５０）



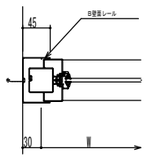
断面図（Ｓ＝１／５）



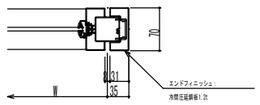




エンドフィニッシュ壁面納まり



壁面納まりＢ



エンドフィニッシュ納まり

◇仕様表

（小松ウオール　マイティー７０）

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板　1.0mm　〈焼付塗装仕上〉
	床レール	冷間圧延鋼板　0.8mm　〈焼付塗装仕上〉
	巾　木	冷間圧延鋼板　0.8mm　〈焼付塗装仕上〉
	ポール（支柱）	冷間圧延鋼板　1.2mm　〈焼付塗装仕上〉
	下桟	冷間圧延鋼板　1.0mm　〈焼付塗装仕上〉
枠	ガラス枠	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	ガラス枠ビート	ポリ塩化ビニル　〈グレー色〉

			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 部分詳細図　３	MAP NO. Ａ－３１
			DATE R05.09.01		SCALE S=1/10	

電　気　設　備　工　事

Ⅰ　工事概要

1　工事場所　　安蛍野市　穂高西小学校

2　建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
穂高西小学校トイレ改修工事	RC	3			Ⅰ期
穂高西小学校トイレ改修工事	RC	3			Ⅱ期
穂高西小学校トイレ改修工事	RC	1			Ⅲ期

3　工事種目　　（○印のついたものを適用する。）

工事種目	項目	建物別及び屋外 Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	
電灯設備		⊙	⊙	⊙	・
動力設備	幹線、分岐	・	・	・	
電熱設備	幹線、分岐	・	・	・	
雷保護設備		・	・	・	
受変電設備		・	・	・	
静止形電源設備	直流電源装置	・	・	・	
発電設備		・	・	・	
		・	・	・	
構内情報通信網設備	LAN用配管（電話共用）	・	・	・	・
構内交換設備	電話設備（空配管）	・	・	・	・
情報表示設備	時計設備	・	・	・	
映像・音響設備		・	・	・	
拡声設備		・	・	・	
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	・	⊙	・	
テレビ共同受信設備		・	・	・	・
監視カメラ設備		・	・	・	
駐車場管制設備		・	・	・	
防犯・入退室管理設備	予備配管	・	・	・	
自動火災報知設備	簡易型 連動	・	・	・	・
自動閉鎖設備		・	・	・	
非常警報設備	非常放送装置	・	・	・	
ガス漏れ警報設備		・	・	・	
中央監視制御設備		・	・	・	
		・	・	・	
構内配電線路		・	・	・	・
構内通信線路					・
					・
					・
					・

4　図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
E-01	特記仕様書		
EⅠ-01	Ⅰ期　1階 平面配置図		
EⅠ-02	平面詳細図　1-1-1F 1-1-2F		
EⅠ-03	Ⅰ期　2・3階平面配置図		
EⅠ-04	平面詳細図 1-2-1F 1-2-2F 1-2-3F		
EⅡ-01	Ⅱ期　1階平面配置図		
EⅡ-02	平面詳細図 2-1-1F 2-1-2F 2-1-1F身障者		
EⅡ-03	Ⅱ期　2，3階平面配置図		
EⅡ-04	平面詳細図 2-2-1F 2-2-2F 2-2-3F		
EⅢ-01	Ⅲ期　1階平面配置図		
EⅢ-02	平面詳細図　3-3-1F 3-4-1F		

Ⅱ　工事仕様

① 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を摘用する。

2　特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
①機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
②機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
③化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒドの放散量　　該当する建築材料 規制対象外：①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 第三種：①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのＥ○規格品 ④旧JASのＦ○○規格品
④電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
⑤電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑥実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
⑦使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
8 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの　・無　・有（　　） (2)引渡しを要するもの以外　・構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物　・無　・有（　　） (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無　・有（・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類　　）
9 監督員事務所	⊙設けない　・設ける（規模：　　） ・備品（　　）
10 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが　・できる　・できない
11 足場・さん橋類	・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等（・架台足場　・移動式足場　・移動式室内足場　・　　） ・外部仮設足場等（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　）　・防護シート（　　）
12 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
⑬工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
⑭しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
15 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
16 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針２００５版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量［ｋｇｆ］に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※１）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※１）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※１）	1.5	1.0	1.0	0.6

（※１）水槽類にはオイルタンク等を含む。

◎重要機器の定義は次による。

・受変電設備　・発電設備　・直流電源設備　・交流無停電電源装置

・交換機　・自動火災報知受信機　・中央監視装置　・

◎上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、

１０～１２階建の場合は上層３階、１３階以上の場合は上層４階とする。

(2)設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

項目	特記事項
17 あと施エアンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。 (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 （引抜き試験を　・　実施する　・　実施しない　）
⑱防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。
⑲電線・ケーブル	(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「ﾀｲｼﾞｮﾝ EM-EEF」と表記されたものを使用する。 (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。
20 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器４個以下の場合は(25)を１本５個以上の場合は(25)を２本、天井まで立上げる。
21 呼び線	長さ１m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
22 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋外　・屋内（　　）
23 埋め戻し土	・種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める
24 建設発生土の処理	・場外搬出処理　・構内の指定場所に敷き均し
25 ケーブル埋設票	(1)　地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。　・鉄製　・コンクリート製 (2)　低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3)　配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは２条以上敷設する。
26 プルボックス	(1)　露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2)　露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
㉗フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き　⊙ 金属製　・樹脂製
28 プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
29 配線器具	タンブラスイッチは大角形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として大角形とする。ただし、２口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
30 フロアコンセント	・直付（ビス止め）型上下式（・銅合金製　・アルミ製）とする ・直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする
31 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
32 照度測定	(1)　非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。 (2)　学校施設における室内照度測定（測定教室：　個所、　測定黒板面：　個所） ※教室の照度は、１教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する
33 盤類	(1)　分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2)　端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 ＜資材＞　・照明制御システム　・変圧器　・（　　） ＜建設機器＞　・排出ガス対策型建設機器　・低騒音型建設機器
35 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表（平成　年版）による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)

（別表）　しゅん工時提出物　　（・に○印のついたものを提出する。）

個別提出物	一括提出物
1 完成図	5　機器完成図
・~~原図（Ａ２板　ケース入り）~~	6　工事写真
・陽画（Ａ２　２つ折り製本　１部）	7　完成写真
・~~マイクロフィルム~~	8　工事記録　（打合せ簿、工事日誌、協議書）
（アパーチュアカード貼付　台紙は黄色）	9　機材の試験成績書
⊙ＣＡＤデータ	10　施工の試験成績書
	11　社内試験成績書
2 設計図	12　発生材処理報告書
・~~マイクロフィルム~~	（廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図）
（アパーチュアカード貼付　台紙は青色）	13　納入品一覧表
3 引渡書	14　官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）
4 納入品	15　保全に関する資料（取扱い説明書も含む）
・予備品　・ハンドホールフック、ジャッキ	
・盤類の鍵　・	

3　ハンドホール

下表による。（梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを１組納入する。）

ブロックハンドホール　（寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。）

・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。

・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

・	ハンドホール Ｎｏ.－	１、５００×１、５００×１、５００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、７４０以上（アルミ梯子付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	１、２００×１、２００×１、５００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、７００以上（アルミ梯子付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	１、０００×１、０００×１、４００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、６００以上（アルミ梯子付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	１、０００×１、０００×１、１００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、３００以上（アルミ梯子付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	１、０００×１、０００×　９００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、０６０以上（アルミ梯子付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	９００×　９００×１、１００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、２６０以上（アルミ梯子付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	９００×　９００×　９００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１、０６０以上（既製足場付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	６００×　６００×　６８０Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	（既製足場付）
・	ハンドホール Ｎｏ.－	４５０×　４５０×　６８０Ｄ 蓋 ＷＰＭ－４５Ｂ　（Ｅマーク入）	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

4　接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	Ａ種接地	銅板１．５ｔ×９００×９００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	Ｂ種接地	銅板１．５ｔ×６００×６００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	Ｃ種接地	銅板１．５ｔ×３００×３００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ１．５ｍ　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	Ｄ種接地	接地棒（１０φ×１、５００）　リード端子付　打ち込み式 埋設標（黄銅製又はステンレス製）

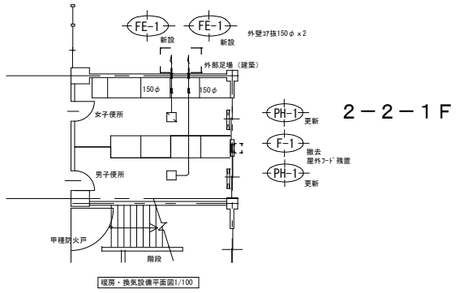
5　機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

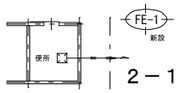
	名称	測点	取付高(mm)
共通	取引用計器	地上～上端	2,000
	引込開閉器	床上～上端	1,800
	警報盤	床上～中心	1,500
電灯	分電盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	タンブラスイッチ	〃	1,300
	〃（身障者用）	〃	1,100
	コンセント(一般)	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（便所等）	〃	500
	〃（台上）	台上～中心	150
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100
	〃（踊場）	〃	2,500
	〃（鏡上）	鏡端～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ・押ボタン	〃	1,300
電話	室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
	中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
	集合保安器箱	〃	(天井高)×0.9
	壁付アウトレットボックス(一般)	〃	300
	〃（和室）	〃	150

	名称	測点	取付高(mm)
時計・拡声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	子時計	〃	(天井高)×0.9
	壁掛形スピーカー	〃	(天井高)×0.9
	アッテネーター	〃	1,300
表示	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9
	壁付発信器	〃	1,300
	ベル	〃	(天井高)×0.9
	ブザー	〃	(天井高)×0.9
	押ボタン	〃	1,300
	〃（身障者用押釦）	〃	900
	身障者用表示灯	〃	2,000
	復帰ボタン	〃	1,800
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	〃（身障者用）	〃	1,100
	壁付位置ボックス（壁付インターホンを除く）		
	〃（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
テレビ共同受信	機器収容箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	アウトレット		
	〃（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500
	副受信機	〃	800～1,500
	機器収容箱	床上～中心	800～1,500
	発信器	〃	800～1,500
	ベル	〃	(天井高)×0.9
	消火栓表示灯	〃	(天井高)×0.8

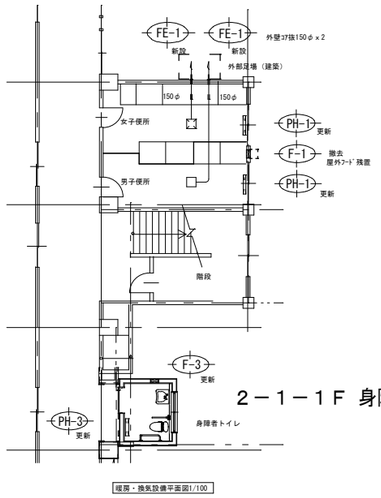
DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R7.01.05		令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）	特記仕様書 SCALE non	E－01



２－２－１Ｆ



２－１－１Ｆ 特殊教室



２－１－１Ｆ

２－１－１Ｆ 身障者

凡　例

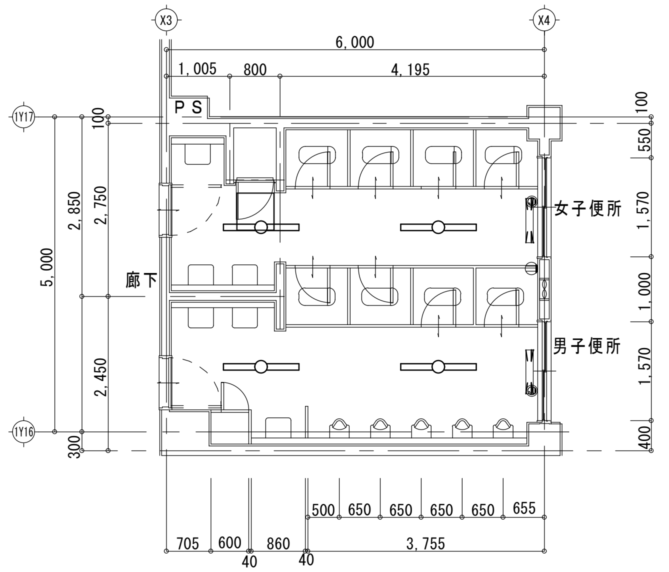
工事対象トイレ等　　Ａ棟西・Ｂ棟西

改修済トイレ等

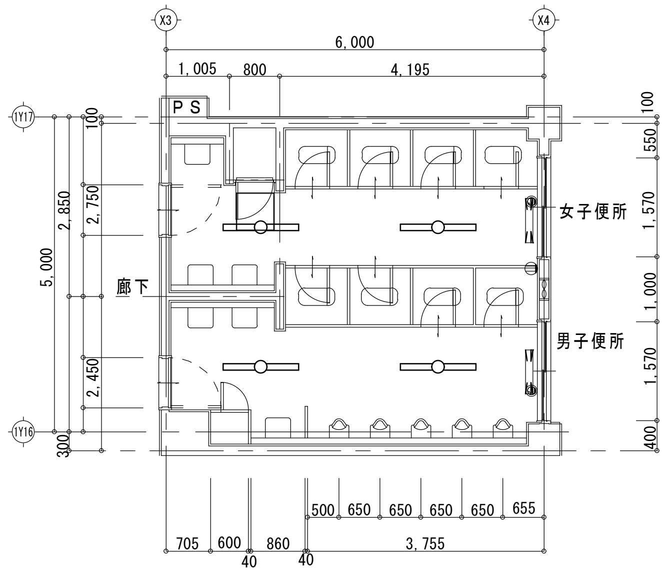
仮設トイレ等

			DRAW　CHECK DATE　R07.03.15	CONSTRUCTION NAME 令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME Ⅱ期　１階平面配置図 照明器具更新設備 SCALE　A1 S=1/250	MAP NO. ＥⅡ－０２

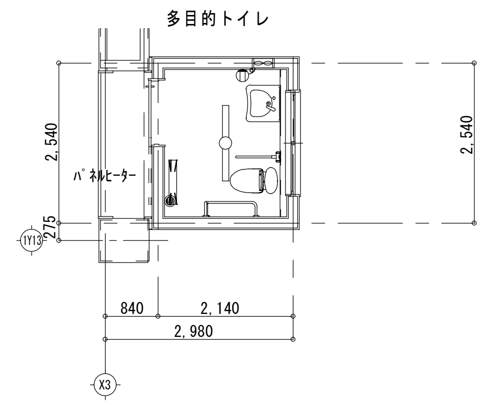
2－1－1F



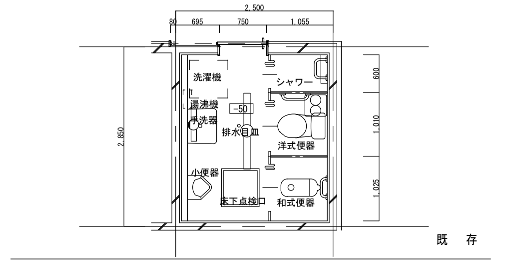
2－1－2F



2－1－1F身障者



2－1－1F 特殊教室

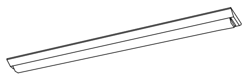


既　存
器具撤去

改修後
器具更新接続

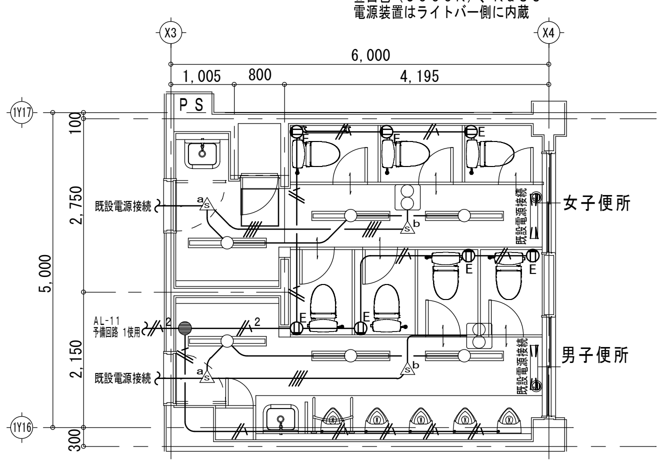
2－1－1F

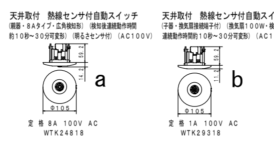
iDシリーズ直付型40形　Dスタイル　W150



パナソニック　直付XLX450AHNU LE9

省エネタイプ、5200lmタイプ
消費電力26．3W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵



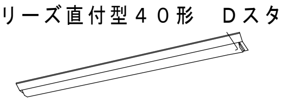


特記無き配管配線は下記による

―――	EM-EEF 1．6-2c
―///―	EM-EEF 1．6-4c
―//―	EM-EEF 1．6-3c
―//²―	EM-EEF 2．0-3c

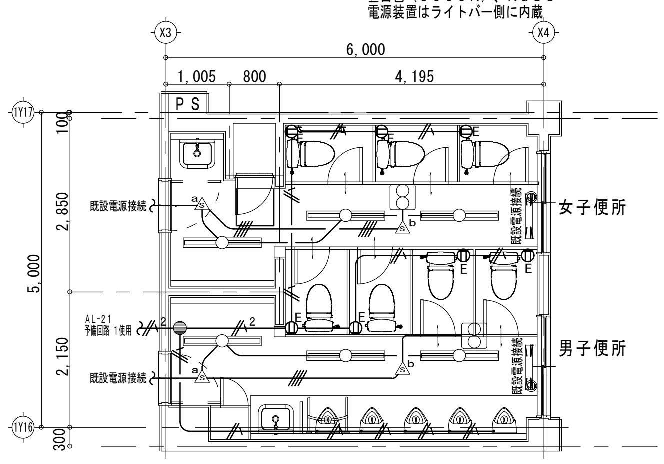
2－1－2F

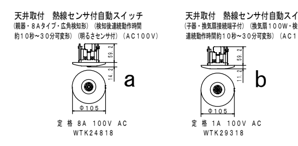
iDシリーズ直付型40形　Dスタイル　W150



パナソニック　直付XLX450AHNU LE9

省エネタイプ、5200lmタイプ
消費電力26．3W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵



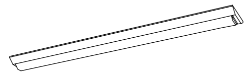


特記無き配管配線は下記による

―――	EM-EEF 1．6-2c
―///―	EM-EEF 1．6-4c
―//―	EM-EEF 1．6-3c
―//²―	EM-EEF 2．0-3c

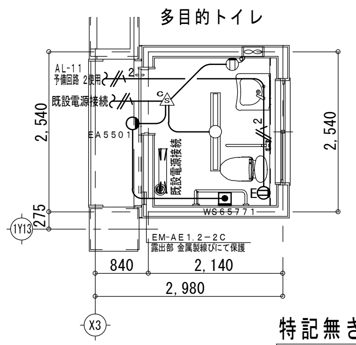
2－1－1F身障者

iDシリーズ直付型40形　Dスタイル　W150

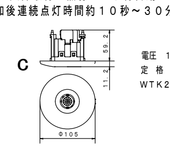


パナソニック　直付XLX450AHNU LE9

省エネタイプ、5200lmタイプ
消費電力26．3W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵



トイレ天井取付　熱線センサ付自動スイッチ（換気扇連動用）
（検知後連続点灯時間約10秒～30分可変形）（明るさセンサ付）

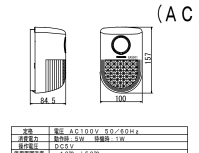


電圧 100V AC
定格 電流 照明：1．2A 換気扇：1A
WTK2604

特記無き配管配線は下記による

―――	EM-EEF 1．6-2c
―//―	EM-EEF 1．6-3c
―//²―	EM-EEF 2．0-3c

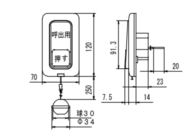
警報ランプ付ブザー（屋外用）
（AC100V）



定格	電圧 AC100V 50／60Hz
消費電力	動作時：5W　待機時：1W
操作電圧	DC5V
使用周囲温度	－10℃～＋50℃
質量	約530g
音圧	警報音：約90dB（前方1mにて）報知音：約65dB（前方1mにて）

パナソニックEA5501相当品

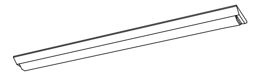
埋込プルスイッチ付押釦スイッチ 常開形



30V 0.1A　WS65771

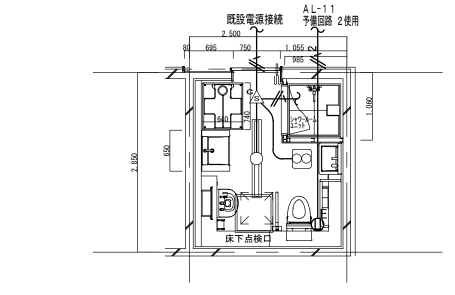
2－1－1F 特殊教室

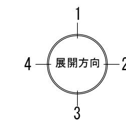
iDシリーズ直付型40形　Dスタイル　W150



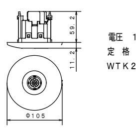
パナソニック　直付XLX450AHNU LE9

省エネタイプ、5200lmタイプ
消費電力26．3W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵





トイレ天井取付　熱線センサ付自動スイッチ（換気扇連動用）
（検知後連続点灯時間約10秒～30分可変形）（明るさセンサ付）

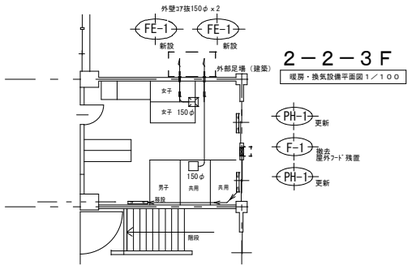


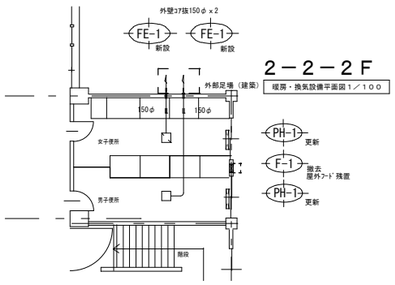
電圧 100V AC
定格 電流 照明：1．2A 換気扇：1A
WTK2604

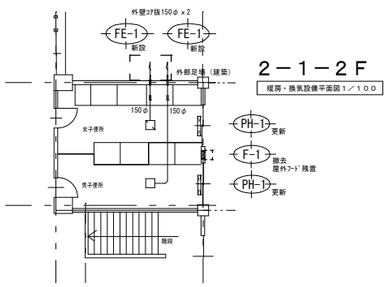
特記無き配管配線は下記による

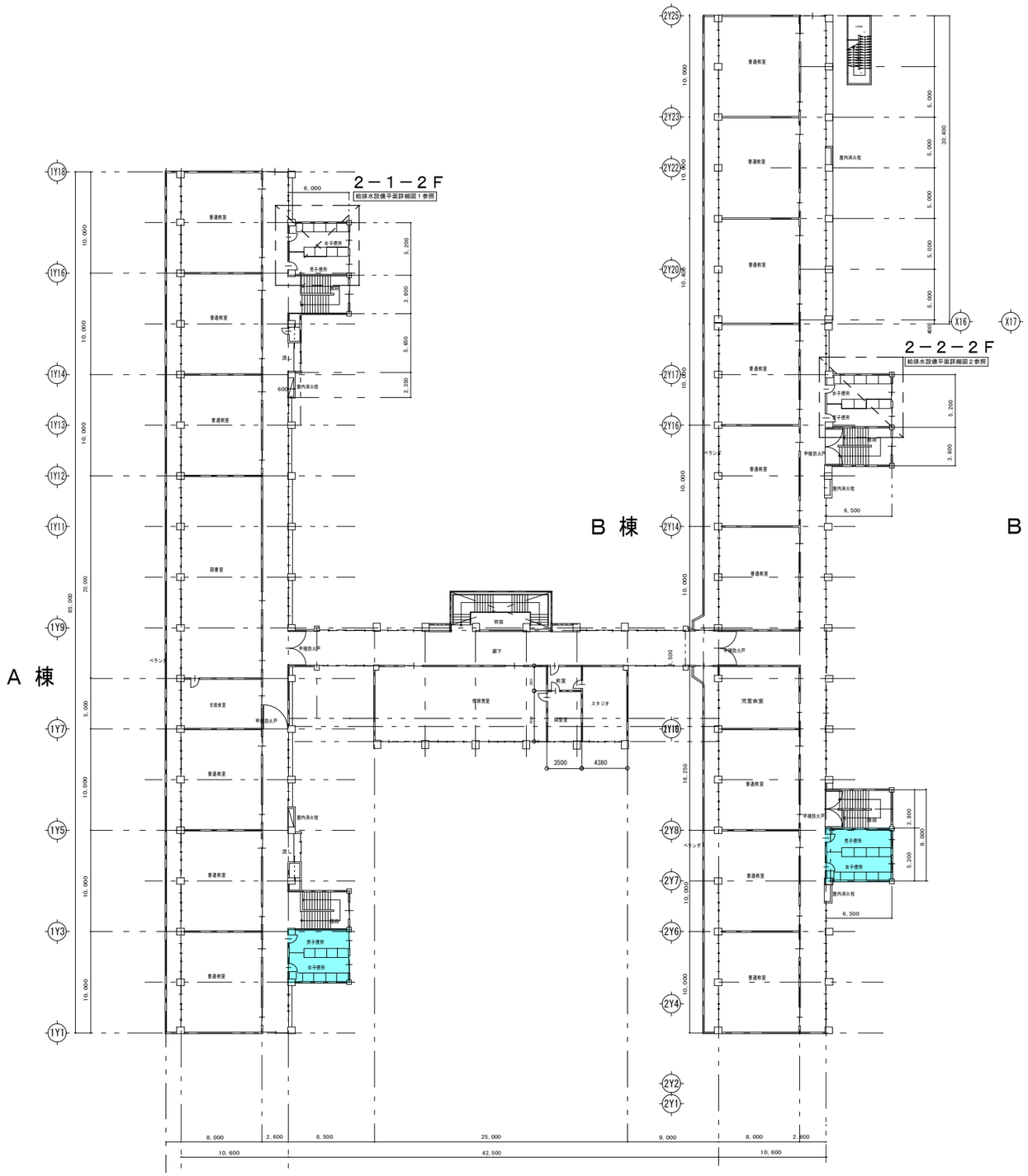
―――	EM-EEF 1．6-2c
―//―	EM-EEF 1．6-3c
―//²―	EM-EEF 2．0-3c

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R07.03.15		令和6年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	照明･パネルヒーター更新設備 詳細図1 SCALE A1 S=1/60　A3 S=1/120	EⅡ－03

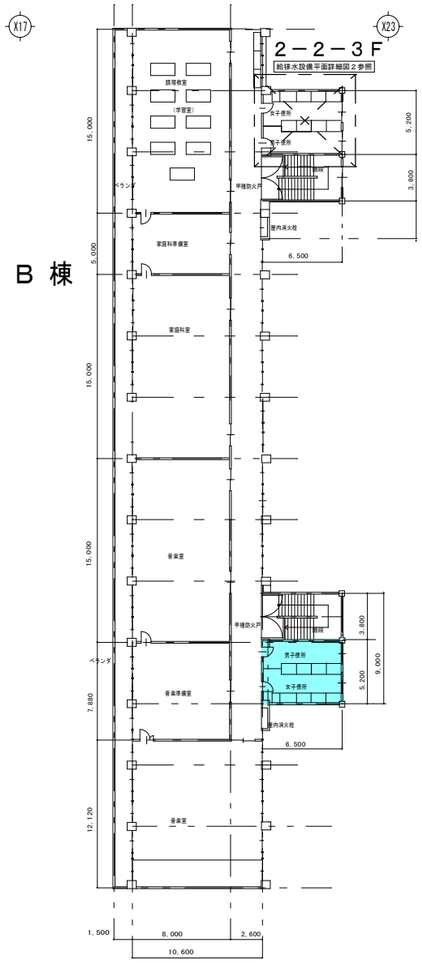








2階



3階

凡　例

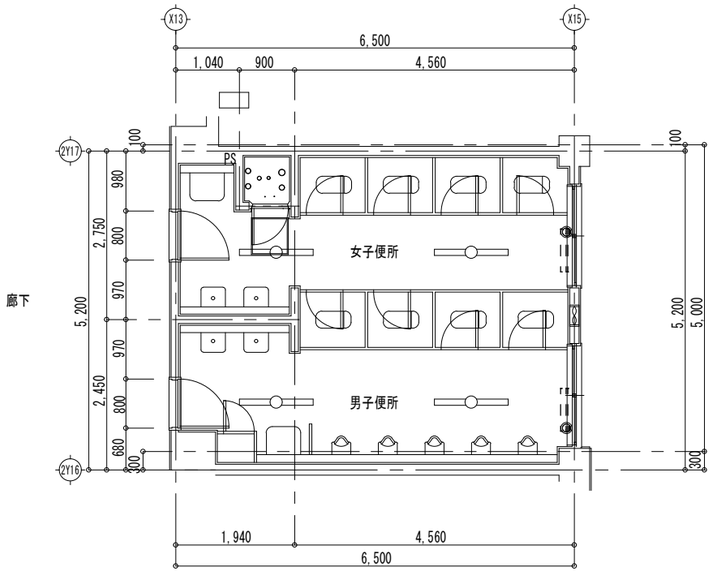
工事対象トイレ等　　A棟西・B棟西

改修済トイレ等

仮設トイレ等

			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R07.03.16	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	Ⅱ期　２，３階平面配置図 照明器具更新設備	ＥⅡ－０４
					SCALE A1 S=1/250	

2－2－1Ｆ



既　　存
機器撤去

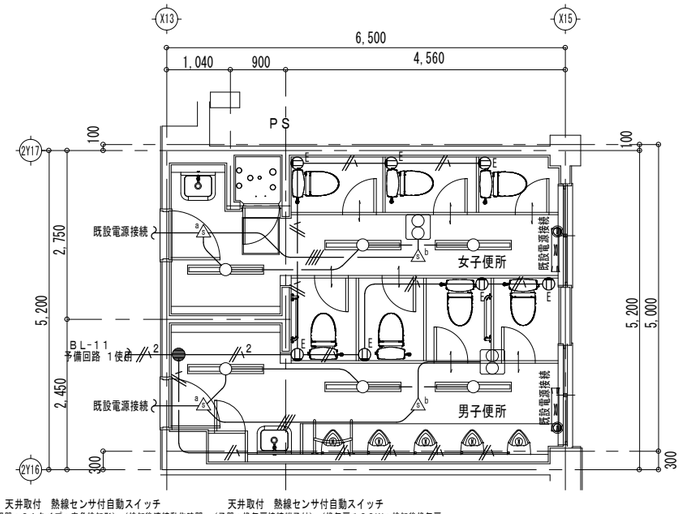
2－2－1Ｆ

改　修　後
器具更新　接続

ｉＤシリーズ直付型４０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

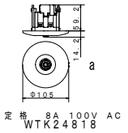
省エネタイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力２６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＬＸ４５０ＡＨＮＵ ＬＥ９

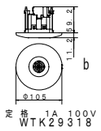


天井取付　熱線センサ付自動スイッチ
（親器・８Ａタイプ・広角検知形）（検知後連続動作時間　約１０秒～３０分可変形）（明るさセンサ付）（ＡＣ１００Ｖ）

天井取付　熱線センサ付自動スイッチ
（子器・換気扇接続端子付）（換気扇１００Ｗ・検知後換気扇連続動作時間約１０秒～３０分可変形）（ＡＣ１００Ｖ）



定格　8A 100V AC
WTK24818

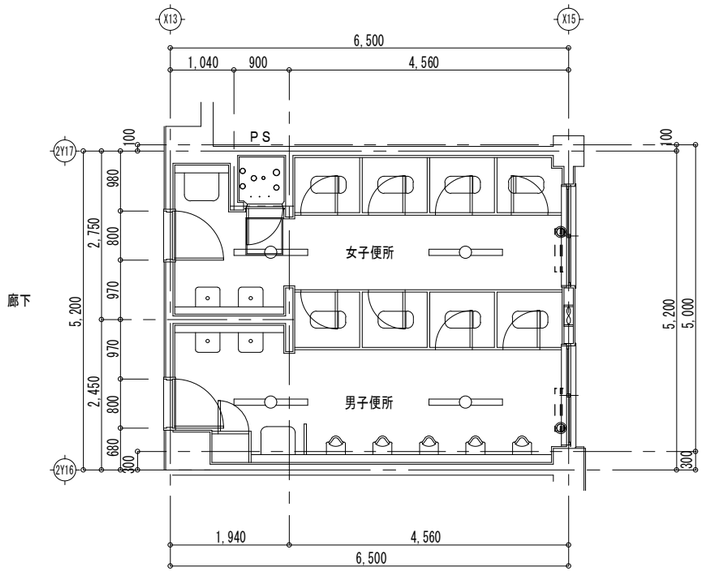


定格　1A 100V AC
WTK29318

特記無き配管配線は下記による

	EM-EEF　1．6－2ｃ
	EM-EEF　1．6－4ｃ
	EM-EEF　1．6－3ｃ
2	EM-EEF　2．0－3ｃ

2－2－2Ｆ



既　　存
機器撤去

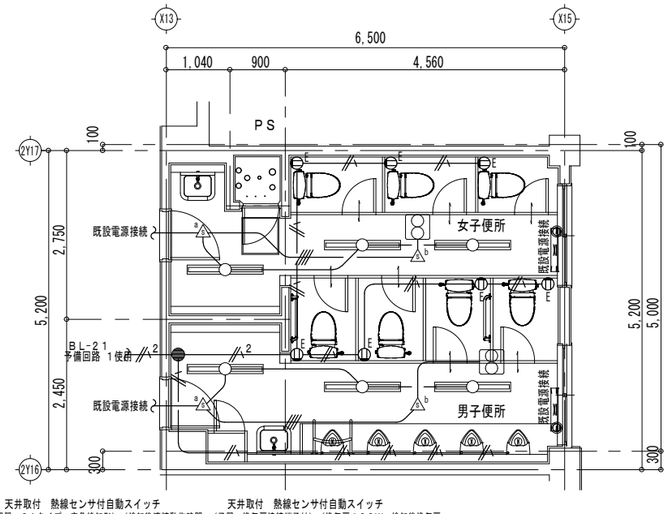
2－2－2Ｆ

改　修　後
器具更新　接続

ｉＤシリーズ直付型４０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

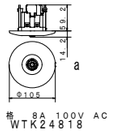
省エネタイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力２６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＬＸ４５０ＡＨＮＵ ＬＥ９

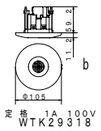


天井取付　熱線センサ付自動スイッチ
（親器・８Ａタイプ・広角検知形）（検知後連続動作時間　約１０秒～３０分可変形）（明るさセンサ付）（ＡＣ１００Ｖ）

天井取付　熱線センサ付自動スイッチ
（子器・換気扇接続端子付）（換気扇１００Ｗ・検知後換気扇連続動作時間約１０秒～３０分可変形）（ＡＣ１００Ｖ）



定格　8A 100V AC
WTK24818

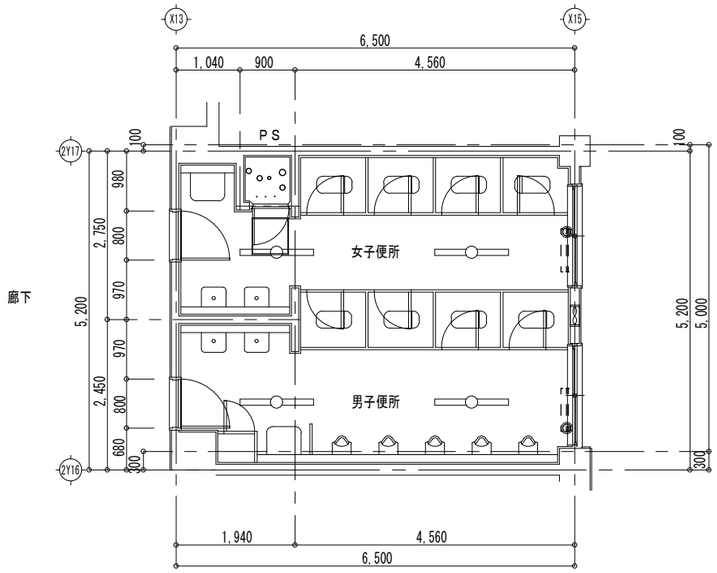


定格　1A 100V AC
WTK29318

特記無き配管配線は下記による

	EM-EEF　1．6－2ｃ
	EM-EEF　1．6－4ｃ
	EM-EEF　1．6－3ｃ
2	EM-EEF　2．0－3ｃ

2－2－3Ｆ



既　　存
機器撤去

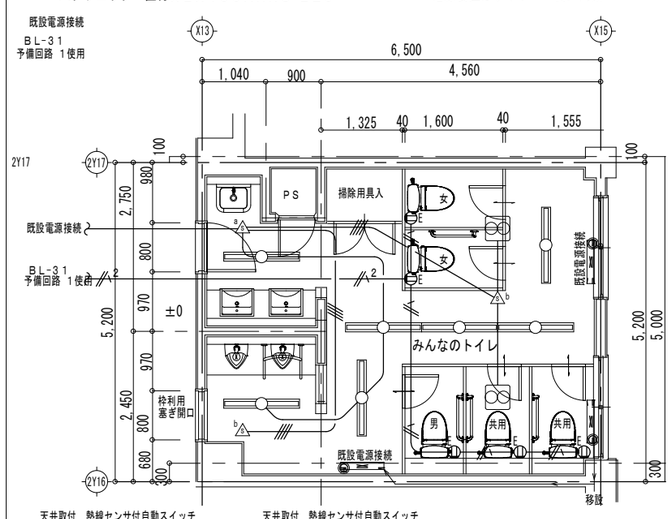
2－2－3Ｆ

改　修　後
器具更新　接続

ｉＤシリーズ直付型４０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

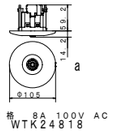
省エネタイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力２６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＬＸ４５０ＡＨＮＵ ＬＥ９

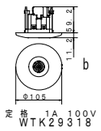


天井取付　熱線センサ付自動スイッチ
（親器・８Ａタイプ・広角検知形）（検知後連続動作時間　約１０秒～３０分可変形）（明るさセンサ付）（ＡＣ１００Ｖ）

天井取付　熱線センサ付自動スイッチ
（子器・換気扇接続端子付）（換気扇１００Ｗ・検知後換気扇連続動作時間約１０秒～３０分可変形）（ＡＣ１００Ｖ）



定格　8A 100V AC
WTK24818



定格　1A 100V AC
WTK29318

特記無き配管配線は下記による

	EM-EEF　1．6－2ｃ
	EM-EEF　1．6－4ｃ
	EM-EEF　1．6－3ｃ
2	EM-EEF　2．0－3ｃ

		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
				令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	照明･パネルヒーター更新設備 詳細図２	ＥⅡ－０５
		DATE			SCALE	
		R07.03.15			A1 S=1/50	

機　械　設　備　工　事

Ⅰ．工　事　概　要

1．工 事 場 所　　安曇野市穂高柏原2728

2．建 物 概 要

建 物 名 称	工事種別	構 造	工事対象棟数	改修階	消防法施行令別表第一	耐震分類	備　考
穂高西小学校	便所改修工事	RC造	1・2・3	1・2・3			

3．工 事 種 目（●印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事内容				
	撤去工事	改修工事	新設工事		屋　外
○ 空 気 調 和 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 冷 暖 房 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 暖 房 設 備	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式
● 換 気 設 備	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式
○ 排 煙 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 自 動 制 御 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 衛 生 器 具 設 備	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式
● 給 水 設 備	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式
● 排 水 設 備	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式
○ 給 湯 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 消 火 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ ガ ス 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給 油 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 厨 房 機 器 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 実 験 実 習 器 具 設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 浄 化 槽 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○電気設備（電源配線）	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4．設 備 概 要（○印を付けたものを適用する）

方 法 及 び 種 別	設　備　概　要
空 調 方 式	
冷 暖 房 方 式	
暖 房 方 式	・同時ｻｲﾝｴｱｺﾝ　・標準シングル　・マルチエアコン ・温風暖房　・温水床暖房　・ＦＦ暖房　●電気暖房
換 気 方 式	●局所換気
給 水 方 式	●水道直結式　●加圧式　●受水タンク式（●上水　・井水）
排 水 方 式	●建物内汚水、雑排水（●分流　・合流） ●建物外汚水、雑排水（・分流　●合流） ・くみ取り便槽　（・簡易水洗）　・浄化槽　（・合併　・単独　）　●公共下水道 ・雑排水　・汚水管合流　・
消 火 設 備 別	・屋内消火栓設備　・消火器（別途）
ガ ス の 種 別	・都市ガス（発熱量　　ＫＪ／Ｎｍ、供給事業者名：　　） ・液化石油ガス（発熱量　１００．０００　ＫＪ／Ｎｍ）

5．指 定 部 分　・無　　・有　（指定部分しゅん工期限　平成　　年　　月　　日）

対 象 部 分：

Ⅱ．図 面 目 録

No.	図 面 名 称	No.	図 面 ----名----- 称
	令和６年度（明許繰越）穂高西小学校トイレ改修工事（Ⅱ期）		
1	Ⅲ-1　機械設備特記仕様書		
2	Ⅲ-2　給排水配置図・凡例・ﾒｰｶｰﾘｽﾄ		
3	Ⅲ-3　系統図（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期共通）		
4	Ⅲ-4　衛生器具表　暖房・換気機器表		
5	Ⅲ-5　給排水衛生設備１階平面図　暖房・換気設備1階平面図		
6	Ⅲ-6　給排水衛生設備２・３階平面図　暖房・換気設備2・3階平面図		
7	Ⅲ-7　給排水衛生設備平面詳細図１		
8	Ⅲ-8　給排水衛生設備平面詳細図２		
9	Ⅲ-9　特殊教室トイレ平面詳細図		
10	Ⅲ-10　施工標準図		

Ⅲ．工 事 仕 様

1．共 通 仕 様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

参考図書

●安曇野市建築工事の手引き（以下、「手引き」という。）安曇野市企画財政部監修

2．特 記 仕 様

（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は・印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
	① 機　材　等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料（以下、「品質性能証明資料」という。）を提出して監督職員の承諾を受ける。（標準仕様書第１編第４節１．４．２） ただし、（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
	③ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	④ 施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説（設備工事編）の「執務並行改修」
	⑤ 化学物質を発散する建 築 材 料 等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ．パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ５）上記１）、３）、４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第３種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第３種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該 当 す る 建 築 材 料
規 制 対 象 外	①ＪＩＳ及びＪＡＳの　Ｆ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ規格品 a　非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b　接着剤等不使用 c　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d　ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f　非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第　三　種	①ＪＩＳ及びＪＡＳの　Ｆ☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥｏ規格品 ④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品

⑥ ペーストシール剤	飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用していないこと。 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリオス、フェノブカルブ、ダイアジノン フタル酸ジ－ｎ－ブチル、フタル酸ジ－２－エチルヘキシル
7　電気保安技術者	電気保安技術者を設置する。
⑧ 技 能 士 の 通 要	●配管（①　２）　・冷凍空気調和機器（１．２）　●熱絶縁（①　２）　・建築板金（１．２）
9　監 督 員 事 務 所	・設けない　・設ける この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
⑩ 工事用電力・用水等	・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　●その他必要の場合本工事で負担する。
⑪ 足場・さん橋類	・改修機械設備標準仕様書第１編２．２．１によるほか下記による。 ●　内部仮設足場等（・　　種　・　　種）・外部仮設足場等（・　　種　・　　種）
⑫ 資 材 の 保 管	資材の保管は必ず屋根をかけ地上３０ｃｍ以上の架台に乗せる。
⑬ 建 設 発 生 土	●監督員が指示する構内の場所に敷ならし　・構内指定場所にたい積　・構外搬出適切処理
⑭ 埋め戻し土・盛土	●根切中の良質土（ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂）　●山砂の類
15　山 留 養 生	根切中の山留め　・有（　　）　・無
⑯ 発 生 材 処 理	工事に先立ち手引き第２編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。 （１）引渡しを要するもの　●無　・有（　　） （２）引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。 （３）特別管理産業廃棄物　●無　・有（　　） （４）再利用又は再生資源化を図るもの　（コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、　　）
⑰ 文 字 入 名 札 等	標準仕様書第１編１．７．４によるほか、バルブ類等は必要に応じて金属板脂製名札をステンレス線等で取付ける。
18　取 扱 説 明 板	機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板（アクリル樹脂製、文字彫込み程度）を設ける。大きさは、縦[　　]mmとする。
⑲ 総 合 調 整	・風量調整　●水量調整　・室内外空気の温湿度測定　・騒音測定 ・飲料水の水質の測定（・水質基準検査１０項目（一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等（ＴＯＣ）、ｐＨ、味、臭気、色度、濁度）・トルエン） 飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
20　容 量 等 の 表 示	（１）機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
㉑ 耐 震 措 置	機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえつけ、取付又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針最新版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は１．０とする。

設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	・特定の施設（・甲類　・乙類）		・一般の施設（乙類）	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０ （２．０） （２．０）	１．５ （２．０） （１．５）	１．５ （２．０） （１．５）	１．０ （１．５） （１．０）
中 間 階	１．５ （１．５） （１．５）	１．０ （１．５） （１．０）	１．０ （１．５） （１．０）	０．６ （１．０） （０．６）
地下階、一階	１．０ （１．０） （１．５）	０．６ （１．０） （１．０）	０．６ （１．０） （１．０）	０．４ （０．６） （０．６）

（注）１．（　　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
２．（　　）内の数値は水槽類に適用する。
３．上層階の定義は次による。
２～６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階

重要機器とは下記に示すものをいう。
・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・　　・

（２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

22　あと施工アンカー確 認 試 験	機械改修工事標準仕様書第２編５章による。 ・性能確認試験　（　　）・施工後確認試験　（後打ｱﾝｶｰ　）確認強度　　ｋＮ
23　吊　金　物	吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
㉔ 配 管 勾 配	給水、~~給湯、消火、冷温水、冷却水~~管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。
㉕ 管 の 保 護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを１／２重ね１回巻きとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。
㉖ 管 の 埋 設	土中埋設管（排水含む）は、管の上下をサンドクッション厚１００ｍｍで保護する。 給水管、~~消火管~~の埋設深さは[800]mmとする。又、ガス管の埋設深さは[　　]mmとする。
㉗ 管 の 埋 設 表 示	図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。 排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
28　溶 接 部 の非 破 壊 検 査	抜取率　・標準仕様書による　・ 検査の種類　・ＲＴ　・ＰＴ又はＭＴ
29　塗　　装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ・屋外露出　・（　　）の屋内露出 下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫　・
30　機器の基礎 及び振 動 絶 縁 効 率	・別図による。

機　器	基　礎	振 動 絶 縁 効 率
遠 心 送 風 機	・標準基礎　・防振基礎	・　％以上　・
空 調 用 ポ ン プ 及び ボイラー給水用ポンプ	・標準基礎　・防振基礎	・８０％以上　・
揚 水 用 ポ ン プ 及び 小形給水ポンプユニット	・標準基礎　・防振基礎	・８０％以上　・

31　電　線　類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編２．４．１、表４．２．１２による。
㉜ は　つ　り	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉝ 保 温 及 び消 音 内 貼 り	標準共通仕様書第２編によるほか下記による。 給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ（グランド部を含む）、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。 各配管の保温厚で標準仕様書中厚３０ｍｍ未満の箇所はすべて厚３０ｍｍ以上とする。ただし、排水管は除く。 ・換気ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・外気取入れダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・排気ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・逃りダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ ・膨張タンクよりボイラー への補給水管の保温は膨張管の項による。 ・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ・空調機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。 ・全熱交換器用ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ）　・範囲は図示による　・ 保温種別は下記による ダクト　・イ（・１号　・２号）　・ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管　・イ　・ロ 機器　・イ　・ロ 給水管　●ハ　・ロ（凍結防止帯巻部分） 排水管（ドレン）　●ロ　・ 給湯管　●イ　・ロ ・排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。 なお仕様はｄ（ハ）とする。 （●排水トラップ　・鉛管　・銅管類　・ビニール管　・ドレーン管　・　　） ・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 （・屋内消火管　・水抜きできない管　・スプリンクラー配管　・　　） ・圧力タンク、膨脹水槽、各種呼水槽等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。 ・大便器は保温する。 ・共同溝の保温種別　（・ピット内に準ずる　・　　） ・ダクトの保温外装は下表による。　●特記無き場合は機械設備共通仕様書による。

区　分	保　温　外　装
倉庫・書庫 機械室 居室・廊下など	・アルミガラスクロス　・ ・アルミガラスクロス　・ ・カラー亜鉛鉄板　・
屋外露出、多湿箇所 （　　）	・ステンレス鋼板　・

・配管の保温外装は下表による。　●特記無き場合は機械設備共通仕様書による。

区　分	保　温　外　装
倉庫・書庫 機械室 居室・廊下など	・アルミガラスクロス　・ ・アルミガラスクロス　・ ・綿布　・
屋外露出、多湿箇所 （　　）	・ステンレス鋼板　・

※配管には、冷媒管は除く。
・冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化粧ケースは塩化ビニール樹脂製とする。

区　分	保　温　外　装
屋 内 露 出	・綿布　・保温化粧ケース
屋 外 露 出	・ステンレス鋼板　・保温化粧ケース

34　防　凍　保　温	・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類）は防凍保温を行い、厚さは管径２５ｍｍ以下のものは５０ｍｍ、管径３２ｍｍ以上のものは４０ｍｍとする。 ・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類）は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は３２に準じる。 ・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。（　　）
㉟ 試　　験	（１）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （２）新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
36　他工事との取合い	配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による。
㊲ そ　の　他	保険等の各種措置については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）

1　設 計 温 湿 度	

	外　気		屋内					
			一　般　系　統					
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏　季	３３．３℃	５０％	２６℃	５０％	℃	％	℃	％
冬　季	-１０．６℃	６６％	２２℃	５０％	℃	％	℃	％

2　居 室 騒 音 限 界	下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。

室　名	Ａ 特 性 （dB）	Ｎ　Ｃ　値

3　煤 煙 濃 度 計	・設ける　・
4　ばいじん量測定口	・設ける（測定口は８０φとする）　・
5　煙　　道	伸縮継手、排除口及び煤煙量測定口の位置は図示による。　8　弄壁処理
6　ダ　ク　ト	・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト　9　コア抜時の配筋調査 ・アングルフランジ工法　・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法）
7　風 量 測 定 口	取付部は図示による。
8　チ ャ ン バ ー	内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは、雨水の浸留のないように施工する。
9　防 煙 ダ ン パ ー	復帰方式（・遠隔　・　　）　定格入力は、ＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下とする。
10　空調屋外機室名入れ	空調屋外機には関係室名を明記する。

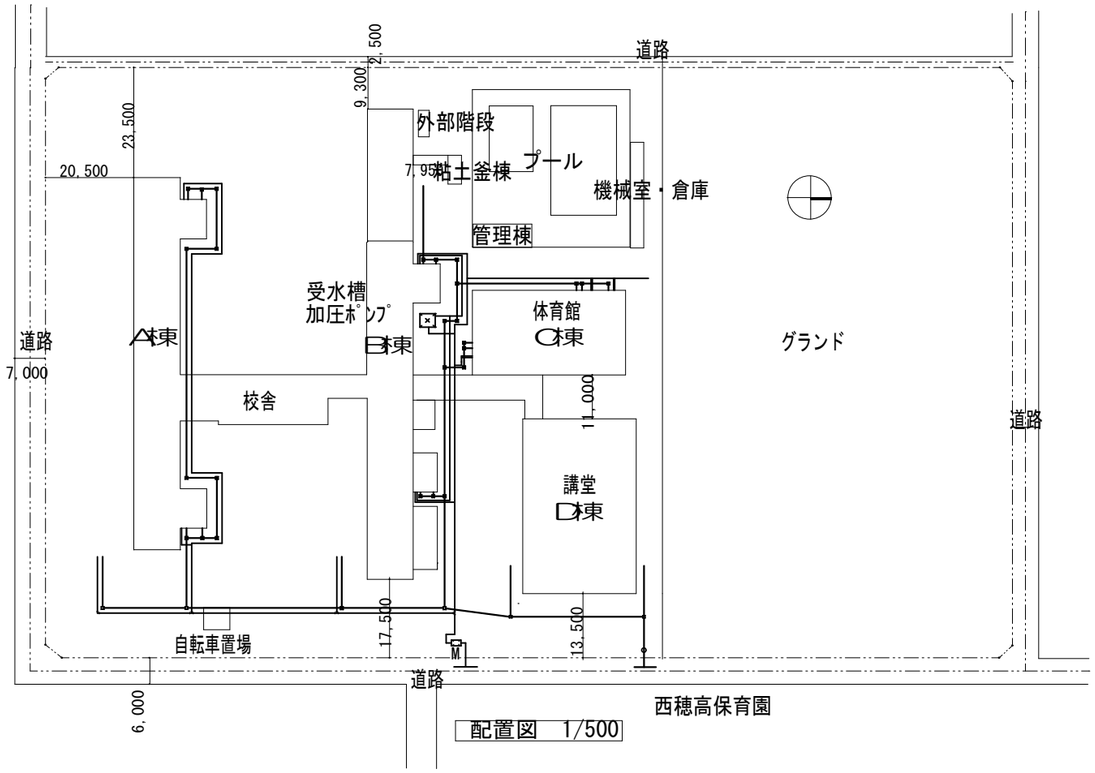
10　ピストンダンパー	復帰方式（・遠隔　・　　）
11　弁　　類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　・１０Ｋ（図示部分））
12　温　度　計	取付部は図示による。
13　圧　力　計	取付部は図示による。
14　瞬 間 流 量 計	コック付とし、形式及び取付部は図示による。
15　油 面 制 御 装 置	制御盤には（・給油ポンプ制御　・満油警報　・遠隔警報　・電磁弁制御　・逐油ポンプ制御　・減油警報　・　　）の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
⑯ 暖 房 機 種 類	電気パネルヒーター
●換気設備 1　ダ　ク　ト	・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト　・アングルフランジ工法　・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法） ・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き（・要　・不要） ・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より１ランク厚いものを使用する。
2　風 量 測 定 口	取付位置は図示による。
3　ダ　ン　パ　ー	空気調和設備の該当項目による。
4　排気ダクトのシール	・浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統　・
5　チ ャ ン バ ー	空気調和設備の該当項目による。
6　耐　火　措　置	自家発用換気ダクトが自家発室外を通過する場合の耐火措置は図示による。
7　換 気 機 器 種 類	壁取付換気扇
○排煙設備 1　ダ　ク　ト	・亜鉛鉄板　・
2　排 煙 口 の 形 式	図示による
3　排煙口手動開放装置（関放及び復帰方式）	・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）
4　排 煙 風 量 測 定	「建築設備定期検査業務指導書」（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
○自動制御設備 1　中央監視制御装置	・有り　・無し
2　中央監視制御装置の 構 成 ・ 機 能	図示による
3　電気計装工事の配線	使用する電線類はＥＭ電線とし、規格は標準仕様書第４編表４．２．１２の使用電線類の規格による。（機器、盤類は除く） 屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。
●衛生器具設備 1　大 便 器 洗 浄 弁	・バキュームブレーカー　・不凍結装置付　・低圧フラッシュバルブ（　　）
② 大便器ロータンク	・水抜き装置付
③ 温水洗浄式便座	加熱方式（●貯湯式　・瞬間式）　給水方式（●給水管直結給水方式　●ポンプ加圧給水方式） 温風乾燥機能（・有　●無）　脱臭（・有　●無）
④ 小 便 器 洗 浄 弁	・不凍結装置付●感知小便器一体型フラッシュ方式・個別感知フラッシュ方式（・埋込　・露出）
5　小 便 器 洗 浄 管	・露出　・隠ぺい　・水抜き装置付
⑥ 水　　栓	●節水コマ　・固定コマ（●常冷地対応形　・　　）
7　化　粧　棚	・陶器製（・露出形　・　　）
8　石　け　ん　受	・陶器製（・露出　・埋込）
⑨ 洗　面　器	●止水栓付
10　標　記　板	・取付箇所（・大便器　・小便器　・　　）材質（・陶器製　・　　）
11　大便器耐火カバー	・設ける（ピット内は除く）　・設けない
●給水設備 1　量　水　器	・親メーター（・貸与品　・　　）・子メーター（・貸取り　・　　）
2　量 水 器 桝	・水道事業者指定品（・貸与品　・貸取り）・標準図ＭＣ形
③ 弁　　類	ＪＩＳ又はＪＶ　・水道直結部分（●１０Ｋ　・　）・その他の部分（・５Ｋ　●１０Ｋ　）
4　引 込 納 付 金 等	・要（・本工事　・別途工事）　・不要
⑤ 給 水 勾 配	●不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
⑥ 建物導入部配管	・標準図　施工４、５（・（ａ）　・（ｂ）　●（ｃ））による。
●排水設備 ① 洗面器及び手洗器に直結する排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
② 排 水 勾 配	屋内　・６５Ａ以下は１／５０、７５Ａ以上は１／１００以上　屋外　・１／１００以上　・
③ 満 水 試 験 継 手	各階必要個所に設置し、満水試験は本工事費内で行う。
4　インバート桝、ため桝	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。
●給湯設備 ① 弁　　類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　●１０Ｋ（図示部分））
② 給 湯 勾 配	●不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
3　建物導入部配管	・標準図　施工４、５（・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））による。
○消火設備 1　屋 内 消 火 栓 箱	・ＨＢ－１Ａ　・ＨＢ－１Ｂ　・
2　建物導入部配管	・標準図　施工４、５（・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））による。
○都市ガス設備 1　機 器 の 寸 法	概略寸法とする
2　燃　焼　機　器	使用ガス（・都市ガス　・液化石油ガス）
●ガス設備 1　充 て ん 容 器	・別途（・５０ｋｇ　・　　）
2　集　合　装　置	・標準図　施工７０による　本組。
3　転 倒 防 止 等	・標準図　施工７１（・（ａ）　・（ｂ））による
4　メ　ー　タ　ー	・親メーター（・貸与品　・　）　・子メーター（・貸取り　・　　）
⑤ ガス漏れ警報器	●本工事（図示による）　・別途工事
6　引 込 負 担 金	・要（・別途工事　・本工事）　・不要
7　電 気 防 食	・要　・不要
8　建物導入部配管	・標準図　施工４、５（・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））による。
●その他 ① しゅん工時提出物	標準仕様書によるほか別表による。
② 定　期　報　告	工事しゅん工後３ヶ月、１２ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。 （管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。）
③ 電　子　納　品	別添「建築工事における電子納品特記仕様書（試行用）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）
●特記事項 ①	工事施工に必要な官公庁への届出・許可は速やかに自費にて行う。
②	上下水道工事は既設配管を十分調査する。
③	本工事の既設機器・配管撤去に伴うｺﾝｸﾘｰﾄ斫り工事は本工事費内とする。 （3階建建物の配管・器具の耐火措置の撤去含む）
④	本工事の更新機器・新設機器設置・配管新設に伴うｺﾝｸﾘｰﾄｺｱ抜き・ｼﾝｸﾞﾙｺﾝｸﾘｰﾄｽﾘｰﾌﾞ・斫り工事は本工事費内とする。
⑤	衛生機器更新は事前に仕様・機能説明を行い承諾を得て発注する

（別表）しゅん工時提出物（○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。）

① 提出書類等目録	⑦ 官公署届出書類等
2　完成図（原図・製本・ＣＡＤデータ）	⑧ 工具・予備品等
③ 設計図（原図）	⑨ 引渡書
④ 工事施工関係書類	10　試運転用油等（　　）の納品書写
⑤ 工事完成資料	⑪ その他監督員指示によるもの又は特記によるもの
⑥ 保守管理資料	

注）完成図面の種類は、設計図に準じて作成すること。

安曇野市	工　事　名	令和６年度（明許繰越）穂高西小学校教室トイレ改修工事　（Ⅱ期）	図面名称	機械設備工事特記仕様書	年月日 R 07.03	No. MⅡ－1



配置図　1/500

凡　　例

記　　号	名称	（適用）	仕　　様
――――― - ―――――	給水管 給水管 給水管	屋外地中埋設 屋内土間 屋内隠蔽・露出	水道用耐衝撃塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　HIVP 水道用内外面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　SGP-VD 水道用内面ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　SGP-VB
―――――	―――――	給湯管 給湯管	屋内隠蔽・露出 屋内土間 （土間配管断熱材施工）	水道用内面耐熱塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　HTLP 水道用内外面耐熱塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　WHTLP
―――――	汚水・雑排水管 汚水・雑排水管 汚水・雑排水管 汚水・雑排水管 通気管 通気管	屋外地中埋設 屋内隠蔽・露出 屋内隠蔽・露出 土間 屋内隠蔽・露出 屋内隠蔽・露出	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　JIS K 6741 (VP) 耐熱塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　JIS K 6741 (VP) 耐火二層管 (VU)　（３階建便所） 硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　JIS K 6741 (VP) 硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管　JIS K 6741 (VP) 耐火二層管 (VU)　（３階建便所）

凡　　例

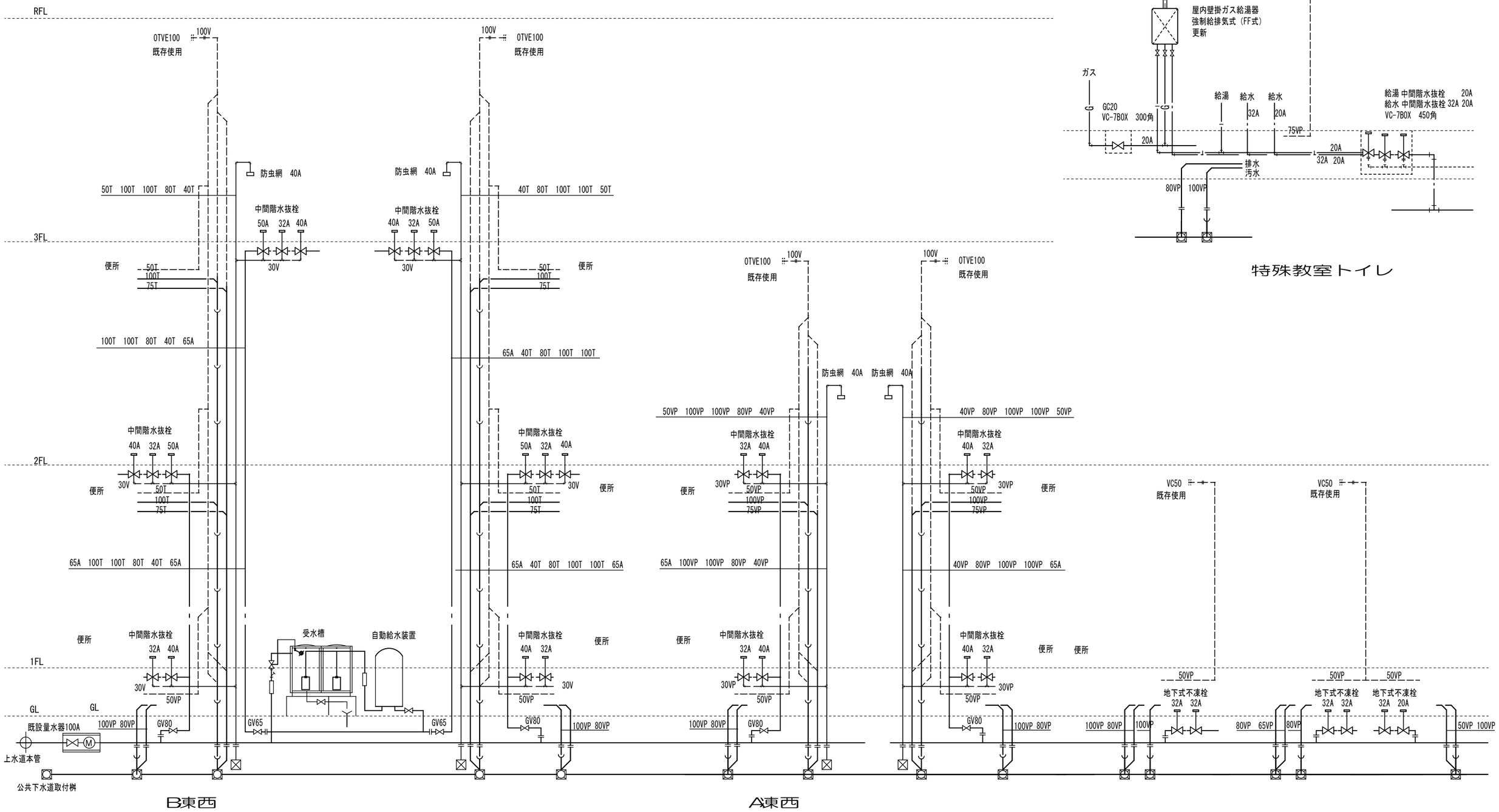
記　　号	名称	（適用）	仕　　様
	混合水栓		吊りコマ式　クロームメッキ仕上
	ｼｬﾜｰ水栓		吊りコマ式　クロームメッキ仕上
	単水栓		吊りコマ式　クロームメッキ仕上
	床排水金物		非防水型
	床上掃除口		非防水型（ﾋﾞﾆｰﾙ床仕上用）
	地下式不凍栓	給水系統	上水道局認定品
	中間階水抜栓（弁体）	給水系統	上水道局認定品
	仕切弁	給水・給湯系統	管端防食仕切弁　JIS10K
	逆仕弁	給水系統	管端防食仕切弁　JIS10K
	Y形ストレーナー	給水系統	管端防食仕切弁　JIS10K
	自動エアー抜弁	給湯系統	
	フレキシブル継手	給水・給湯系統	ステンレス製　長さ共通仕様書による。
	ダクト（換気）	一般系統 ｼｬｱｰ室系統	スパイラルダクト

メーカーリスト

（下記同等品以上とし、係員の承諾を受ける。）

品目	機材名	適用範囲	製造業者名等
配管機材類	機器リスト参照	設計図参照	日本鋼管　住友金属　積水化学
配管継手類	機器リスト参照	設計図参照	日本鋼管　住友金属　積水化学
弁類	機器リスト参照	設計図参照	北沢　大和　東洋
不凍栓 小口径塩ビ桝	機器リスト参照 機器リスト参照	設計図参照 設計図参照	水道局指定品 下水道局指定品
衛生器具	機器リスト参照	設計図参照	TOTO　LIXIL
暖房機	機器リスト参照	設計図参照	日本ｼｰｽﾞ線　同当品
換気扇	機器リスト参照	設計図参照	三菱　日立　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R07.03		令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	給排水配置図　凡例　ﾒｰｶｰﾘｽﾄ SCALE S=1/500	MⅡ－２



※屋外仕切弁更新

			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R07.03	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	系統図（Ⅰ-Ⅲ期工事共通） SCALE	MⅡ－３

衛生器具表

（衛生器具の設置については事前に承諾図を提出し係員の承諾を得ること、又、現地の状況を考慮する事）

品名	参考ﾒｰｶｰ	仕様	電気容量	室名 屋外	A棟便所1F	A棟便所2F	B棟便所1F	B棟便所2F	B棟便所3F みんなのトイレ	身障者便所	特殊教室トイレ	合計
車椅子対応便器	TOTO	CS20AB　密結ﾀﾝｸ　SH30BA　ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ　TCF5840P								1		1
		ﾘﾓｺﾝ便器洗浄ﾕﾆｯﾄ　TCA348　他付属品一式	1φ100V　1260W									
		棚付二連紙巻器　YH702										
可動手摺（跳ね上げ・ﾛｯｸ付）	TOTO	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　T112HK8R　　固定金具　ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　T110D17S								1		1
固定手摺	TOTO	樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ　T112CL11　固定金具　ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　T110D3R								1		1
傾斜鏡	TOTO	LM531E								1		1
多目的洗面器	TOTO	壁掛ﾊｲﾊﾞｯｸ　LSA125CC								1		1
		自動水栓（単水栓）・自動水石鹸供給ｾｯﾄ　　壁給水・Ｐ形排水金物	1φ100V　0.6W									
洗面器用手摺	TOTO	壁掛用手摺P型　T112CP26　　ｘ2　　固定金具　ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　T110D3R								1		1
洋用大便器	TOTO	掃除口付床置床排水　CFS498BMC	1φ100V　250W				7	7	5			１９
		ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ　PS2A　（PS）　貯湯式　ﾘﾓｺﾝ 棚付二連紙巻器　YH702										
洋用大便器	TOTO	掃除口付床置床排水　CFS498BMC			7	7						１４
		ｳｵｰﾑﾚｯﾄ　TCF116 棚付二連紙巻器　YH702										
L形手摺	TOTO	T112CL10　固定金具　ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　T110D3R			2	2	2	2	5			１３
小便器	TOTO	低リップ型・超節水ﾀｲﾌﾟ・自動ﾌﾗｯｼｭ弁一体形　UFS900JCS	1φ100V　24W		5	5	5	5	2			２２
小便器用手摺	TOTO	T112CU22　固定金具　ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　T110D3R			1	1	1	1	1			5
洗面器（共通仕様）	TOTO	ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ式洗面器　台付自動水栓　自動水石鹸供給栓　ｶｳﾝﾀｰ用ﾌﾞﾗｹｯﾄ　　固定金具	1φ100V　24W									
		L530　TLC11AR　TLK05202J　TLDP2105J　M9P50A　M17A										
洗面器用ｶｳﾝﾀｰ（共通仕様）	TOTO	ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ　（奥行550L）前方ｴﾌﾟﾛﾝ　ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ（ｹﾝﾄﾞﾝ・H＝800扉）底板　側面巾木										
ｶｳﾝﾀｰｶﾗｰ施工時指定		MP55ML55G(ﾌｪ)・・CPA13BZY/BPA13AZY）特　MP（MFS3C）NB12　特　　他										
洗面器・洗面器用ｶｳﾝﾀｰ		洗面器　ｘ2　　L＝1800　　H＝600					2	2	1			5
洗面器・洗面器用ｶｳﾝﾀｰ		洗面器　ｘ2　　L＝1700　　H＝600			2	2						4
化粧鏡	TOTO	450ｘ600　YM4560A			4	4	4	4	2			１８
掃除用流し	TOTO	SK22A　横水栓　T23AE020C　ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓　TN114　床排水金物（Sﾄﾗｯﾌﾟ）　　他金具一式			2	2	2	2	1			9
コンパクト・バリアフリー トイレパック	TOTO	UADAZ02L1B2AN一式　　コンパクト・バリアフリー トイレパック　UADAZ02LTB2ANN2WA WLアプリコットP　AP2AK　　TCF5841AUP＃NW1	1φ100V　1200W								1	1
壁掛ハイパック洗面器	TOTO	LSA125CC＃NW1	1φ100V　24W								1	1
オストメイト対応 マルチシンクパック	TOTO	XPSA71C71WW	1φ100V　24W								1	1
マーブライトカウンター一式	TOTO	マーブライトカウンター　MLHCH0970HPA131Y 台付自動水栓　TLE33SW4A	1φ100V　24W								1	1
		壁排水金物　T7W42R ブラケット　M9P50A										
		配管カバー　MFHC＃NW1 カウンター専用手摺　M924S＃NW1										
洗濯機パン	TOTO	PWP740N2W一式									1	1
		縦引排水トラップ　PJ002 洗濯機用壁付ｸﾊﾝﾄﾞﾙ混合栓　TWAS20A17A										
ユニットバスルーム一式	TOTO	シャワーユニット　HSV0808ULW4AK パイプファン　1KK85	1φ100V　24W								1	1
		水栓（サーモ短尺スパウト寒）　SSGFK 保温　トラップ保温カバー　ACA01										
		スライドバー635　SAB31 インテリアバー500ホワイト　ZPU BK214＃NW1										

（衛生器具は寒冷地仕様とする。衛生器具型番は参考とし、参考型番が廃止または変更になっている場合、他メーカーの製品使用の場合は係員の指示による。）

撤去・更新給排水設備機器表

記号	設置場所	名称	型式		仕様	備考	数	電力 相（φ）	電圧（V）	容量（KW）	備考（参考品番）
GW-1　撤去	特殊教室トイレ	ガス給湯器	屋内壁掛給湯専用器	上方強制給排気方式（FFタイプ）	13号	強制給排気筒・給排気トップ・断熱材等含む	1	1	100		パロマ13号
GW-1　更新	特殊教室トイレ	ガス給湯器	屋内壁掛給湯専用器	上方強制給排気方式（FFタイプ）	20号（42.5KW）	操作部カバーセット・二重管給排気筒・曲部・給排気トップ等一式　内壁・外壁貫通部処理（開口寸法合せ・防水処理共）　化粧断熱・断熱工事	1	1	100	52W	パロマ20号　PH-20LXTU

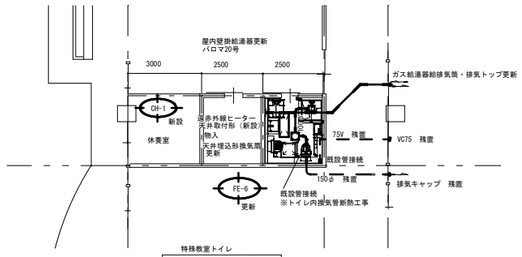
撤去・更新・新設暖房設備機器表

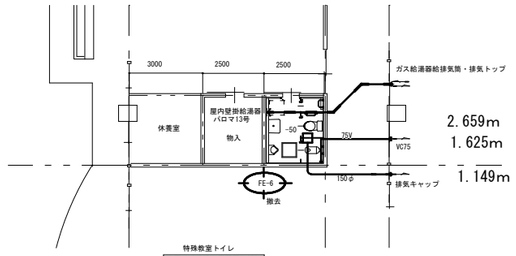
記号	設置場所	名称	型式	暖房能力	仕様	数	電力 相（φ）	電圧（V）	容量（KW）	備考（参考品番）
PH-1　撤去	男子・女子便所	電気ﾋｰﾀｰ	壁掛ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	1720Kcal/H		１０	1	200	2.0	
PH-3　撤去	身障者便所	電気ﾋｰﾀｰ	壁掛ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	430Kcal/H		1	1	200	0.5	
PH-1　更新	男子・女子便所	電気ﾋｰﾀｰ	壁掛ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	1720Kcal/H	室温調節用ｻｰﾓ・いたずら防止ﾊﾟﾈﾙｶﾊﾞｰ	１０	1	200	2.0	日本ｼｰｽﾞ線　DP-A200P
PH-3　更新	身障者便所	電気ﾋｰﾀｰ	壁掛ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	430Kcal/H	室温調節用ｻｰﾓ・いたずら防止ﾊﾟﾈﾙｶﾊﾞｰ	1	1	200	0.5	日本ｼｰｽﾞ線　DP-A50P
CH-6　新設	特殊教室トイレ	電気ﾋｰﾀｰ	天井取付・防滴タイプ 遠赤外線ヒーター	1290Kcal/H	室温調節用ｻｰﾓ　断熱材加工付　温度ヒューズ　ヒーターコントロールサーモスタット	1	1	200	1.5	日本ｼｰｽﾞ線　DHWY150PS

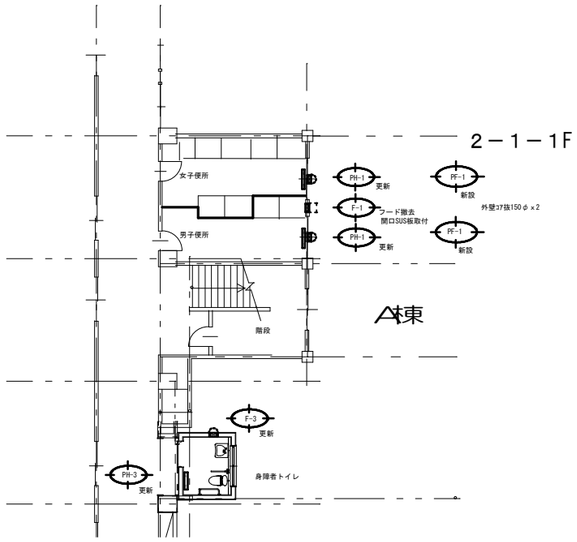
撤去・更新換気設備機器表

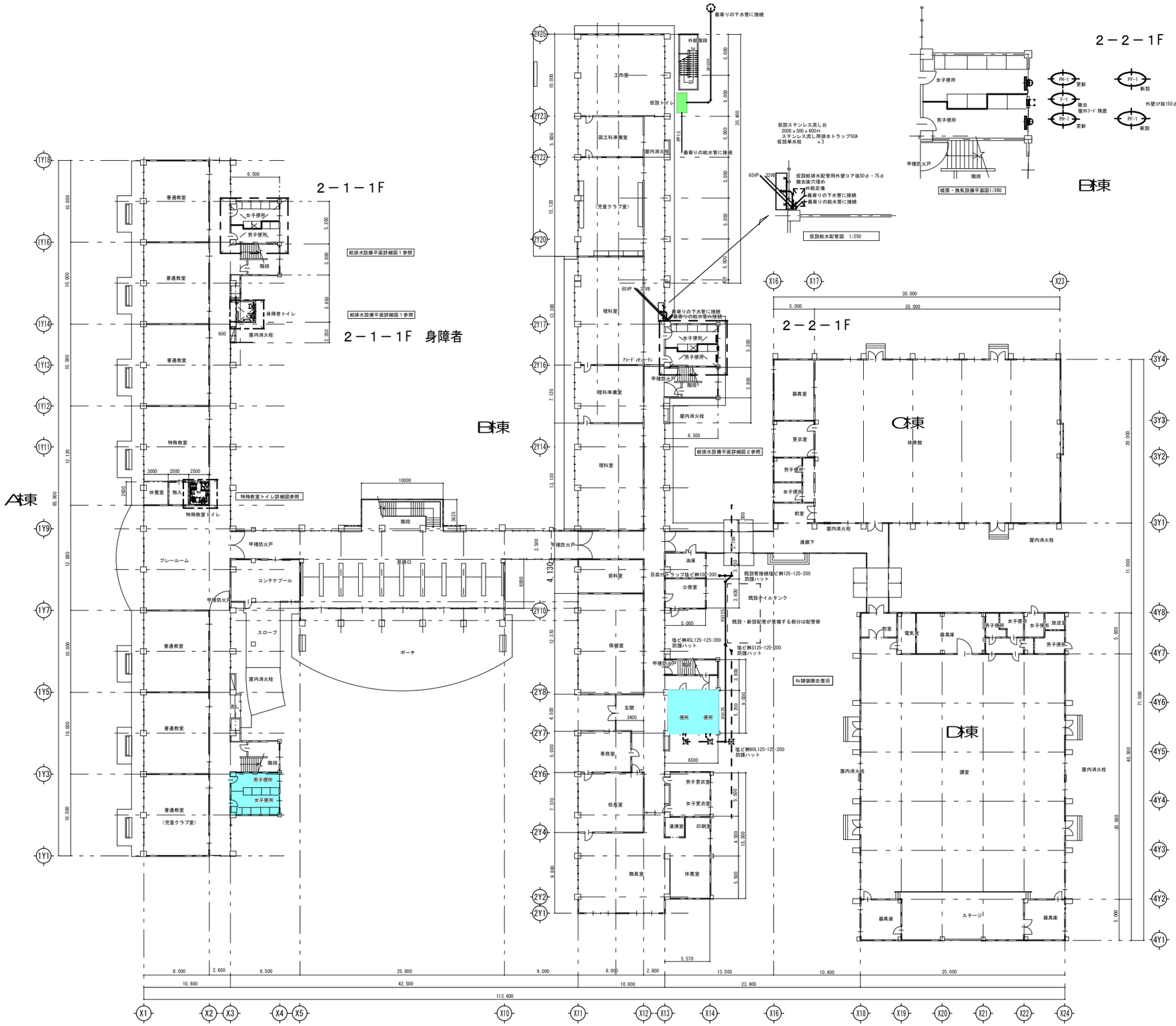
記号	設置場所	名称	型式	ファン径ダクト径静圧風量等		付属工事	電気容量	数量	備考
F-1　撤去	男子・女子便所	換気扇	壁取付形換気扇	ﾌｧﾝ口径　300φ　　解放換気風量　1200CMH		取付枠・外部ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ　撤去　　SUS板取付	1φ100V	5	
F-3　撤去	身障者便所	換気扇	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	ﾌｧﾝ口径　150φ　　解放換気風量　145CMH		取付枠・外部ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ　残置	1φ100V	1	
FE-6　撤去	特殊教室トイレ	換気扇	ﾀﾞｸﾄ用天井埋込形換気扇	ﾌｧﾝ口径　150φ　　解放換気風量　330CMH		ダクト・外部ｳｴｻﾞｰｶﾊﾞｰ　残置	1φ100V	1	
F-3　更新	身障者便所	換気扇	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	ﾀﾞｸﾄ口径　150φ　　解放換気風量　145CMH	格子ﾀｲﾌﾟ・電気式	V-12PD8（三菱） P-18FSQ5（三菱） 壁ｽｲｯﾁ　P-11SW2　電気工事に支給　　SUSｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ	1φ100V6.5W	1	
PF-1　更新	男子・女子便所	換気扇	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	ﾀﾞｸﾄ口径　150φ　　解放換気風量　330CMH	ｻﾆﾀﾘｰ用	V-20PXF5（三菱） P-23FSQ5（三菱） 壁ｽｲｯﾁ　P-10SW2　電気工事に支給　　SUSｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ	1φ100V13W	１０	
FE-6　更新	特殊教室トイレ	換気扇	ﾀﾞｸﾄ用天井埋込形換気扇（親子扇）	ﾀﾞｸﾄ口径　150φ　　解放換気風量　260CMH	ｻﾆﾀﾘｰ用・低騒音	VD-18ZLFC13（三菱） 壁ｽｲｯﾁ　P-04SWL2　電気工事に支給　ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ・吊金物	1φ100V12W	1	

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R07.03		令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校トイレ改修工事 （Ⅱ期）	衛生器具表　暖房・換気機器表 SCALE	ＭⅡ－４









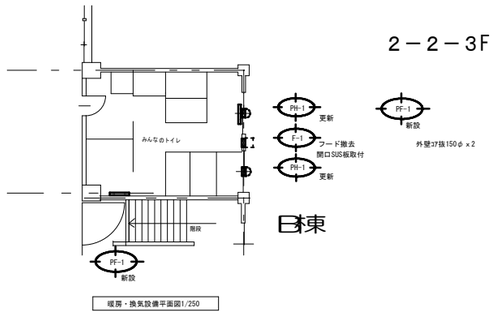
凡　例

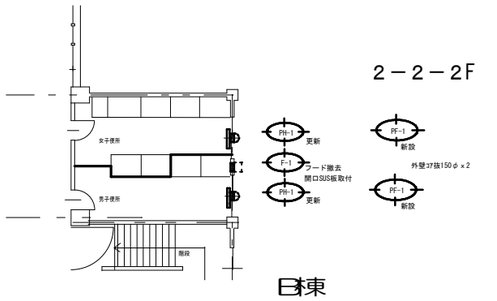
工事対象トイレ等　A棟西・B棟西

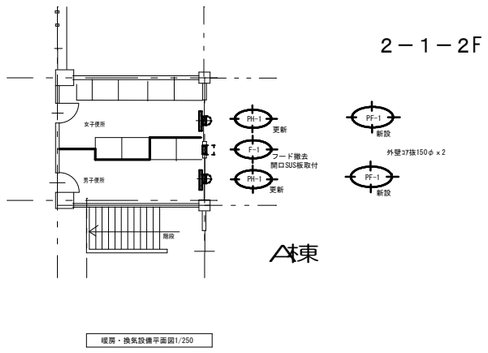
改修済トイレ等

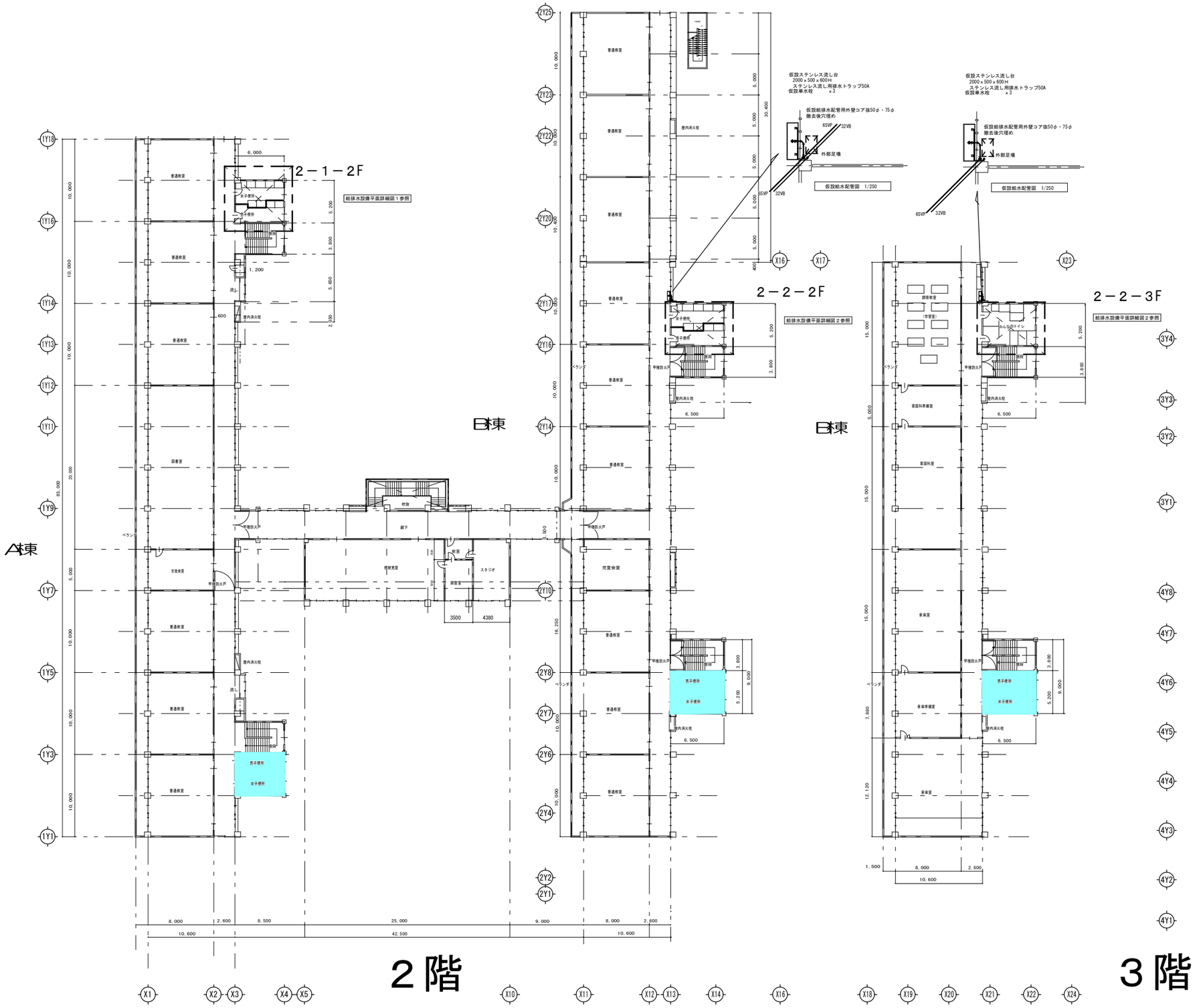
仮設トイレ等

			DRAW CHECK DATE R07.03	CONSTRUCTION NAME 令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	MAP NAME 給排水衛生設備1階平面図 暖房・換気設備1階平面図 SCALE S=1/500 (A-3) S=1/250 (A-3)	MAP NO. ＭⅡ－５









凡　例

工事対象トイレ等　A棟東西・B棟東西

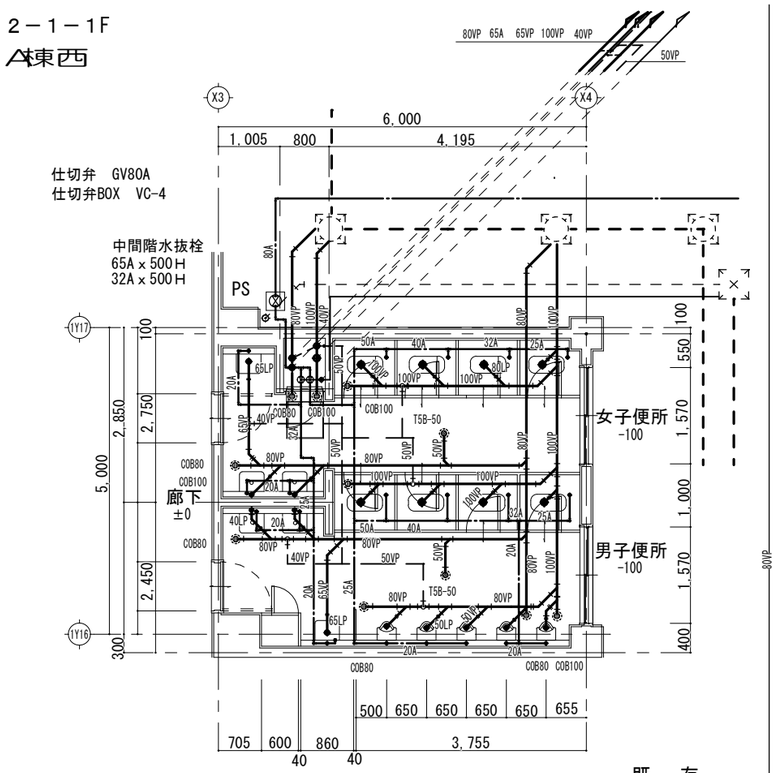
改修済トイレ等

仮設トイレ等

			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R07.03	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	給排水衛生設備2,3階平面図 暖房・換気設備2,3階平面図 SCALE S=1/500（A-3）　S=1/250（A-3）	MⅡ－６

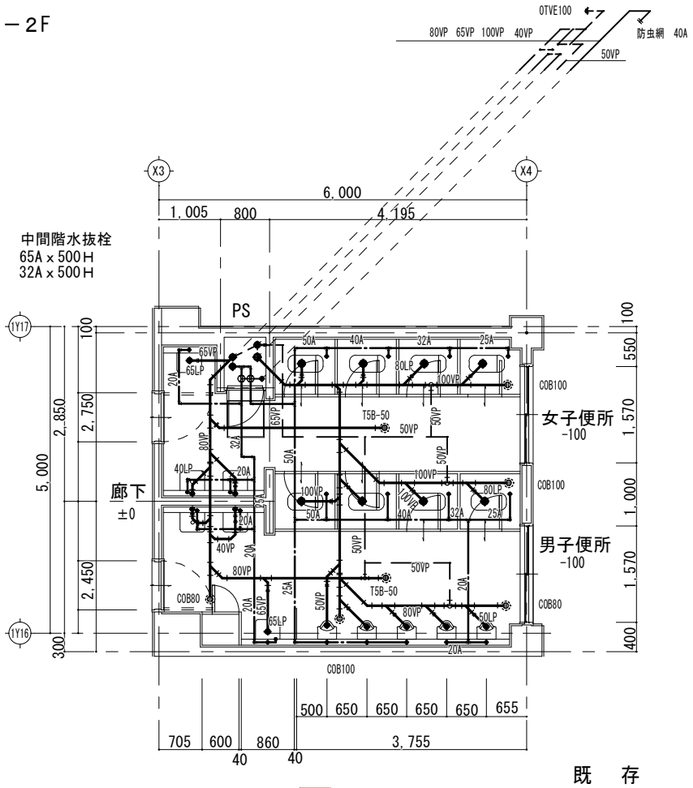
2－1－1F

A棟西



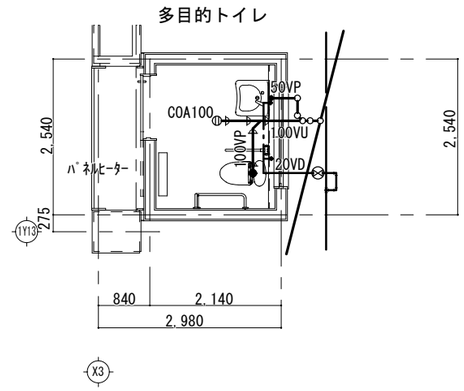
既　存

2－1－2F



既　存

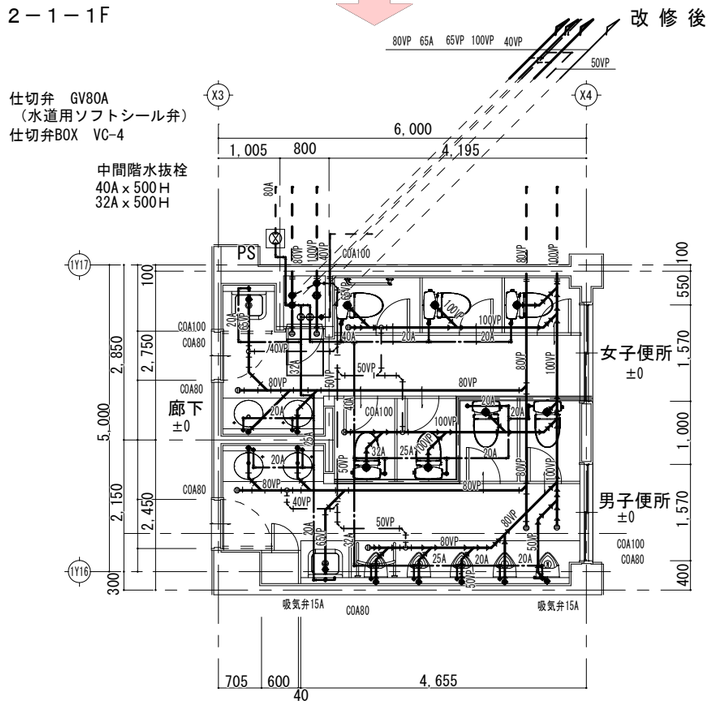
2－1－1F身障者



既　存

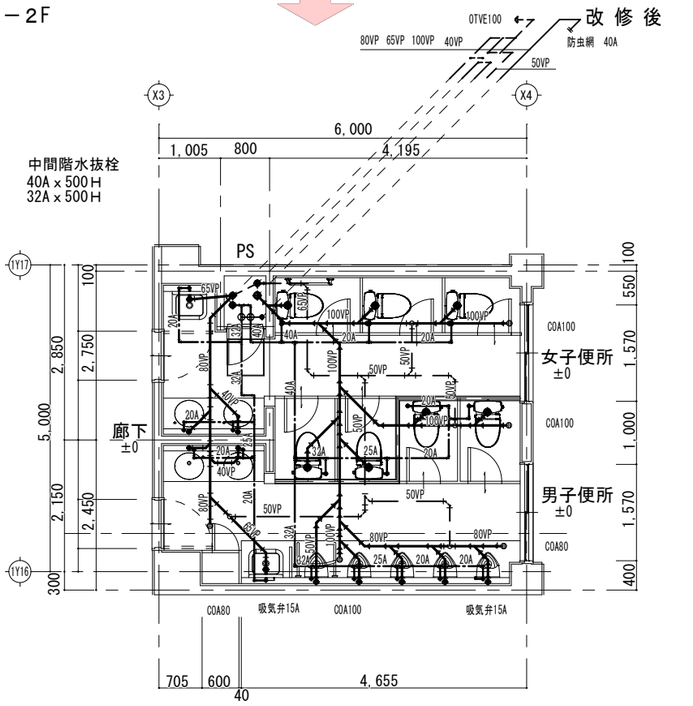
2－1－1F

改修後



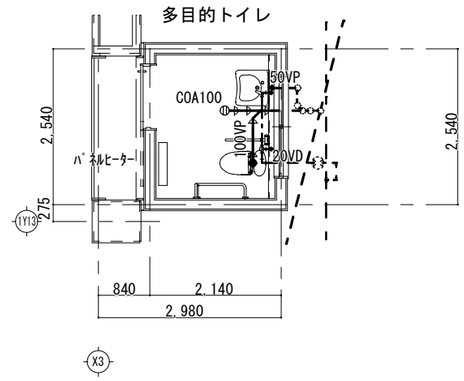
2－1－2F

改修後



2－1－1F身障者

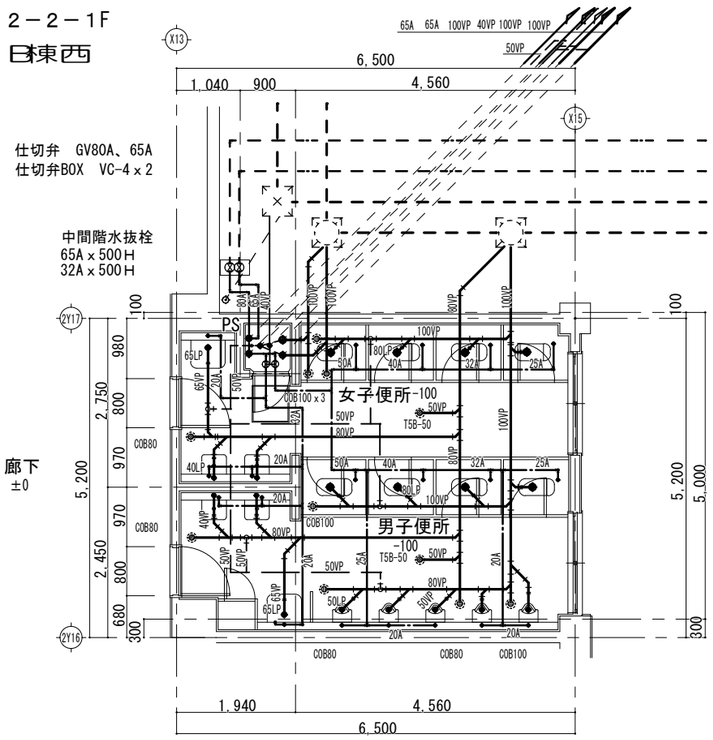
改修後



		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
		DATE R07.03		令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	給排水衛生設備平面詳細図１ SCALE S=1/100（A-3）	MⅡ－７

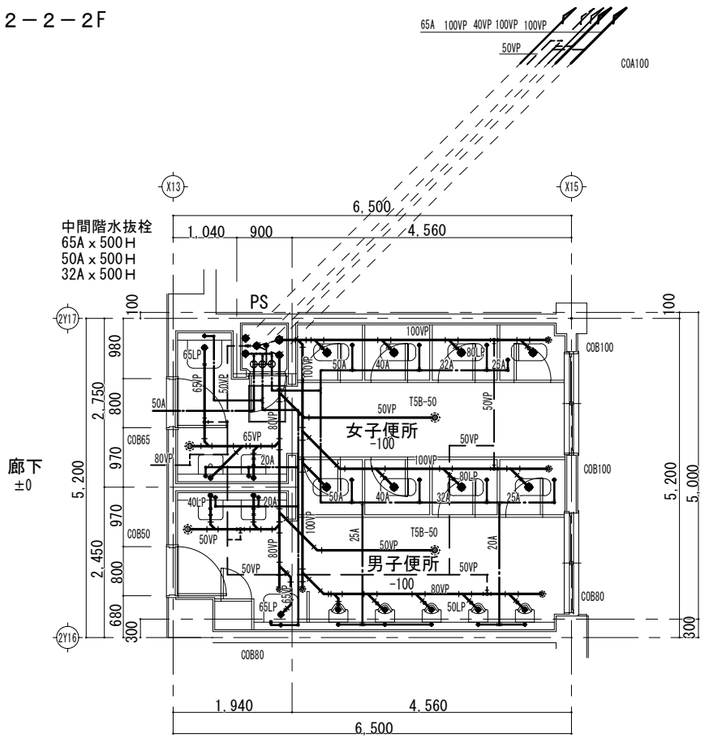
2－2－1F

日棟西



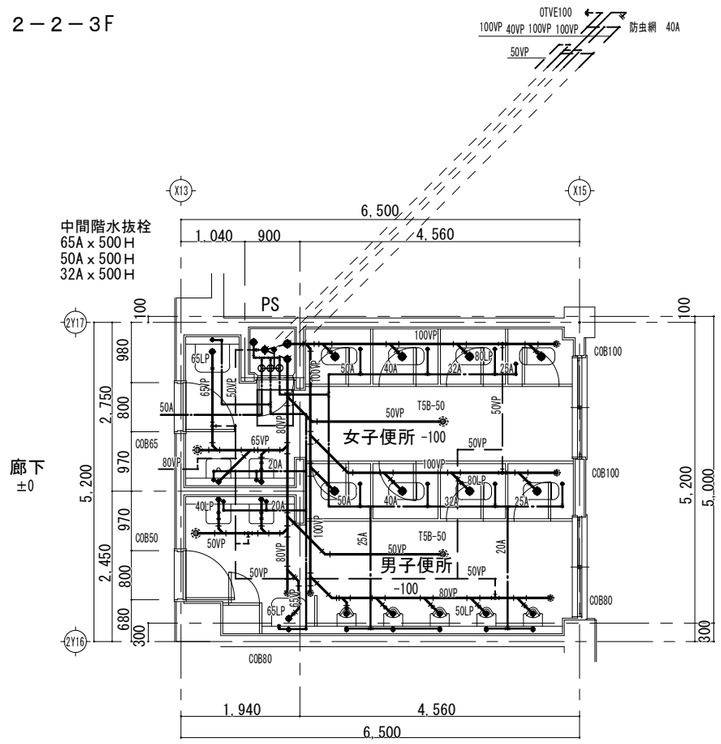
既　存

2－2－2F



既　存

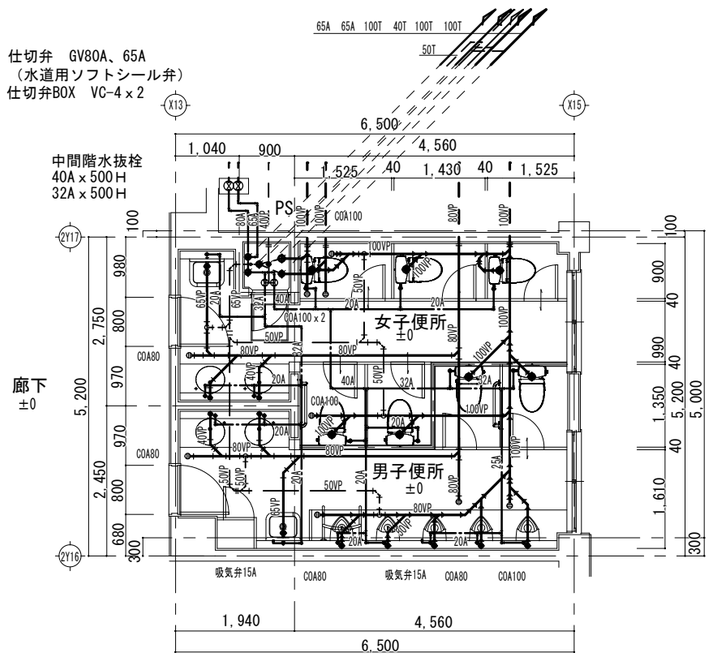
2－2－3F



既　存

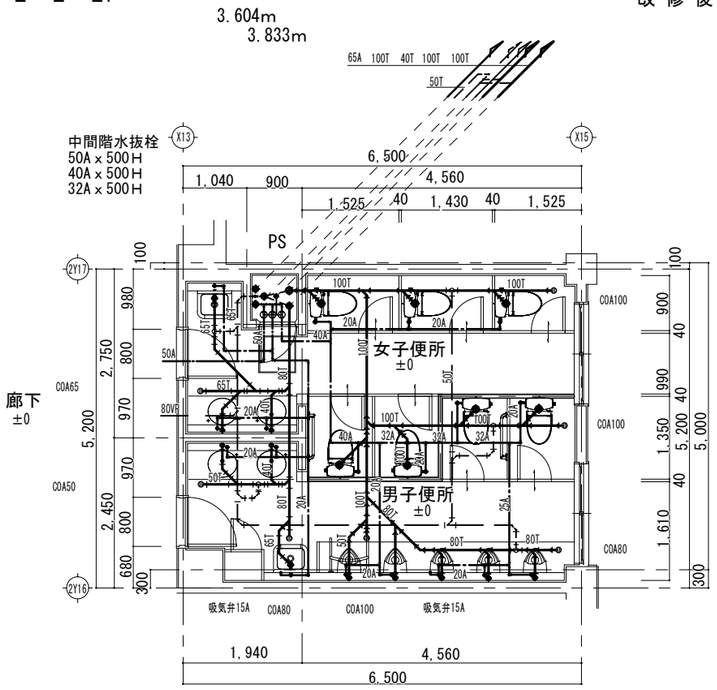
2－2－1F

改修後



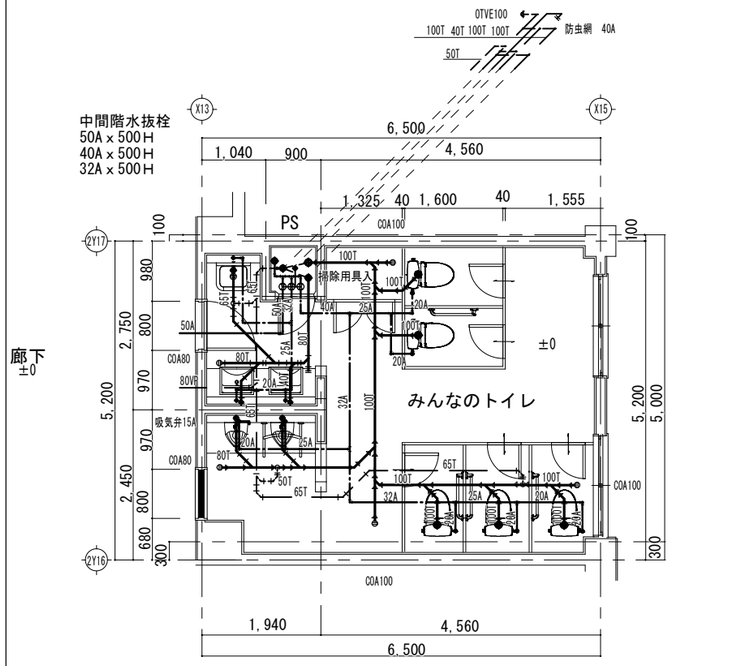
2－2－2F

改修後

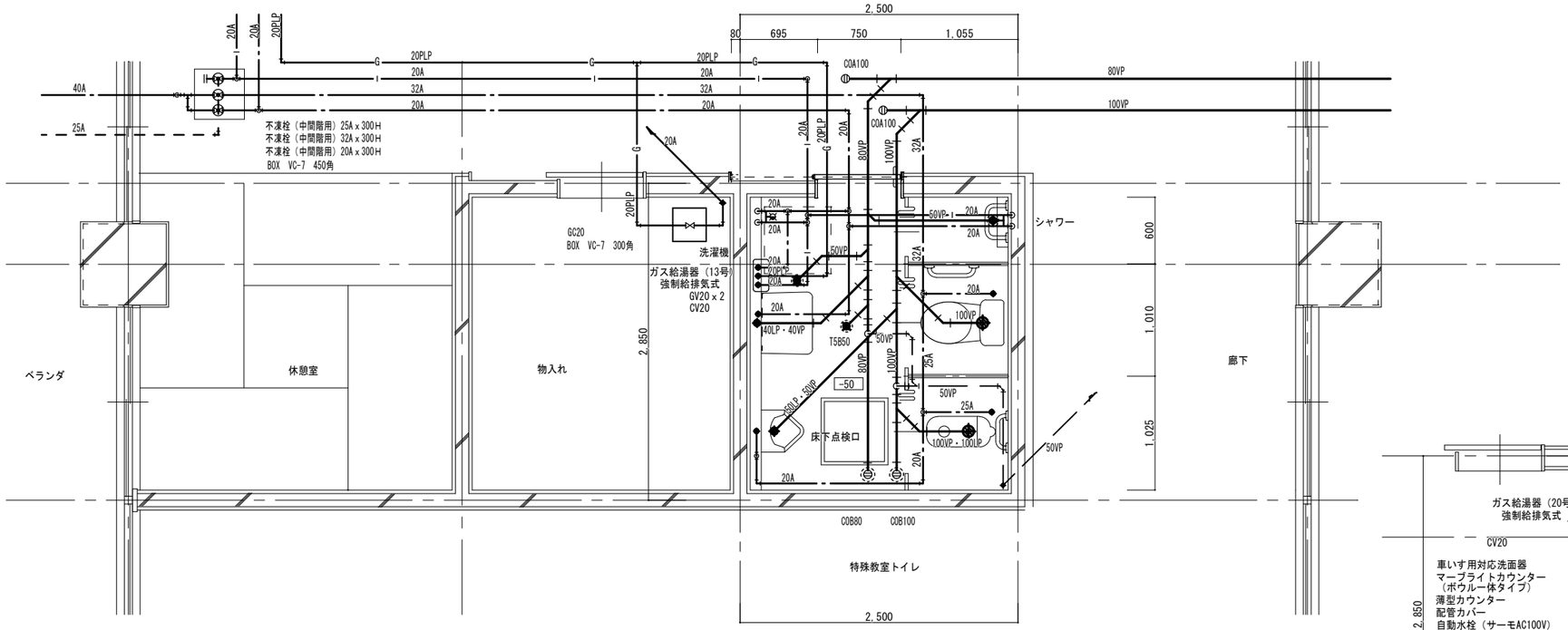


2－2－3F

改修後



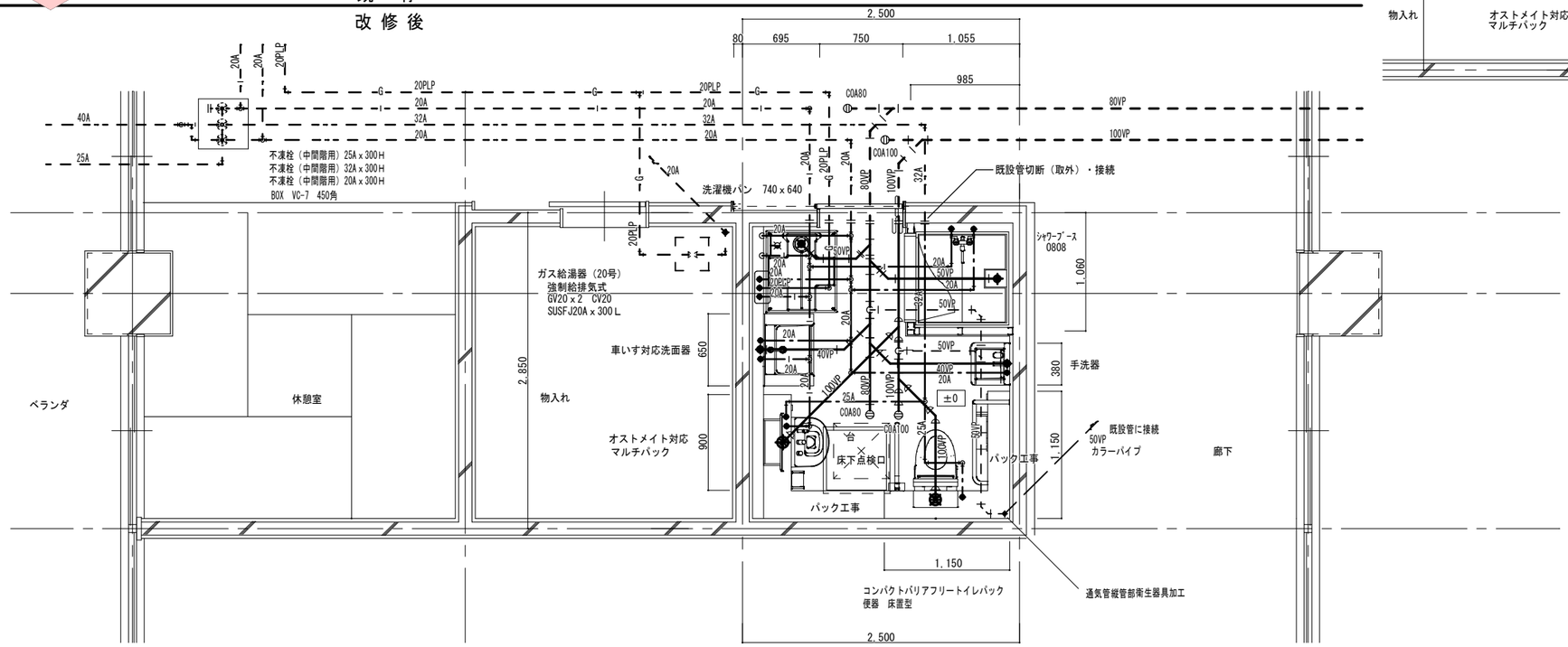
			DRAW / CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R07.03	令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	給排水衛生設備平面詳細図２ SCALE S=1/100（A-3）	MⅡ－８



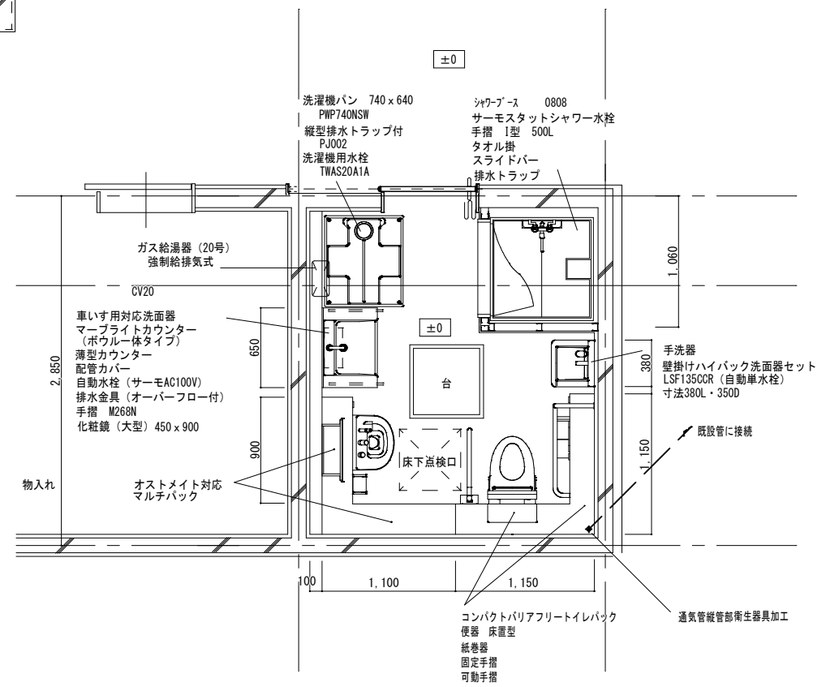
現況平面図　S=1/50

既　存

改 修 後

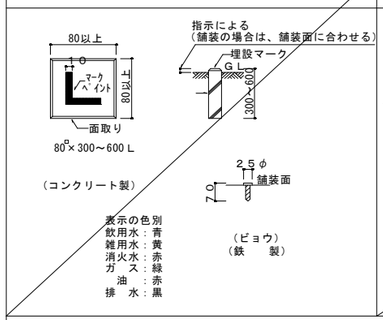


平面詳細図　S=1/50

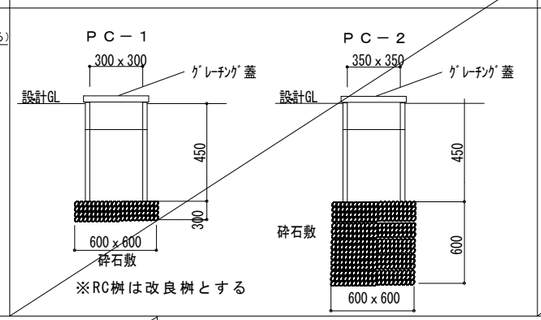


			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE R07.03		令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事 （Ⅱ期）	特殊教室トイレ平面詳細図 SCALE S=1/50 (A-3)	MⅡ－９

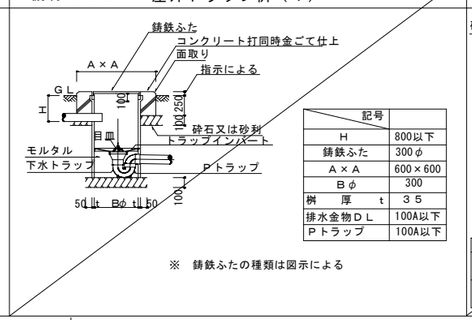
機材１０１　地中埋設標



機材１０６　排水浸透　ＰＣ－１　ＰＣ－２



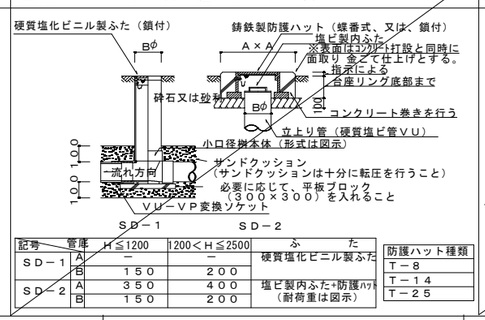
機材１０８　屋外トラップ桝（１）



記号	
H	800以下
鋳鉄ふた	300φ
A×A	600×600
Bφ	300
桝　厚　t	３５
排水金物ＤＬ	100A以下
Ｐトラップ	100A以下

※　鋳鉄ふたの種類は図示による

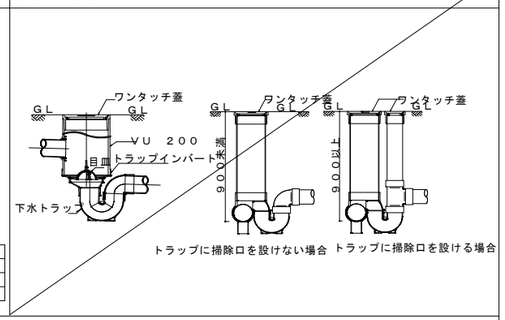
機材１１０　小口径塩ビ桝　ＳＤ－１・２



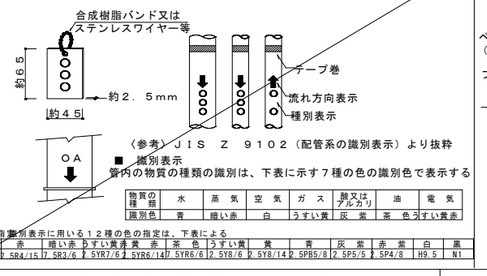
記号	管庫	H≦1200	1200＜H≦2500	ふた
ＳＤ－１	A	－	－	硬質塩化ビニル製ふた
	B	１５０	２００	
ＳＤ－２	A	３５０	４００	塩ビ製内ふた+防護ハット（耐荷重は図示）
	B	１５０	２００	

防護ハット種類
Ｔ－８
Ｔ－１４
Ｔ－２５

機材１０９　屋外トラップ桝（２）（安曇野市型採用）



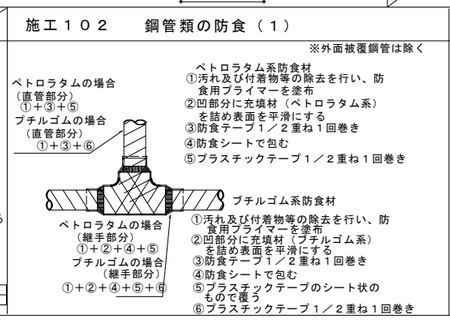
施工１００　文字入れ・名札等



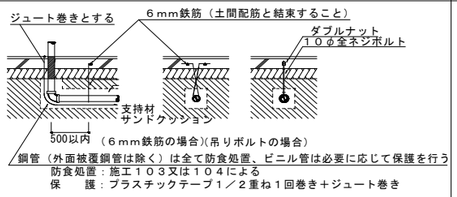
物質の種類	水	蒸気	空気	ガス	酸又はアルカリ	油	電気
識別色	青	暗い赤	白	うすい黄	灰紫	茶	色うすい黄赤

色	赤	暗い赤	うすい黄赤	赤	茶色	うすい黄	黄	青	灰紫	赤紫	白	黒
色彩値	5R4/15	7.5R3/6	5YR7/6	5YR6/14	7.5YR6/6	2.5YB/6	2.5YB/14	2.5PB5/8	2.5P5/5	5P4/8	H9.5	N1

施工１０２　鋼管類の防食（１）

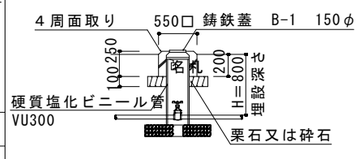


施工１０４　土間配管の防食及び損傷防止



ただし、■ 部分については、外面被覆鋼管、及び、ビニル管とも、保護を行う

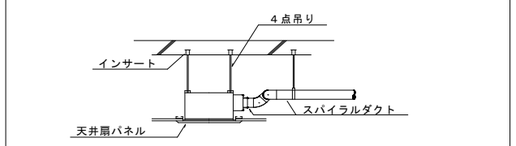
施工１０９　仕切弁ボックス　VC-11



仕切弁（水道用ソフトシール弁）

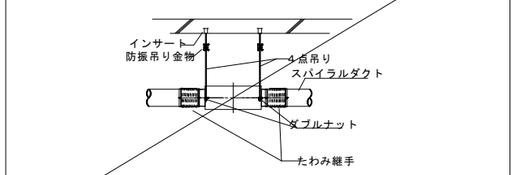
コンクリートの強度は
180kg/cm²以上のこと。

施工１２１　天井換気扇の取付要領



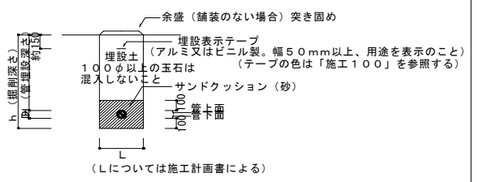
鉄骨構造上図に準ずる

施工１２０　中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ・ｼﾛｯｺﾌｧﾝの取付要領

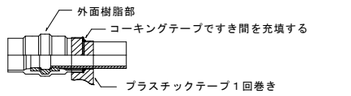


鉄骨構造上図に準ずる

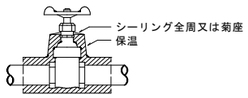
施工１０１　土中埋設管の布設



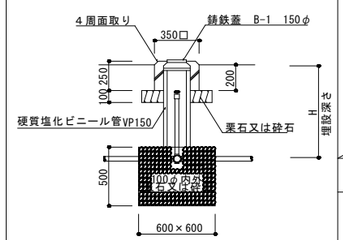
施工１０３　外面被覆鋼管の防食



施工１０５　弁の保温



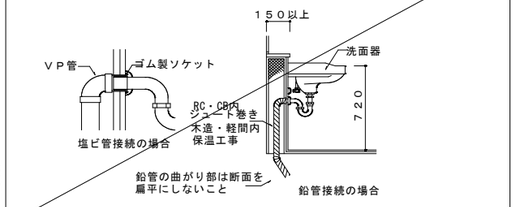
施工１１８　不凍栓ボックス　VC-6



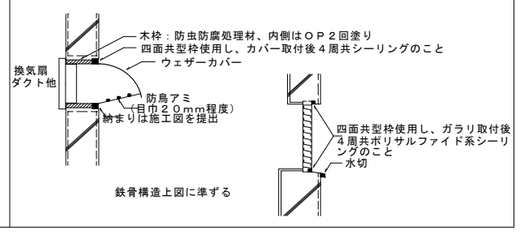
コンクリートの強度は
180kg/cm²以上のこと。

※不凍栓の水抜周りには、水捌け用の空間を取る。

施工１１９　洗面器の納まり

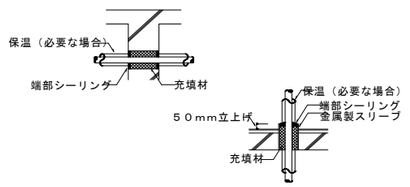


施工１２０　換気扇・ガラリの取付

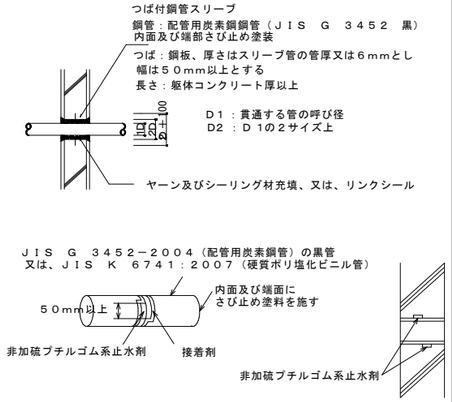


鉄骨構造上図に準ずる

施工１０８　貫通部の処理（防火区画以外）

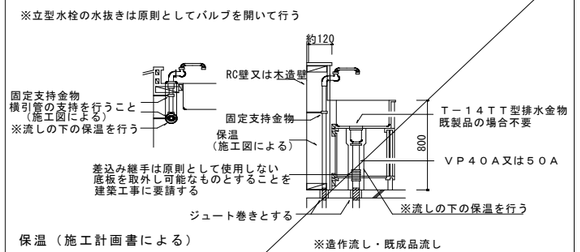


施工１１０　防水区画貫通管の処理



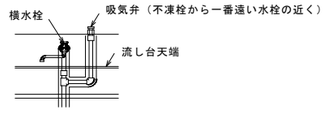
施工１１７　流しの納まり

※立型水栓の水抜きは原則としてバルブを開いて行う

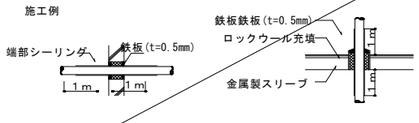


保温（施工計画書による）

【吸気弁（給気コマ）取り付け方法】



施工１０９　界壁貫通部の処理



又は、国土交通省認定仕様

DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
DATE R 07.03		令和６年度（明許繰越） 穂高西小学校教室トイレ改修工事　（Ⅱ期）	施工標準図	MⅡ－１０